

みんなで挑戦!

Global Challenge

グローバルチャレンジ



発刊: 関西学院大学 国際教育・協力センター
〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155
TEL. 0798-54-6115
HP. <https://ciec.kwansei.ac.jp>

発行日: 2026年4月

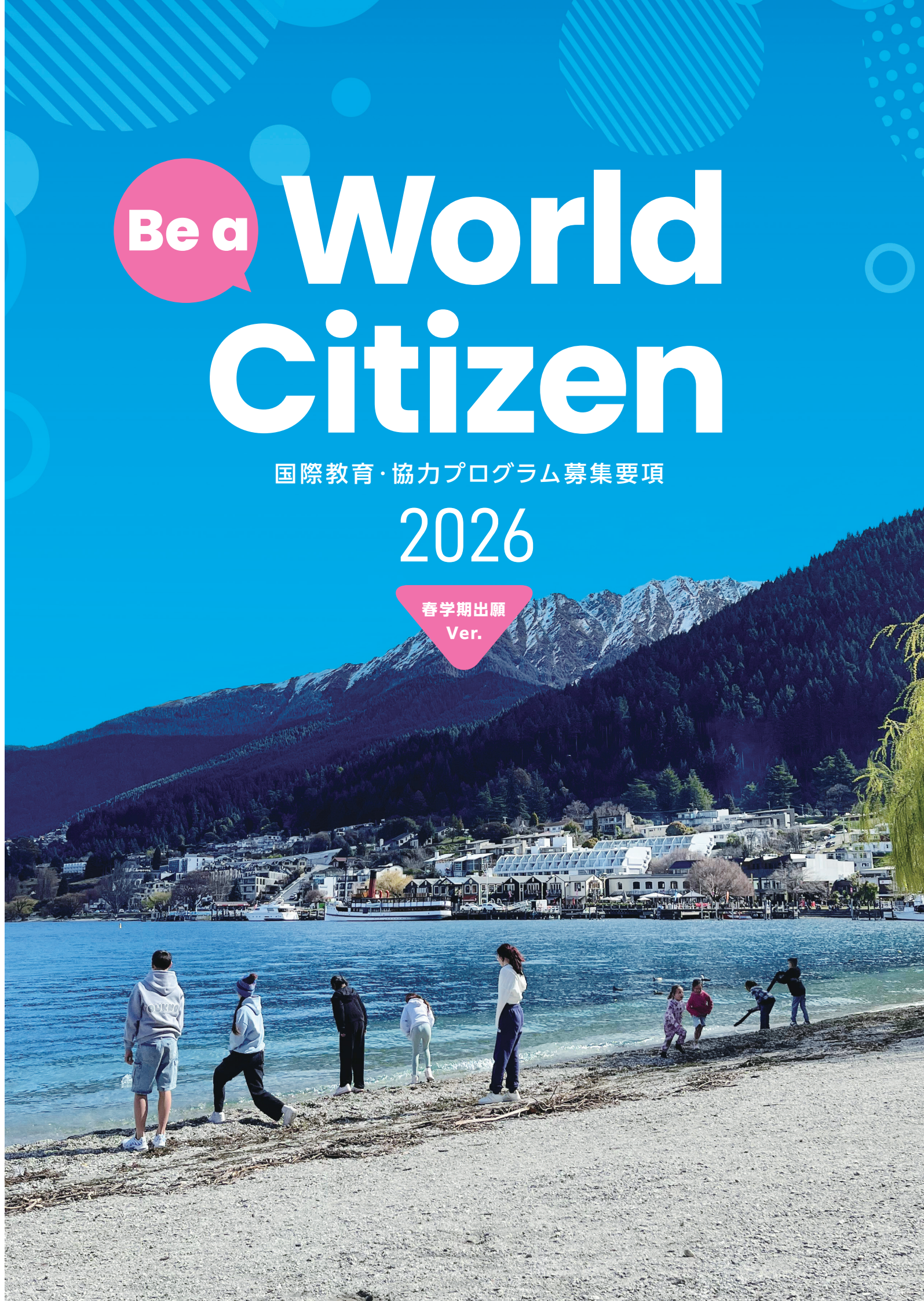
Be a

World Citizen

国際教育・協力プログラム募集要項

2026

春学期出願
Ver.





グローバル
Challenge
グローバルチャレンジ

変化の激しいグローバル社会で
“Mastery for Service”を体現する世界市民として活躍するために

「国を越え、世界を知る」

グローバルチャレンジとは？
グローバルな競争社会を生き抜くために必要な



Be a world citizen

関西学院大学では、3つの国際プログラムを通じて「国を越え、世界を知る」機会を多く提供しています。海外協定校への留学はもちろん、途上国での国際協力事業への参加、海外の学生と参加するインターンシップ、世界中から本学に集う外国人留学生と学ぶ授業など、本学独自のプログラムが充実しています。グローバル社会で“Mastery for Service”を体現する「世界市民」として活躍するため、今チャレンジしよう。



3つの国際プログラム

本冊子内では、「グローバルチャレンジ」に該当するプログラムを3つのアイコンで分類し、情報を掲載しています。

目次

目次・注意事項 P.2

“キャンパス”でのプログラム

From the World to KGU キャンパスで国際交流 P.3

融合科目 P.5

CIEC提供科目 履修方法 P.6

MSプログラム P.7

“海外”への挑戦

To the WORLD from KGU 関学から世界へ P.8

留学情報はここで入手しよう! P.9

中長期留学チャレンジ奨励金・学内イベント P.10

募集説明会・出願・選考スケジュール P.11

留学の計画を立てよう! P.13

交換留学の計画を立てよう! P.15

MSプログラム・修了証プログラム P.17

ダブルディグリー留学・3+2プログラム留学 P.18

短期留学プログラム P.19

夏季外国語研修 P.20

海外フィールドワーク P.25

国連セミナー P.26

短期海外インターンシップ P.27

CCC P.29

インドネシア交流セミナー P.31

中期留学プログラム P.32

中期留学(英語・スペイン語・フランス語) P.33

中期グローバル・キャリアPBL・中期留学共通注意事項 P.35

中長期留学プログラム P.36

交換留学 P.37

長期留学・認定留学 P.39

国際ボランティアプログラム P.40

国際ボランティア P.41

国連・外交プログラム P.45

国連・外交 P.46

学部提供プログラム P.48

学部・センター等で実施する留学プログラム P.49

融合プログラム P.54

所属学部生対象プログラム P.55

英語講座/奨学金・奨励金 P.56

英語無料講座・英語能力試験日程 P.57

奨学金・奨励金 P.58

注意事項

- 本冊子に記載の情報は、2026年3月現在のものです。今後状況の変化により、記載内容(渡航日程・参加費など)が大きく変更になることがあります。
- 本冊子に記載されている学生の学年表記は取材時のものです。
- 本冊子の記載内容に訂正がある場合は、下記のWEBサイトにてお知らせします。
- 本冊子にて募集するプログラムについては、留学プログラム実施先国等の状況によっては、中止または、プログラム内容の変更を判断することがあります。
- 特に、米国学生ビザ面接予約が2025年5月下旬から停止される事態が生じました。2026年3月現在も不安定な状況が続いています。米国への留学(短期・中長期)について、出願期間前に状況が十分安定していない場合、募集中止の判断をする可能性があります。出願開始前日までにkwicでお知らせします。

●最新の情報は、国際教育・協力センター(CIEC)のWEBサイト等から確認してください。



CIEC HP



グローバル
チャレンジ動画

From the World to KGU

キャンパスで国際交流



年間計1400名以上の外国人留学生在籍!

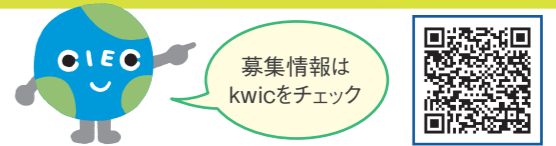
世界中から集まる外国人留学生と共に学生生活を過ごす中で、異なる文化的背景や価値感の相互理解を深め、国際社会の一員として学びあいます。

留学生と共に成長する交流制度

関西学院大学には世界中から様々な背景を持った留学生がそれぞれの目的に沿った期間で在籍しており、1年を通してキャンパス自体が国際交流の場となっています。留学生と国内学生相互の学生生活が充実したものになるように、KGバディーズ、日本語パートナーやラーニング・アシスタント、日本語ボランティア等の制度を設け、学内での国際交流の機会を提供しています。一部の活動では一定の条件を満たした方に活動証明書を発行しています。

外国人留学生		
卒業を目指し学部・研究科に所属	世界各国の協定校から1学期間～1年間来日	長期休暇を利用し数週間限定のプログラムで来日
正規留学生	交換学生	短期学生

交流制度一覧



短期型	数日	OST (オリエンテーションサポートチーム) 交換学生 オリエンテーションサポートチームの役割は、交換学生の来日直後に発生する諸手続き(主に市役所での手続きなど)をサポートすることです。4～5日の短い活動ですが、海外生活を開始する際の戸惑いを間接的に体験する貴重な機会になります。各国の協定校から来日する留学生たちを温かく迎えるために不可欠な存在です。	募集・活動カレンダー
	臨時・毎月	日本語授業ボランティア 正規留学生 交換学生 留学生が受講する日本語の授業の中で、留学生の会話の練習相手や発表に対するコメント・質問役となることで、学習効果を高めることが日本語授業ボランティアの役割です。L.A.(ラーニング・アシスタント)とは違い業務報酬はありませんが、活動は1回の授業で、完結するため、留学生サポートや国際交流に挑戦してみたい方はじめの一歩に最適です。	募集・活動カレンダー
	3週間	日本語パートナー 短期学生 世界各国の協定校から来学する短期留学生とともに、プロジェクト型学修に取り組み、留学生の日本語学習を支援します。異文化理解・多文化共生について実践的に学ぶ3週間の密度の濃い活動で、固い友情が育まれることでしょう。	募集・活動カレンダー
中期型	1学期	L.A. (ラーニング・アシスタント) 正規留学生 交換学生 日本語教育センターのL.A.(ラーニング・アシスタント)の役割は、留学生対象の授業に参加しディベートやグループ活動などを行い、授業担当者や留学生のサポートをすることです。業務報酬が支払われますが、単なるアルバイト業務ではなく、教育活動の一環として位置づけられています。	募集・活動カレンダー
	1学期	KG バディーズ 正規留学生 交換学生 国内学生と留学生が友人(バディ)となり、グループ活動を通して異文化交流を行いながら、留学生の新生活や日本語学習をサポートする制度です。一般学生と同じく卒業を目指して在学する「正規留学生」や、各国の協定校から期間限定で在学する「交換学生」が来日した学期にマッチングを行って活動します。	募集・活動カレンダー
長期型	最長2年	RA (レジデント・アシスタント) 正規留学生 交換学生 短期学生 留学生と国内学生が混住する寮で生活を共にしながら、生活サポートや交流促進を行う学生リーダーです。日本にいながらにして常に多国籍な環境に身を置くことで、語学力はもちろん、高い異文化対応力を身に付けることができます。留学生のサポートがしたい方、留学生とのイベントを企画・運営してみたい方等におすすめです!	募集・活動カレンダー

RA経験者コメント 日本にいながら海外で生活しているような刺激的な毎日で、様々なカルチャーショックに出会いました。そうした毎日の中で、課題解決する力も身に付きました。留学から帰ってきた方や、留学に行けないけど国際交流したい方におすすめです!

留学生との交流イベント

GSNetwork (CIEC 公認学生団体)

- ・年間20以上の国際交流イベントを企画・運営
- ・多くの学生が海外留学にも挑戦
- ・英語のファシリテートなどで活躍

GSNetworkに所属していなくてもイベント参加は可能! 詳細はkwicやInstagramで案内!

コーヒーアワー

- ・学内最大規模の公式国際交流イベント
- ・各学期NUCとKSCでそれぞれ1回ずつ開催
- ・留学生と友達になりたい学生歓迎

フジタ・グローバルラウンジ NUC G号館2階

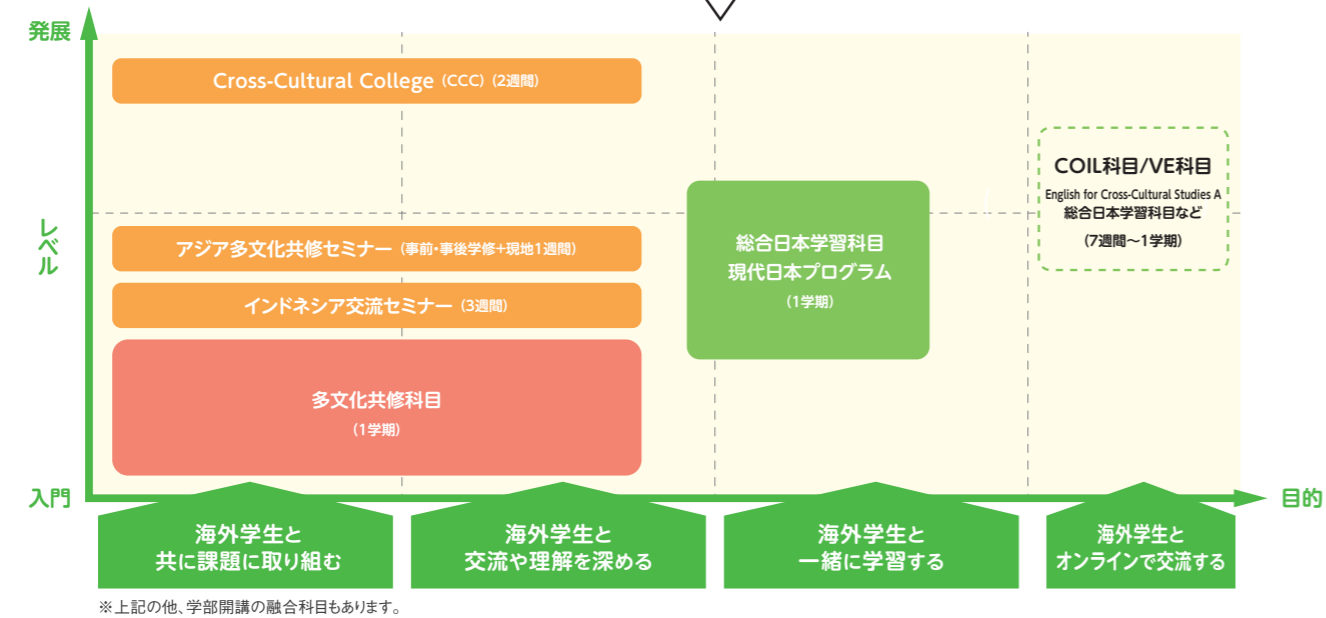
国際交流・留学情報発信イベントを随時開催!

※NUC…西宮上ヶ原キャンパス ※KSC…神戸三田キャンパス

留学生と学ぶ融合科目

関西学院大学では世界各国から年間1400名以上の留学生を受け入れており、キャンパス内にいながら海外の学生と共に学ぶことができる「融合科目」を多数開講しています。

<p>留学生と、日本を英語で学ぶ 総合日本学習科目</p>	<p>1学期の間ともに学ぶ 現代日本プログラム</p> <p>夏休み・春休みの集中講義科目 Summer School / Winter School</p>
<p>留学生と、文化を超えて学ぶ 多文化共修科目</p>	<p>1学期の間ともに学ぶ 様々なテーマで毎学期開講</p> <p>融合科目 リストは こちら</p>
<p>留学生と、社会に挑む 協働プログラム</p>	<p>インドネシア交流セミナー 詳細はP.31</p> <p>Cross-Cultural College 詳細はP.29</p> <p>アジア多文化共修セミナー 詳細は「募集要項 秋学期出願Ver.」で!</p>



※上記の他、学部開講の融合科目もあります。

Pick Up

●多文化共修科目

A. 申込のみ

留学生と一緒に、文化や考え方の違いを知りながら、話して、聞いて、協力する授業です。専門知識や高い語学力は不要。はじめてでも安心して参加できる学びです。



Profile

Australia / Murdoch University WAGER Andrew Malcolm
オーストラリア / マドック大学
ウェージャー・アンドリュー・マルコムさん

●多文化共修科目を受講して良かったことは何ですか？

日本の学生と留学生が共に学ぶ共修授業は、日本の文化や歴史・言語について深く学ぶことができました。特に私は日本映画に興味があり、テーマが映画だった授業回は力が入りました。履修者全員と共に学び、グループ活動やディスカッションを多く行うことによって、日本語力アップの現地体験が多くでき、物事を多角的に見るスキルを習得できたので、非常に良かったです。履修者の多くは日本の女子学生だったため、日本と海外の「恋バナ」の違いについてディスカッションをした回は盛り上がりましたし、楽しい思い出です。

●関西学院大学での経験は、今後の進路選択にどのような影響を与えそうですか？

日本語力の向上や異文化理解の深まりは、将来国際的な環境で働くうえで大きなアドバンテージになると考えています。また共修授業を通して自分のモノにした「多様な意見に耳を傾け、相手を尊重する」力は、今後の学業や将来就職でのチームワークにおいて活かしたいと思います。グローバルに挑戦することは、人生を変える素晴らしい機会です。一歩踏み出す勇気を持ち、自分自身の成長を楽しんでください！挑戦する価値は間違いなくあります。

3分でわかる！
授業紹介動画



●総合日本学習科目

B. 申込+スコア

すべて英語開講で、受講には、英語のスコアの提出と事前申請が必要です。文化・ビジネス・社会・国際関係・言語などのテーマに沿って日本のことを英語で学ぶことができます。これから中長期の留学を考えている方、留学で培った英語力を維持したい方におすすめです。

授業を通してステップアップ!

国際教育・協力センター(CIEC)・日本語教育センターでは、グローバル化の進む社会で求められる異文化の相互理解を深めるための科目や、留学生たちとともに多文化環境下において学ぶことができる科目を幅広く開講しています。

1. 提供科目一覧

▼科目一覧はCIECのWEBページで確認してください
<https://ciec.kwansei.ac.jp/page/cieccourselist.html>

履修案内や
履修者の声は
こちら



2. 履修方法

▼CIEC提供科目には、履修方法別で以下3種類があります。

A. 申込のみ 事前申込のみの科目 スコア提出はHPから!

B. 申込+スコア 英語スコアの提出+事前申込が必要な科目

TOEIC	TOEFL ITP	TOEFL iBT	IELTS	英検
680点	530点	71点	5.5	準1級

C. 履修登録 履修登録期間に登録できる科目

※科目ごとの履修方法は、左記WEBページで入手できる科目一覧の「履修方法」列を確認してください。

Pick Up

英語スコア対策科目 A. 申込のみ

交換留学や中期留学等、1セメスター以上の留学に挑戦する際には一定水準以上の所定のスコアが求められます。中長期留学を目指す方におすすめの、留学に必要な英語スコア取得を目標とした新設科目です。

●留学のためのIELTS

First Step : IELTS5.0以下、未受験者の方がIELTS5.0を目指すための科目です。
Regular : IELTS5.0以上の方が、IELTS5.5~6.0を目指すための科目です。
Advanced : IELTS5.5以上の方が、IELTS6.0~6.5を目指すための科目です。

●中期留学のためのTOEIC L&R

TOEIC L&R500点以下、未受験者の方が、TOEIC L&R500点以上を目指すための科目です。

カナダを知る!来日教員による特別科目【英語開講】 A. 申込のみ

本学では毎年、春学期と秋学期にカナダの大学から教員を招へいし、現地の文化や社会を多角的に学べる特別授業を開講しています。カナダをより深く知るチャンスとして、カナダへの留学を考える学生に特におすすめの科目です。

●Jason Dean先生(2026年度春学期)

・Topics in Canadian Studies A (カナダのビジネス文化)
・Topics in Canadian Studies B (カナダ経済の歴史と現在:日本との比較を中心に)

●Jennifer Hosek先生(2026年度秋学期)

・Topics in Canadian Studies C (短編映画と文学から学ぶカナダ文化)
・Topics in Canadian Studies D (映画とドキュメンタリーから学ぶカナダのビジネスと社会)

"Let's learn about Canada in English!"



デーソン・ジェイソン 先生
(ウエスタン/キングス大学講師)



ホセック・ジェニファ 先生
(クイーンズ大学教授)

日本社会におけるグローバル化 / 言語マイノリティについて学ぶ科目

2025年度入学生より対象の日本語教育センター提供 複数分野専攻制プログラム(MS)「ことばの教育と多文化共生」の対象科目です。

●日本社会と言語マイノリティ A. 申込のみ

国際化が進む日本において「多様性が尊重される社会」を実現するために、ことばや文化の差異がもたらす豊かさや課題について学びます。

●日本語教育基礎 / 日本語教育基礎演習 A. 申込のみ

「外国語としてみた日本語とはどのようなものか」、「日本語を教えるとはどういうことか」という視点から日本語や日本語によるコミュニケーションについて考える科目です。日本語教育の基礎的な知識を得るとともに、多文化共生社会における自己のあり方について考えることができます。

さらにステップアップ 複数分野専攻制 **MS**

複数分野専攻制…MS(Multidisciplinary Studies)所属学部以外の学部やセンター等から提供されたプログラムのもと学部の枠を越えた学問領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を養う制度

日本語教育センター提供
「ことばの教育と多文化共生」
副専攻プログラム

少子化が進み、日本では外国にルーツをもつ人とともに働き、暮らす場面がどんどん増えています。しかし、単に「受け入れる」だけでは本当の共生とは言えません。互いに理解し合い、安心して暮らせる社会をどうつくるか—その答えを、ことばや文化の学びから考えるのがこのプログラムです。このプログラムでは、日本社会における多様性や言語マイノリティをめぐる課題を出発点に、それを支える「ことば」や「ことばの教育」のあり方を、多角的に学び、講義による知識の習得や留学生との協働学習を通して、異なる背景をもつ人々と共に考える力を育てます。留学先や学内での留学生との交流に限らず、日常から社会に出た後まで、多様な人々と関わるあらゆる場面で活かせる視点と力を身につけることを目指します。前ページの科目をより体系的に学ぶため、ぜひ挑戦してください。



グローバル
チャレンジ
融合

プログラムのポイント

- 修了者には卒業時に関学公式の修了証を授与!
- 留学生と一緒に学ぶ授業で、リアルな多文化体験ができる!
- 日本語教育や外国人支援など、社会に役立つテーマを学べる!
- 自分の専門+国際的な視点を身につけられる!



プログラム提供科目(コア科目)と修了要件

- 必修 (2 単位)
「日本社会と言語マイノリティ」
- 選択必修① (いずれか 2 単位)
「日本語教育基礎」
「多文化共修科目(言語マイノリティ支援入門)」
- 選択必修② (対象科目のうち 12 単位)

上記必修および選択必修科目 (16単位) + 各学部・センターが開講の対象科目 (16単位)

→ 合計 **32** 単位で修了
※MSコース履修者はプログラムコア科目を優先的に受講可能

申込について

履修申込は学部1学年次秋学期と学部2学年次春学期の2回のみ。学部2学年次秋学期以降は申込みできません。

- 対象者 : 学部1・2年生
- 提出書類 : 複数分野専攻願 (所定用紙をkwicからダウンロードの上、所定Formで送信)

申込時期	第1期 (学部1年次11月)	第2期 (学部2年次5月)
許可者発表	例年1月	例年7月
プログラム開始	学部2年次春学期	学部2年次秋学期
定員	15名	
申込方法	オンライン ※kwic学生キャビネット参照	
選考形態	書類選考(「複数分野専攻願」、成績) ※英語能力を証明する書類は不要	

※募集説明会を各学期に実施します。日程等はkwicのお知らせを確認ください。

こんな方におすすめ

- ☑ 国際交流や異文化理解に関心がある。
- ☑ 将来、教育・国際協力・地域共生などに関わりたい。
- ☑ 人と関わるのが好きで、社会をより良くしたい。

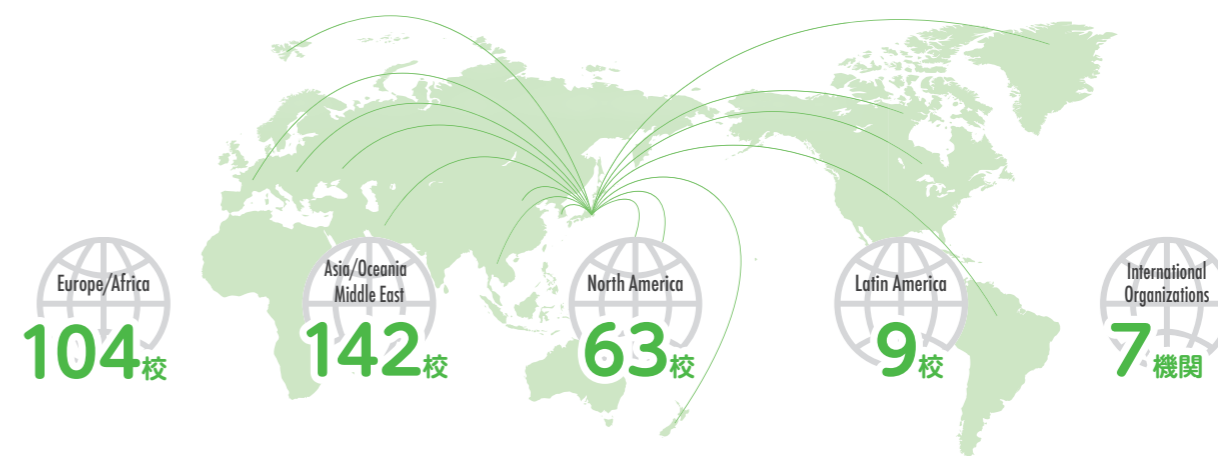
MSの詳細はこちら!
(kwic学生キャビネット)

- 複数分野専攻制(MS)の募集要項・複数分野専攻願などはこちらから確認してください。

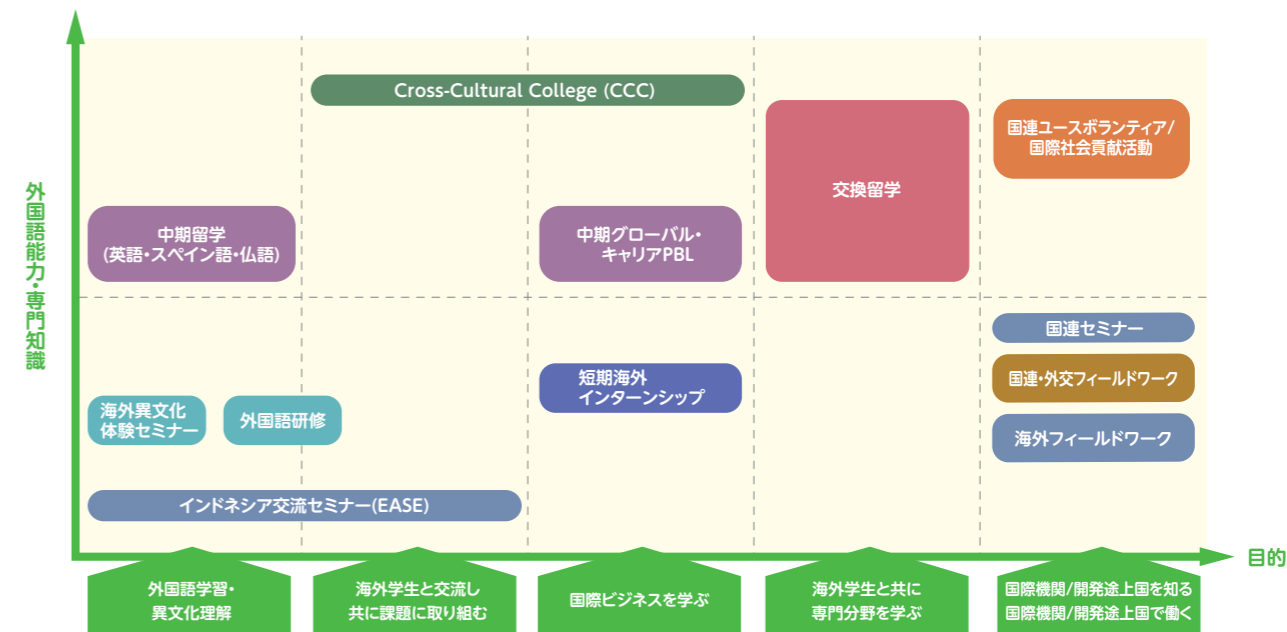


To the **WORLD** 関学から世界へ
from KGU
60カ国・地域 320を超える大学・国際機関

関西学院大学の協定大学はどの大学も一定の基準を満たしている質の高い大学です。世界大学ランキングでベスト100位以内にランクインしている大学や、リベラルアーツカレッジの分野で評価の高い大学等、様々な大学と協定を締結しています。



関学だから、必ず見つかる
～多彩なCIEC主催プログラム～



留学情報はここで入手しよう!

1 国際教育・協力センター(CIEC)

国際教育・協力センター(CIEC:Center for International Education and Cooperation)では、さまざまな国際教育プログラムを提供しています。CIECの主な役割は、①留学・国際プログラムに関する情報提供、②留学のサポート、③外国人留学生や交換学生をサポートです。CIECは、関学生のみならず「世界市民」としてグローバル社会で活躍することを願っています。CIECが提供する多種多様なプログラムを活用し、世界市民としての一歩を踏み出してください!

CIECはどこにあるの?

- 西宮上ヶ原キャンパス
NUC G号館1階
 - 開室時間：月～金曜日 8:50～11:30
12:30～16:50
 - 神戸三田キャンパス
KSCI VIII(8)号館1階事務室
 - 開室時間：月～金曜日 8:50～11:30
12:30～16:50
- ※ただし、祝日・休校日を除く。夏季休暇中は、学部事務室開室時間と同じ。



情報収集

WEB サイト

募集要項+aの情報が充実!

募集要項には載っていない留学プログラムの詳細を掲載しています。留学プログラムに参加するにあたり、本要項と併せて必ずご確認ください。



URL : <https://ciec.kwansei.ac.jp>

CIECのWEBサイトでは、様々な情報が確認できます!

- 留学のモデルケース
- 留学×就職
- 学内施設の利用
- 留学に関するFAQ
- 留学×教職
- 海外渡航・留学中の危機管理
- 提供科目

kwic 学生キャビネット

学生キャビネット>国際教育・協力センター(CIEC) : 海外への留学

各種留学プログラムの詳細情報を掲載しています。留学プログラムに参加するにあたり、本要項と併せて必ずご確認ください。



関学生の留学風景や留学のお得情報を配信中!



各留学プログラムのガイダンス動画を公開中!



2 留学の窓口(個別相談)

本学では、留学に関する個別相談ができる場(留学の窓口)を設けています。留学の窓口では、本学の留学アドバイザーが、様々なプログラムの紹介、プログラム別の出願条件、情報収集の仕方や、必要な事前準備など、留学に関するご相談に個別に対応します。皆さんの不安を解消し、一緒に留学計画を考える場が留学の窓口です。お気軽にご相談ください。

皆さんが過ごしている大学生活の中に「留学」というキーワードはありますか? 留学は語学の習得や異文化理解を深めることはもちろん、そこで培った経験や出会いがその後の将来の可能性を大きく広げてくれます。ですが、留学したいと思っても、不安が先行してなかなかその一歩が踏み出せない方もいると思います。少しでも「留学」に興味があるという方は、お気軽にご相談にお越し下さい。皆さんが安心して有意義な留学を実現できるよう応援します。



留学アドバイザー 常次 智子

こんな方におすすめ

- ✓ 留学に興味はあるけれど、何から始めて良いかわからない。
- ✓ 留学に向けてどんな準備をしたらいいんだろう。
- ✓ プログラムが多すぎてどうやって選べば良いかわからない。

「留学の窓口」

- 面談可能時間：約30分
- 面談場所：NUC G号館内面談室 / オンライン (予約された方に個別案内します。)
- 予約方法：CIECのWEBサイトの相談窓口カレンダーから相談予約可能時間を選び、メールで予約してください。1～2日以内に予約完了メールをお送りします。



予約はこちら

【新設】中長期留学チャレンジ奨励金

中長期留学への参加を奨励することを目的とし、新たに設置する支給型の奨励金です。

2026年度、以下対象プログラムの参加者全員が給付対象となります。P.58奨学金・奨励金も併せてご参照ください。

※学業成績・語学力などの選考はありません。

※参加決定後、所定の手続きを行うことで奨励金を支給します。

※本奨励金は、学内留学奨励金との併給が可能です(外部奨励金との併給については、当該奨励金規定による)。

※複数の中長期留学プログラムに参加する場合、各プログラムごとに本奨励金を受給することができます。



プログラム	中長期留学チャレンジ奨励金		プログラム	中長期留学チャレンジ奨励金
交換留学・認定留学(1年)	アジア	10万円	長期留学(1年)	25万円
	アジア以外	20万円	長期留学(1学期)	12.5万円
交換留学・認定留学(1学期)	アジア	5万円	中期留学・中期グローバルキャリアPBL	10万円
	アジア以外	10万円	国際社会貢献活動	5万円
			ダブルディグリー留学	15万円

※アジアとは、外務省が定めるアジアに属する国・地域をいう。

学内イベント

これら以外にも、CIECではさまざまなイベントを随時企画しています。イベント内容についてはCIECのWEBサイト、kwic、各SNS (Instagram、LINE) などで案内しますので、積極的に参加してください!



少しでも留学に興味のある方は是非参加してください!

予約不要・入退場自由

留学フェアに参加しよう!

留学から帰国したばかりの留学経験者や、CIECのプログラム担当者と対面で相談ができ、留学についてより詳しく情報を得られるチャンスです! 春学期と秋学期にそれぞれ1回実施します。留学プログラムに迷っている方、留学と就職活動で迷っている方、授業などの関係で長期留学が難しい方、留学にあまり関心が無い方...そんな皆さんにこそ役立つ情報が盛りだくさん! 今すぐ出願したくなる「留学」を見つけませんか?

留学に迷っている方、留学をためらっている方必見! 全学年対象! 保証人のご参加も大歓迎です!

出会う、まだ見ぬ世界! まだ見ぬ自分!

メインイベント

- ◆日時: 4月11日(土) 10時～16時30分(予定)
- ◆場所: 西宮上ヶ原キャンパス G号館1・2階(詳細はWEBサイトをチェック) ~交換留学生と交流する機会もあります~

個別相談

- ◆日時: 4月13日(月) 16時～18時(予定)
- ◆場所: 西宮上ヶ原キャンパス G号館2階(フジタ・グローバルラウンジ)
- ◆日時: 4月14日(火) 16時～18時(予定)
- ◆場所: 神戸三田キャンパス (アカデミックcommons1階 シアター)



最新情報はWEBサイトをチェックしてね



募集説明会・出願・選考スケジュール

1 募集説明会の教室・Zoomリンク



2 関学生限定YouTubeチャンネル



NUC 西宮上ヶ原キャンパス KSC 神戸三田キャンパス ※ はオンラインにて実施します。

プログラム(短期)

夏季外国語研修 (P.20~24)

出願期間 4月13日(月)~4月26日(日) 選考 選考なし(申し込み多数の場合は抽選) 参加者発表 4月30日(木)

4月上旬 関学生限定YouTubeチャンネルにて以下の動画を公開

- ◆外国語研修ガイダンス:概要、プログラム選択のポイントについて
- ◆各大学プログラム説明(全11大学)

海外フィールドワーク(マレーシア・ベトナム) (P.25)

出願期間 4月14日(火)~4月20日(月) 選考 書類選考結果発表4月24日(金) 面接選考5月16日(土) 参加者発表 5月21日(木)

	日 時
NUC	4月14日(火) 12:35~13:25(昼休み)
KSC	4月13日(月) 12:35~13:25(昼休み)

※場所等の詳細はkwicでお知らせします。

インドネシア交流セミナー(EASE) (P.31)

出願期間 4月8日(水)~5月6日(水) 選考 書類選考結果発表5月14日(木)PM 面接選考5月16日(土)AM~ 参加者発表 5月20日(水)

日程	時間	内容
4月8日(水)	12:50~13:20(昼休み) 16:50~17:20(5限)	プログラム概要と申し込み方法について ※オンラインで実施

※全てオンライン(Zoom)で実施

短期海外インターンシップ(アメリカ・オーストラリア・ベトナム・マレーシア) (P.27~28)

出願期間 4月17日(金)~4月27日(月) 選考 書類選考 参加者発表 4月30日(木)

日程	時間	内容
KSC 4月13日(月)	12:35~13:25 (昼休み)	プログラム説明(アメリカ・オーストラリア・ベトナム・マレーシア)
NUC 4月14日(火)		プログラム説明(アメリカ)
NUC 4月15日(水)		プログラム説明(オーストラリア・ベトナム)
NUC 4月16日(木)		プログラム説明(オーストラリア・マレーシア)

※出願の前に、出願方法や出願スケジュールなどの事務説明の動画を必ず視聴すること。(関学生限定YouTubeチャンネルに掲載)
※教室等の詳細はkwicでお知らせします。

Cross-Cultural College (CCC) / Global Career Seminar in Japan (GCSJ) Global Internship in Japan (GIJ) (P.29~30)

GCSJ GIJ 出願期間 4月23日(木)~4月28日(火) 面接選考 5月9日(土) 参加者発表 5月11日(月)

日 時	
4月21日(火)	12:50~13:20(昼休み)

※全てオンライン(Zoom)で実施

プログラム(中長期)

中期留学 (P.33~34) ※出願スケジュールは9月に発行する募集要項「秋学期出願Ver.」にて案内します。

出願期間 2027年度春学期留学:10月~11月 2027年度秋学期留学:12~1月予定 選考 書類選考の上、申込多数の場合は抽選 ※出願までに必要な英語スコアを取得すること。 参加者発表 春学期留学:12月予定 秋学期留学:1月予定

◆中期留学について知る 中期留学概要・出願方法・大学選択のポイントについては関学生限定のCIEC YouTubeチャンネルにて公開中です。

◆ミニガイダンス・先輩体験談

《Let's Check!ミニガイダンスで先輩のリアルな声を聞いてみよう!》
6月24日(水)および7月1日(水)のお昼休みに、中期留学のミニガイダンス(留学体験談Part1&Part2)をNUCおよびKSCにて実施します。*KSCは6月24日(水)のみ留学準備から現地生活、帰国後の過ごし方などぜひ先輩の体験談をお聞きください。詳細決定次第、CIECホームページ新着情報およびInstagram・LINEにてお知らせします。

NUC 場所:G号館2階 フジタ・グローバルラウンジ

KSC 場所:アカデミックコモンズ1階 シアター

	日 時(予定)
第1回	6月24日(水) 昼休み
第2回	7月1日(水) 昼休み

	日 時(予定)
第1回	6月24日(水) 昼休み

※各回内容は異なります。

◆出願前ガイダンス ◆行先別説明会 10月から順次実施します。

中期グローバル・キャリアPBL (P.35) ※出願スケジュールは9月に発行する本冊子のVol.2にて案内します。

出願期間 2027年度留学:12月予定 選考 書類選考の上、申込多数の場合は抽選 ※出願までに必要な英語スコアを取得すること。 参加者発表 12月予定

◆概要について知る 中期グローバル・キャリアPBLの概要・プログラム選択のポイントについては関学生限定のCIEC YouTubeチャンネルにて公開中です。

◆ミニガイダンス・先輩体験談/6月予定 場所は決定次第、ホームページ新着情報およびLINE等にてお知らせします。

◆帰国報告会・成果発表会/12月上旬予定

◆2027年度留学出願前ガイダンス・プログラム説明会/11月頃実施予定

交換留学 (P.37~38)

募集説明会	出願手続き説明会	大学選択のための情報収集セミナー	オンライン入力期間	出願	選考	推薦者発表	追加募集	推薦者説明会 ※参加必須
第1期募集 NUC KSC 4月16日(木) 5月8日(金) 6月2日(火) 12:45~13:20(昼休み)	6月18日(木) 7月8日(水) 12:45~13:20(昼休み)	6月25日(木) 7月1日(水) 12:45~13:20(昼休み)	7月24日(金)~ 7月30日(木)	7月28日(火)~ 7月30日(木)	<CIEC> 面接試験(適正審査):9月1日(火) ※予備日:9月4日(金) ◆英語以外の言語受験者 外国語筆記試験:9月1日(火) ※予備日:9月4日(金) 外国語面接試験:9月1日(火)~9月3日(木) <学部推薦> 8月下旬~9月中旬 ※選考内容は各学部により異なります	9月25日(金)	推薦者発表後に、追加募集を予定しています。追加募集は、第1次募集に出願し、面接選考に進んだものの、推薦者とならなかった方が対象です。	NUC 10月10日(土)
第2期募集 NUC KSC 7月2日(木) 7月10日(金) 9月29日(火) 12:45~13:20(昼休み)	10月1日(木) 10月5日(月) 12:45~13:20(昼休み)	9月30日(水) 10月2日(金) 12:45~13:20(昼休み)	10月16日(金)~ 10月22日(木)	10月20日(火)~ 10月22日(木)	<CIEC> 面接試験(適正審査):11月7日(土) ※予備日:11月8日(日) ◆英語以外の言語受験者 外国語筆記試験:11月7日(土) ※予備日:11月8日(日) 外国語面接試験:11月7日(土)~11月13日(金) <学部推薦> 11月中 ※選考内容は各学部により異なります	12月15日(火)	推薦者発表後に、追加募集を予定しています。追加募集は、第1次募集に出願し、面接選考に進んだものの、推薦者とならなかった方が対象です。	NUC 1月27日(水)

※場所等の詳細はkwic、Instagramでお知らせします。

長期留学(学部科目履修型) (P.39)

出願期間 オンライン入力期間:9月18日(金)~9月25日(金) 書類提出:9月24日(木)~9月25日(金) 選考 学部で審査 参加者発表 10月21日(水)

募集説明会	
第1期募集	6月23日(火)、9月18日(金) 12:45~13:20(昼休み)

※認定留学の募集説明会は実施していません。詳しくは国際教育・協力センターまでお問い合わせください。
※オンラインにて実施予定

国際ボランティア (P.40~44)

出願期間 5月1日(金)~5月11日(月) 選考 書類選考結果発表5月15日(金) 面接選考5月23日(土) 参加者発表 5月28日(木)

募集説明会	
NUC	4月23日(木) 12:35~13:25(昼休み)
KSC	4月21日(火) 12:35~13:25(昼休み)

※場所等の詳細はkwicでお知らせします。

留学計画を立てよう! ~ロードマップ~

国際教育・協力センター(CIEC)提供プログラムのほとんどが、留学に行く約4ヵ月~1年前から出願が始まります。4年間の大学生活をどう過ごすかしっかり計画を立てて、早めに留学の準備に取り掛かりましょう!

2026年~2028年		26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月								
学内スケジュール		春学期授業			定期試験	夏休み		秋学期授業			冬休み	定期試験	春休み	春学期授業			定期試験	夏休み		秋学期授業			冬休み	定期試験	春休み								
短期プログラム	外国語研修 (P.20)	募集説明会	出願	参加決定	事前研修	事前研修	留学	事後研修	募集説明会	出願	参加決定	事前研修	事前研修	留学	事後研修	募集説明会	出願	参加決定	事前研修	事前研修	留学	事後研修	募集説明会	出願	参加決定	事前研修	事前研修	留学	事後研修				
	海外フィールドワーク (P.25)	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修(数回)	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修(数回)	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修(数回)	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修(数回)	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修			
	国連セミナー (P.26)	26年2月~4月	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定			
	短期海外インターンシップ (P.27)	募集説明会	出願	選考	参加決定	マッチング面談	事前研修①	事前研修②	事前研修③	留学	事後研修	募集説明会	出願	選考	参加決定	マッチング面談	事前研修①	事前研修②	事前研修③	留学	事後研修	募集説明会	出願	選考	参加決定	マッチング面談	事前研修①	事前研修②	事前研修③	留学	事後研修		
	Cross-Cultural College (CCC) (P.29)	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修(数回) ※プログラムによって回数は異なる	プログラム実施(国内)	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修(数回) ※プログラムによって回数は異なる	プログラム実施(カナダ)	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修(数回) ※プログラムによって回数は異なる	プログラム実施(国内)	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修(数回) ※プログラムによって回数は異なる	プログラム実施(カナダ)	留学	募集説明会	出願	選考	参加決定
	インドネシア交流セミナー (EASE) (P.31)	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修(数回)	プログラム実施(国内)	留学	事後研修	報告書作成	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修(数回)	プログラム実施(国内)	留学	事後研修	報告書作成	募集説明会	出願	選考	参加決定	事前研修(数回)	プログラム実施(国内)	留学	事後研修	報告書作成	募集説明会	出願	選考	参加決定	
中期プログラム	中期留学 中期グローバル・キャリアPBL (P.33)	春学期											事前研修(数回) ※プログラムによって回数は異なる	留学(派遣先により出発・帰国日は異なる)																			
	秋学期																																
中長期プログラム	長期留学(学部科目履修型) (P.39)	第1期 春学期派遣																															
		第2期 秋学期派遣																															
交換留学	交換留学 (P.37)	第1期 春学期派遣	募集説明会・出願手続き説明会																														
		第2期 秋学期派遣																															
国際ボランティア	国際ボランティア (P.40)	春学期派遣	募集説明会	出願	選考	学内選考通過者決定	派遣準備・国際ボランティアゼミI履修																										
		秋学期派遣																															

記載内容は、2026年3月現在のものです。最新の情報は、国際教育・協力センター(CIEC)のウェブサイト等から確認してください。

※交換留学の計画はP.15~16ページも併せて確認してください。

交換留学の計画を立てよう!

2年生春学期出発(1~4月)または2年生秋学期出発(7月~10月)のケース

※出願スケジュールは学年を問わず同じです。出願に関する注意は37ページを参照。

	1年次										2年次						
	春学期					秋学期					春学期			試験/夏季休暇			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2年生春学期出発(1月~4月)	募集説明会・出願手続き説明会			出願		選考	推薦者発表	推薦者説明会	事前研修①	事前研修②	事前研修③	交換留学派遣(1学期間または1年間)					
2年生秋学期出発(7月~10月)				募集説明会・出願手続き説明会			出願	選考			推薦者発表	推薦者説明会	事前研修①	事前研修②	事前研修③	交換留学派遣(1学期間または1年間)	
イベント英語講座	留学フェア	グローバルダイアログ	学生アドバイザーによる留学相談会			留学フェア	学生アドバイザーによる留学相談会			グローバルダイアログ			CIEC提供英語無料講座				
	CIEC提供英語無料講座			CIEC提供英語無料講座			英語試験対策エクステンションプログラム 短期集中講座			英語試験対策エクステンションプログラム			CIEC提供英語無料講座				
	CIEC開講 英語テスト対策科目*			CIEC開講 英語テスト対策科目*			CIEC開講 英語テスト対策科目*			CIEC開講 英語テスト対策科目*			CIEC開講 英語テスト対策科目*				

※英語テスト対策科目は2026年4月以降新設予定の学部生対象の全学科目です。

「交換留学準備コミュニティ」に参加しよう!

Slackのチャンネルにて、当コミュニティに入ってください...

- 定期的に交換留学に役立つ情報が配信される!
- 他の交換留学を目指す方と情報共有をすることができる!
- IELTS学内団体受験者用の一部補助として1万円が還元される!

※必要要件の1つです。



関心がある方は、Slackで「交換留学準備コミュニティ」を検索し、下記チャンネルに入ってください。

#grp-交換留学準備コミュニティ-玄関

英語講座GUIDE

学内の各種講座・授業が一目で分かる英語講座リーフレットをCIEC事務室に設置しています。ウェブ版はkwicキャビネットから入手出来ます。学内で実施される英語能力試験についても確認ができます。



関学の協定校

- 約60か国/地域に320校以上(内約45か国/地域の約200校が交換協定)の協定校があります。
- これらは関学独自の基準を満たしている質の高い協定校です。
- 協定校はCIECウェブサイトから確認ができます。



● どうやって情報収集するの?

約200校もある大学の中から留学先を決めるのは大変です。積極的に情報収集をして自分に合った留学先を見つけてください。

手段	内容	情報収集方法
Fact Sheet	留学期間、現地で履修可能な科目、宿舎についてなど、交換留学に関する重要な情報が書かれています。	kwicキャビネットもしくはLUNAの「全学コミュニティ」から閲覧可能
定例報告	交換留学経験者による留学報告書です。	
募集人数表	各大学の募集人数や出願要件などが書かれています。	
留学アドバイザー	留学に関する悩みを本学の留学アドバイザーに直接相談することができる制度です。	CIECウェブサイトのイベントカレンダーから個別面談可能時間を選びメールで予約。
Slack	Slackのチャンネルにて、定期的に交換出願に役立つ情報が配信されます。	Slackにて「交換留学準備コミュニティ」を検索し公式チャンネルに入ってください。

出願前に確認しよう! 全プログラム共通の注意事項

以下を必ず確認のうえ、出願してください。

- ※プログラムの期間と重複する集中講義を履修している場合、当該プログラムの出願資格はありませんのでご注意ください。
- ※本募集要項に記載の内容(プログラム・スケジュール等)は2026年3月時点のものです。プログラム実施大学(機関)や派遣先国の事情等により、今後変更が生じる可能性があります。
- ※プログラムごとの注意事項等については、各プログラムの詳細ページを確認してください。

● 参加条件

- 各プログラムの事前研修・事後研修に全日参加できること(無断でオリエンテーション・事前研修を欠席した場合、参加が取り消されることがあります)。
- 各プログラムへの参加は、心身ともに健康状態が良好であることが前提です。現在治療中の病気だけでなく、心や身体の健康面で心配なことがあれば、主治医等に留学が可能であることを確認し、指導を受けてください。
- 毎年度大学で実施している定期健康診断を受けること、留学先に応じた予防接種を受けておくことが必要です。
- プログラム実施前には事前研修への出席(対面)や渡航手続き、および自身で留学先大学への出願(交換・長期・認定留学の場合のみ)を進めることが求められます。出願時・プログラム参加前の学期に休学中の場合には、上記が可能な場合に限り出願が可能です。出願前に国際教育・協力センターまで相談してください。ただし、国際ボランティアプログラムについては、出願時の学期および次学期に、事前研修としての科目履修が必須のため、出願からプログラム参加までのすべての期間において、休学中あるいは休学予定の学生は出願することはできません。
- 休学中のプログラム参加は不可です。

● プログラムの中止・参加決定後の辞退

- 参加人数が最少催行人数に満たない場合は、プログラムを中止する可能性があります。
- プログラムは実施先の都合や、国際情勢等により中止されることがあります。また渡航日程・プログラム詳細は変更されることがあります。
- 参加決定後の辞退はできません。
- 参加費を徴収するプログラムについて、やむを得ず辞退する場合は、その理由に関わらず以下の通り参加費用の一部または全額のキャンセル料金が発生します。
 - プログラム費用: プログラム実施機関のキャンセルポリシーに基づく。
 - 航空券: 航空会社のキャンセルポリシーに基づく。
 - その他: プログラムに付随して発生する費用は関連する事業者等のキャンセルポリシーに基づく。
- 本要項に記載の渡航日程については、変更が生じる可能性があります。悪天候や機材調整等によるフライトの早発・遅延・欠航等のため、出発日の前倒し、帰国日の遅延が生じることもあります。プログラム前後のスケジュールには余裕をもたせて参加計画を立ててください。

交換留学のためのチェックリスト(できたものに を入れましょう)

イベント参加関連	準備関連	情報収集関連	出願関連
留学フェアに参加した	英語資格試験対策講座に申し込んだ	Slackで交換留学準備コミュニティに入った	募集説明会に参加した
学生アドバイザーの相談会に参加した	英語力をつけるための授業履修を登録した	交換留学の定例報告を読んだ	出願手続き説明会に参加した
協定大学の交流会に参加した	英語/言語資格試験の受験日を確認し、設定した	興味のある協定校のファクトシートを確認した	出願資格と協定校の出願条件を確認した
グローバルダイアログに参加した	英語/言語資格試験に申し込んだ	興味のある協定校の大学ウェブサイトを調べた	出願方法を確認した
留学アドバイザーによる個別留学相談を活用した	資格試験を受験し、スコア/資格を受け取った	興味のある協定校の履修内容を調べた	出願に必要な書類を確認した
	ゼミ、教職、就活スケジュールを確認した	興味のある国の学生ビザ情報を調べた	
	卒業要件を確認した(特に3,4年生)	興味のある国について調べた	

● 渡航時期・日程

- 留学プログラムに参加するために、補講・試験日に平常評価として実施する試験、定期試験、中間試験及び追試験を受験できない場合は、個別に成績評価を行いますので、了解のもとで出願してください。なお、個別に成績評価を受ける場合には申請が必要です。kwic等で大学から案内される申請方法を確認の上、所定の手続きを行ってください。

● 複数プログラムの併願

- 原則として、同時期に実施する複数プログラムの併願は認められません。以下の組み合わせに関しては併願が可能です。◎国連ユースボランティア、国際社会貢献活動 ◎中期留学、中期グローバル・キャリアPBL ◎交換留学、ダブルディグリー留学(対象学部生のみ) ※その他プログラムとの併願については、必ず事前にCIEC事務室まで相談してください。

● 奨学金

- 奨学金が支給されるプログラムに限り、支給方法等の詳細を参加決定後に案内します。
- 奨学金の種類、金額はp.58を参照してください。
- 各学部生対象の奨学金については、在学中に1回のみ受給可能です。国際教育・協力センターが提供する奨学金とは1回の留学において重複受給できません。

● パスポート

- 海外で実施されるすべてのプログラムにおいて、パスポートコピーの提出が必要です。有効なパスポートを所持していない場合には、各都道府県の旅券事務所で交付の申請手続きを行ってください。※自宅生以外で大学近辺で暮らしている場合、現在住んでいる兵庫県で居所申請をすることができます。通常のパスポート申請より必要書類が多いため、各自治体のウェブサイトで手続き方法を確認してください。※外国籍学生の場合はビザ取得方法等が異なる為、出願前に相談してください。

● 参加費

- 為替相場や航空運賃の変動などにより、追加徴収または返金をする場合があります。参加費の最終的な精算はプログラム終了後に行います。
- プログラムの参加費には原則ビザやパスポート取得費用、その他個人的な費用は含まれません。

● 単位の取り扱い

- 単位の取り扱いが学部・学年によって異なる場合がありますので、所属学部の履修心得を確認してください。

● 安全と危機管理・健康管理

- 有意義な海外生活を送るためにも、留学出発までに必ず「安全と危機管理・健康管理」に関するCIECウェブサイトを確認してください。

● 出願方法

- STEP1** 提出書類の準備
※JPEG形式にすること
- STEP2** オンライン出願(パソコンのみ)
- STEP3** 提出書類のアップロード
- STEP4** 完了

出願期間はプログラムごとに異なります。期日は厳守のため必ず確認して下さい。

PICK-UP 特色のある国際教育プログラム

ガクチカに差がつく! "留学+α"の修了証プログラム!

～体系的な知識を身につけ、『世界市民』を目指そう!～

修了証プログラムとは?

- **主専攻の学びに“プラスα”を広げられる制度**
自分の興味や可能性に合わせて、学びの幅をもう一歩先へ広げることができます。
- **学部や分野の枠をこえた履修が可能**
学びの世界を広げながら、自分だけの強みや興味を伸ばしていきます。
- **積み重ねた学びは修了証として形に残る**
自分が大学時代に育んだ力を示す、わかりやすい証明になります。
- **興味・関心を深めたい人、将来に活かせる力を身につけたい人に最適**
大学生生活での学びをさらに豊かにし、自分の可能性を広げるきっかけになります。

Certificate Program (CP)

Cross-Cultural College (CCC) P.29

企業が抱える課題解決に取り組む実践科目を中心に、多文化共生や国際関係をオールイングリッシュで学び、多国籍な場面で活躍できるグローバル人材を育成する

CPではカナダの学生とビジネス課題に取り組み、実践的な英語力とグローバルに活躍できるスキルを証明できる修了証とオープンバッジを提供しています。グローバルに挑戦するキャリアを輝かせるために、他の学生と差をつける+αの経験がしたい方にお勧めです!



グローバルに活躍できることを証明したい人!



副専攻プログラム (MS)

ことばの教育と多文化共生 P.7

講義や留学生との協働学修などを通じて、異なる背景をもつ人々と共に考える力を育てる

留学生との共修や言語支援などの実践を通して、多様な人と協働する力や、自分の考えをことばで伝える力を育てます。本プログラム修了者には、ことばや文化の違いを踏まえ、多様な人と協働する力を身につけたことを証明できる修了証を提供します。

日本語や日本社会をマイノリティの視点から学び、相手の立場を考えたコミュニケーション力を培ってきたことを、就職活動などでアピールできます。



多文化を理解し、社会をより良くしたい人!



国連・外交プログラム P.45

国連や国際課題、SDGsに関する科目履修や海外派遣プログラム参加を通じて、グローバル社会で活躍する力を養う

学部を越えた熱い志をもつ学生たちと共に学びたい、国際課題に対してアクションを起こしたい、卒業後の進路をグローバルに切り開きたい方は、ぜひ本プログラムに申し込んでみてください。その先により充実した大学生活と、入学時から何倍も成長した自分が待っています。



将来、国連や外交・国際協力分野で活躍するリーダーを目指す人!



超上級者向け

さらなる高みを目指すなら、海外大学で学位取得に挑戦!

ダブルディグリー留学

本学から海外大学に1年半～2年半留学し、両大学の学位を取得!

関西学院大学に在籍しながら海外の大学に留学し、それぞれの大学で修得した単位の一部を両大学が相互に単位認定することで、両大学の学位を取得できる制度です。現在は社会学部、商学部、国際学部、言語コミュニケーション文化研究科を対象に実施しています。将来、海外の大学院への進学や、外資系企業・グローバル企業、国際的な機関への就職など、国際社会の第一線で活躍したい方におすすめしたい制度です。



深く、幅広い専門性を関西学院大学と留学先大学で身に付けよう!

留学先大学等詳細情報はこちら



学生体験談

藤原 彩花 国際学部 カナダ/マウント・アリソン大学(留学当時2年)



なぜ留学しようと思いましたか?

国際関係を深く学ぶため、カナダ留学は国際情勢を多角的に理解する良い機会だと考えました。日本と北アメリカの両方からの視点をつけることで、より幅広い国際的な視野を養えると思ったからです。また、2.5年間の長期留学を通じて、現地学生と同様に勉学に励み、地元の文化に浸れる点にも魅力を感じました。長期ならではの利点を活かし、ボランティア、インターン、サークル活動などを通して新しい場所でのつながりを築き、自己成長につなげたいと考え、この留学を選択しました。

留学を実現するまでに、どのような準備をしましたか?

入学後すぐにダブルディグリー留学に向けて準備を始めました。履修については、関学の卒業必須科目を効率よく取得しつつ、マウント・アリソン大学が推奨する授業も計画的に履修しました。語学の勉強は出発ギリギリまで必死に続け、求められていたTOEFLの一定の点数を超えられたよう努力しました。また、日本にいながら留学生と交流するなど、異文化に触れたり実際の言語を学ぶ機会も日頃から意識していました。

1日もしくはプログラム全体のスケジュールを教えてください。

全体のスケジュールは、9～12月が秋学期、1～4月が春学期、5～8月が夏休みです。学期中の1日の流れは、準備→朝食→授業または図書館で勉強→昼食→授業または勉強→夕食→勉強または友人と団らん、という形でした。予習・復習や課題に多くの時間が必要で、基本的に勉強中心の忙しい毎日でしたが、食事の時間は友人たちと過ごす息抜きになっていました。週末は勉強をしつつ、友人と出かける時間もありました。夏休みには現地でインターンやバイトを経験し、実際の働く環境に触れることができました。一方で、自国に帰る学生も多かった印象です。

これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージ

この大変さと楽しさを味わえるのは、ダブルディグリー留学だけだと思います。ダブルディグリー留学と聞くと難しく、自分にできるのか不安に感じるかもしれませんが、私は本当に感謝しています。英語力や学業面のスキルアップだけでなく、自己成長や自分と向き合う貴重な機会を与えてくれました。大学生生活は一度きりですが、その中でこの留学は非常に価値のある経験になると 생각합니다。

3+2プログラム (早期卒業+海外大学院修士課程特別推薦)

本学を3年で早期卒業し、海外大学院に進学。最短5年で学士号と修士号を取得!

関西学院大学を3年で早期卒業し、海外協定大学大学院の2年間の修士課程に進学することができる特別推薦制度。学部(学士課程)および大学院(修士課程)の在学期間の合計が最短5年で、関西学院大学の学士学位と、海外協定大学大学院の修士学位の取得を目指します。

2026年度から、オーストラリアの名門大学 クイーンズランド大学大学院 (Faculty of Business, Economics and Law)とのプログラムについて、経済学部、商学部、人間福祉学部、国際学部にて募集を開始します。



*本学卒業(3月)から協定大学への進学(7月)まで約半年のギャップ・イヤーが発生します。

応募にあたっては、各学部の案内もkwic等で必ず確認ください。

詳細情報はこちら



休み期間中に参加できる
(10日間～約1ヵ月)

短期留学プログラム

- 夏季外国語研修
- 海外フィールドワーク
- 国連セミナー
- 短期海外インターンシップ
- Cross-Cultural College (CCC)
- インドネシア交流セミナー



1-1

短期間で集中的に外国語を学ぶ

夏季外国語研修

Short-term Language Studies Program

グローバル
チャレンジ

留学

詳細はWebを
チェック!

プログラム概要

夏休み(8～9月)を利用して、海外の協定校で英語・中国語・朝鮮語などの言語を3～5週間で集中的に学習する短期の語学研修プログラムです。

長期休暇を
有効に活用して
言語を学びたい!

いきなり半年以上の
留学は不安…
まずは短期で
試したい!

海外初挑戦!
留学初挑戦!

部活や実習が
あって長期間の
留学ができない…

交換留学に向けて
語学力を伸ばしたい!

- 参加資格**
学部生
※2026年9月卒業見込者は卒業式の日程を確認した上で出願してください。
卒業式に参加できない場合は予め学部へ連絡してください。
※学部学生だけで定員に満たない場合のみ、大学院生の参加も可能です。
- 選考方法**
選考なし
※申込者多数の場合のみ抽選を行います。
- 単位数・単位認定**
研修で修了した科目は各自が単位認定手続きをすることにより、2026年春季必修科目以外の単位として認定されます(学部生のみ)。認定単位数は、各プログラムの授業時間により2～4単位です。ただし、単位認定の手続きは2026年10月以降に行うことになるため、当該学期に卒業する方は単位が認定されず、進級・卒業判定の単位とすることもできません。なお、GPA等については、単位認定後、秋学期の成績発表時に反映されます。
※国際学部生は入学年度により科目取扱が異なります。詳細は「国際学部留学ガイド」を参照すること。
- 奨学金**
短期留学奨学金(アジア:3万円、アジア以外:8万円)
- 外国語要件**
なし
※一部、英語能力の推奨レベルがある。

学生体験談 山本 智貴 経済学部 イギリス / オックスフォード大学(参加時期:1年)

●なぜ留学しようと思いましたか?
交換留学に興味があり、その前準備として海外での生活を経験してみたかったからです。また、大学一年生の夏休みという重要な時間をいかに有効に活用するか考えたときに、世界トップクラスの大学で一か月間本場の英語に触れるということは意義があると考えました。

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください
短期間での研修であったため、受け身では成果が得られないと感じ、積極的に現地学生等に話しかけることを意識しました。RA(レジデント・アシスタント)と毎日会話を重ねる中で、日常的な話題から文化や考え方の違いまで幅広く意見を交わしました。この経験を通じて、自ら関係を築こうとする姿勢の大切さや、多様な価値観を理解しながら対話する力を身につけることができました。

●1日もしくはプログラム全体のスケジュールを教えてください
朝は8時に朝食へ向かい、9時から授業があります。1限目と2限目の間にティブレイクがあり、クッキーと紅茶またはコーヒーがいただけます。朝の授業が終わると、食堂に昼食を食べに行きます。コンビニで買ってる人もいました。14時から16時の授業が終わると、RAが毎日企画してくれるアクティビティに参加します。大多数の人が積極的にアクティビティに参加していました。

●留学での経験は、今後の就職・進路選択にどんな影響を与えていると思いますか?
この経験は、今後のキャリア設計にあたって、国や文化の異なる人々と協働する力の基盤になると考えています。夏季研修での経験をきっかけに、より長期的に異文化環境に身を置きたいと考えようになり、交換留学に行くことを決めました。現地では主体的に関係を築きながら学ぶ姿勢を培い、環境が変わっても自ら考え行動できる自信を得ました。将来はこの経験を生かし、多様な価値観が交わる場で価値を生み出せる仕事に携わりたいと考えています。

●特に成長したと感じられる点(主体性・タフネス・多様性への理解・チャレンジ精神)のいずれか1つを選択し、その理由を教えてください
特に成長したと感じる点は主体性です。留学当初、短期間・異文化という環境では、待ちの姿勢では十分な学びを得られなかったと感じました。そのため、授業外でも自ら交流の機会をつくり、RAや現地学生と日常的に会話を重ねました。自分から積極的に関わることで学びや人間関係が大きく広がり、行動次第で環境は変えられると実感しました。この経験を通じ、状況に左右されず自ら考え動く姿勢が身についたと感じています。

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージ
留学は期間の長さよりも、意識の持ち方が大切だと感じました。一ヵ月という短期間でも学ぶ姿勢が大きく変わり、帰国後は英語学習へのモチベーションが高まり、成績向上にもつながりました。英語に対する意識を変えたい人や、学習のきっかけを求めている人には、短期の留学でも十分におすすめです。

派遣先一覧

英語研修

国・地域	大学名	出発日～帰国日(予定)	募集人数	参加費(概算)	滞在形式	食事	クラス編成
アイルランド	ダブリン・シティ大学	出発日 8/1 帰国日 8/31 (31日間)	30名	約92万円	ホームステイ	平日 朝夕 土日祝 朝昼夕	混合
イギリス	オックスフォード大学	出発日 8/1 帰国日 8/31 (31日間)	30名	約164万円	寮	平日 朝昼夕 土日祝 朝 日祝 朝夕	関学生
	スターリング大学	出発日 7/31 帰国日 8/23 (24日間)	30名	約99万円	寮	なし	混合
マレーシア	マラヤ大学	出発日 8/16 帰国日 9/6 (22日間)	25名	約54万円	ホテル	平日 朝昼	混合
オーストラリア	アデレード大学	出発日 8/22 帰国日 9/13 (23日間)	35名	約78万円	ホームステイ	朝昼夕	関学生
	西オーストラリア大学	出発日 8/15 帰国日 9/20 (37日間)	25名	約99万円	ホームステイ	平日 朝夕 土日祝 朝昼夕	混合
ニュージーランド	オタゴ大学	出発日 8/17 帰国日 9/14 (29日間)	22名	約78万円	ホームステイ	朝昼夕	混合
カナダ	トロント大学	出発日 8/2 帰国日 8/30 (29日間)	40名	約90万円	ホームステイ	朝夕	混合
アメリカ	セントラル・ワシントン大学	出発日 8/4 帰国日 8/28 (25日間)	15名	約92万円	寮	なし	混合

朝鮮語研修

国・地域	大学名	出発日～帰国日(予定)	募集人数	参加費(概算)	滞在形式	食事	クラス編成
韓国	建国大学	出発日 8/3 帰国日 8/21 (19日間)	30名	約43万円	寮	なし	混合

中国語研修

国・地域	大学名	出発日～帰国日(予定)	募集人数	参加費(概算)	滞在形式	食事	クラス編成
台湾	東海大学	出発日 8/2 帰国日 8/22 (21日間)	20名	約42万円	寮	なし	関学生 (混合の可能性あり)

■上記情報は2026年3月現在のものです。今後、変更する可能性があります。

- クラス編成の「混合」は、他国の学生や日本の他大学生との混合クラス、「関学生」は関学生だけのクラスです。
- 日本の大学の休み期間に実施するプログラムのため、混合クラスでも、日本からの学生のみ、関学生だけのクラスになることがあります。
- レベル別クラスがあるプログラムであっても、参加者のレベルに大きな差がない場合、全員同じレベルになることがあります。
- ホームステイのプログラムは、他国の学生、日本からの学生(関学生を含む)と同じ家に滞在することがあります。
- 寮・ホテルのプログラムは、他国の学生、日本からの学生(関学生を含む)と同じ部屋になることがあります。

プログラム選択のポイント

① 行先で選ぶ

まずどの国・地域に行きたいか考えてみましょう。北米、アジア、ヨーロッパ、オセアニアなど、異なる文化を持つ様々な地域のプログラムがあります。同じ国であっても、大学の所在地が都市か郊外かで雰囲気が全く異なります。どのような環境で留学生活を送りたいか考えてみましょう。

② 滞在形式で選ぶ

ホームステイでは現地の一般家庭の生活文化を体験でき、寮では共同生活を体験したり、プログラムによっては他の留学生との交流も体験できます。留学中にどのような生活スタイルを体験したいか考えてみましょう。

③ 期間で選ぶ

外国語研修では、プログラムによって2週間と短いものから、5週間の長いプログラムまであります。どれくらいの期間学習したいか考えてみましょう。

④ プログラムの特徴で選ぶ

授業内容やクラス構成、参加費用やアクティビティの内容など、いくつかの視点からプログラムを比較してみましょう。例えば、現地学生と交流機会がある、滞在国内・地域についてしっかり学べる、授業が易しく初心者でも安心、多数のアクティビティがプログラムに組み込まれているなどがあります。

英語研修プログラム		Dublin City University		大学創立年	学生数	2026 プログラム実施期間
ダブリン・シティ大学		アイルランド ダブリン市		1989年	約12,000名	8/4-8/28 出発日 8/1 帰国日 8/31
募集人数	参加費(概算)	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
30名	約92万円	1日 約4時間 週 約20時間	あり	ホームステイ	平日 朝夕 土日祝 朝昼夕	

ダブリン・シティ大学ランゲージサービス(アイルランド政府認定校:ACELS)が実施する約4週間の「General English」を受講します。

- スピーキング、リスニング、ライティング、文法、発音等に重点を置いた内容です。
- コミュニケーション能力の向上に焦点を当てた授業が実施されます。
- 都心部にありながら自然に囲まれたキャンパスで、ヨーロッパの街並みを感じながら学習することができます。

おすすめのポイント!



アイルランド国内トップレベルの施設が備わった大学で英語やアイルランド文化を学ぶことができる!

英語研修プログラム		The University of Oxford		大学創立年	学生数	2026 プログラム実施期間
オックスフォード大学		イングランド オックスフォード市		11世紀	約22,000名	8/3-8/28 出発日 8/1 帰国日 8/31
募集人数	参加費(概算)	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
30名	約164万円	1日 約5時間 週 約20時間	あり	寮	平日 朝昼夕 土日祝 朝 日祝 朝夕	

オックスフォード大学ハートフォードカレッジが本学学生のために企画する約4週間の特別研修「4-week British Culture and Society Programme」を受講します。

- スピーキングを中心に学び、歴史・文化の授業への理解を深められるフィールドトリップに参加します。
- Residential Advisor (RA)と呼ばれるオックスフォード大学生(または卒業生)が寮に同居し、学習・生活面のサポートもしてくれます。

おすすめのポイント!



一般入学では難関校と言われているイギリスの伝統ある名門大学で学び、生活することができる!

英語研修プログラム		University of Stirling		大学創立年	学生数	2026 プログラム実施期間
スターリング大学		スコットランド スターリング市		1967年	約11,000名	8/3-8/21 出発日 7/31 帰国日 8/23
募集人数	参加費(概算)	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
30名	約99万円	1日 約4時間 週 約20時間	あり	寮	なし	

スターリング大学INTOセンターが実施する約3週間の「English Language Summer School 2026」を受講します。

- 実践的な授業を通じて、英語4技能をバランス良く学びます。
- ライティング授業のフィードバックがあります。
- 学内外を問わず様々なアクティビティ・フィールドトリップがあります。
- プログラムの出願にはIELTS 3.0相当の英語能力が必要です。

おすすめのポイント!



イギリスで最も美しいと称される湖に面した美しいキャンパスで学ぶことができます!

英語研修プログラム		University of Malaya		大学創立年	学生数	2026 プログラム実施期間
マラヤ大学		マレーシア クアラルンプール市		1905年	約17,580名	8/17-9/4 出発日 8/16 帰国日 9/6
募集人数	参加費(概算)	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
25名	約54万円	1日 約4時間 週 約20時間	あり	ホテル	平日 朝昼	

マラヤ大学の人文社会学部が実施する約3週間のコースを受講します。

- 午前には英語4技能の総合的な英語力アップを目指し、午後は英語の実践(朗読、英語劇、ディベート大会など)と、マレーシア文化の理解を目的とした各種実習が予定されています。
- マラヤ大学の学生が相手となり、留学生生活をサポートしてくれるBuddy Programがあります。
- 様々なアクティビティ・フィールドトリップがあります。

おすすめのポイント!



Buddyと寝食を共にし、1日中英語に触れることで、異文化理解を深めることができる!東南アジアの文化を満喫しよう!

英語研修プログラム		Adelaide University		大学創立年	学生数	2026 プログラム実施期間
アデレード大学		オーストラリア 南オーストラリア州 アデレード市		1874年	約28,000名	8/24 - 9/11 出発日 8/22 帰国日 9/13
募集人数	参加費(概算)	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
35名	約78万円	1日 約4時間 週 約20時間	なし ※参加者が20名以上の場合は クラス分けあり	ホームステイ	朝昼夕	

アデレード大学が本学学生のために実施する約3週間の「3 Week Beginners English + Australian Cultural Activities Study Tour Program」を受講します。

- 英語初級者向けプログラムです。
- 英語4技能(スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング)の向上を目的としています。
- 授業に加え、野外活動やアクティビティを通じての学びがバランス良く組み込まれています。

おすすめのポイント!



オーストラリアの名門「Group of Eight」の1つ! 美しいキャンパス・アデレードの街並み・海岸を満喫できる!

英語研修プログラム		University of Western Australia		大学創立年	学生数	2026 プログラム実施期間
西オーストラリア大学		オーストラリア 西オーストラリア州 パース市		1911年	約24,000名	8/17 - 9/18 出発日 8/15 帰国日 9/20
募集人数	参加費(概算)	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
25名	約99万円	1日 約4時間 週 約20時間	あり	ホームステイ	平日 朝夕 土日祝 朝昼夕	

西オーストラリア大学のCentre for English Language Teachingが実施する約5週間の「Language and Communication Essentials」を受講します。

- 英語4技能の総合的な向上を目的とした学習を行います。
- 毎週水曜日には「Kaiwa Class」に参加して現地学生と交流することができます。(別キャンパス)
- 1週目にオーストラリアの文化を体験する授業やフィールドトリップを予定しています。
- 本研修は、クレアモントキャンパスで行われます。

おすすめのポイント!



オーストラリアの名門「Group of Eight」の1つ! 「Kaiwa Class」で、現地学生と交流できる!

英語研修プログラム		University of Otago		大学創立年	学生数	2026 プログラム実施期間
オタゴ大学		ニュージーランド ダニーデン市		1869年	約20,000名	8/20 - 9/11 出発日 8/17 帰国日 9/14
募集人数	参加費(概算)	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
22名	約78万円	1日 約4~5時間 週 約23時間	あり	ホームステイ	朝昼夕	

オタゴ大学ランゲージセンターが実施する約3週間の「General English」を受講します。

- 授業は初級から上級までの5レベルに分けられ、英語4技能をバランスよく学びます。
- 世界で最も美しいといわれる大学(キャンパス)で英語授業と異文化体験ができます。
- 質の高い英語授業で、英語の流暢さと正確さを向上させることに重点を置いています。

おすすめのポイント!



ニュージーランドの豊かな自然と文化の両方を満喫しながら学ぶことができます!

英語研修プログラム		University of Toronto		大学創立年	学生数	2026 プログラム実施期間
トロント大学		カナダ オンタリオ州 トロント市		1827年	約91,000名	8/4 - 8/28 出発日 8/2 帰国日 8/30
募集人数	参加費(概算)	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
40名	約90万円	1日 約4時間 週 約20時間	あり	ホームステイ	朝夕	

トロント大学のSchool of Continuing Studiesが実施する約4週間の「English for Effective Communication」を受講します。

- 1クラス18名を上限とした小規模なクラス構成です。
- スピーキングに重点を置き、多様な場面に対応できるスピーキング力を身につけることが目標です。
- 個別に英語学習についてのフィードバックがあります。
- フィールドトリップやアクティビティが用意されています。

おすすめのポイント!



カナダの都会を満喫できる! 講師の的確なフィードバックで語学力も向上!

英語研修プログラム		Central Washington University		大学創立年	学生数	2026 プログラム実施期間
セントラル・ワシントン大学		アメリカ ワシントン州 エレンスバーグ市		1891年	約9,000名	8/5 - 8/26 出発日 8/4 帰国日 8/28
募集人数	参加費(概算)	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
15名	約92万円	1日 約2~4時間 週 約18時間	なし	寮	なし	

セントラル・ワシントン大学国際センターが実施する約3週間の「WorldCat Institute」を受講します。

- コミュニケーションスキルの開発に焦点を当てた実践的な授業を受けます。
- 授業に加え、課外活動を通じてアメリカの文化や習慣も学びます。
- フィールドトリップやアクティビティも用意されており、その中で現地学生、地域の方と交流の機会があります。

おすすめのポイント!



緑豊かなキャンパスで学びながら、自然と文化の両方を体験できる!

朝鮮語研修プログラム		Konkuk University		大学創立年	学生数	2026 プログラム実施期間
建国大学		韓国 ソウル特別市		1931年	約15,000名	8/3 - 8/21 出発日 8/3 帰国日 8/21
募集人数	参加費(概算)	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
30名	約43万円	1日 約4~6時間 週 約20時間	あり	寮	なし	

建国大学国際課が実施する約3週間の「International Summer School 2」を受講します。

- 語学学習だけでなく、韓国文化体験を組み合わせた実践的なプログラムです。
- 講義で学んだ理論を、フィールドトリップや文化体験と連携させて学ぶ構成となっています。
- 希望者を対象とした「Buddy Program」では、韓国人学生との継続的な交流を通じて、日常的なコミュニケーションや文化理解を深めることができます。

おすすめのポイント!



どの授業も丁寧に分かりやすい! 語学だけでなく、韓国の文化もしっかり学べる!

中国語研修プログラム		Tunghai University		大学創立年	学生数	2026 プログラム実施期間
東海大学		台湾 台中市		1955年	約15,500名	8/3 - 8/21 出発日 8/2 帰国日 8/22
募集人数	参加費(概算)	授業時間数	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
20名	約42万円	1日 約4時間 週 約20時間	なし	寮	なし	

東海大学中国語センター(CLC)が本学学生のために実施する約3週間の中国語コースを受講します。

- 少人数クラスで行われます。状況により混合クラスとなる場合があります。
- 本プログラムは台湾、香港、マカオ等で使用されている繁体字の中国語学習となります。中国本土で使用されている簡体字とは異なります。
- 中国語の授業だけでなく、「台湾を知る」ための特別講座や東海大学の学生との交流、キャンパスツアー、文化体験、学外ツアーなども含まれています。

おすすめのポイント!



すぐ使える実践的な中国語を学ぶことができます! 台湾の文化にもたくさん触れることができます!

●過年度参加学生からの各プログラムの写真



1-2

開発途上国の現状を知る

海外フィールドワーク

Overseas Fieldwork

グローバル
プログラム

報告書

開発途上国の現場における導入の学びのためのプログラムです。特に本学が提供している「国連ユースボランティア」および「国際社会貢献活動」など、将来的に中長期的海外ボランティアプログラム参加を検討している方向への短期研修プログラムです。担当教員による指導のもと、開発途上国における経済・歴史・教育・文化などの現状について理解を深めます。2026年度春学期はベトナムとマレーシアで実施します(2026年度秋学期はマレーシアで開催予定)。

共通事項	
募集人数	各15名程度
参加資格	1.学部生(2026年9月卒業見込者は出願不可) 2.英語で行われる講演などを理解できる語学力を有する者※英語応力を証明できる書類を提出できることが望ましい。 3.本プログラムの準備のための事前研修に全日程参加できること
奨学金	短期留学奨学金3万円
科目・単位数	グローバルスタディーズ科目「海外フィールドワーク」2単位

ベトナム Vietnam

プログラム
実施期間

2026
9/7 - 9/15

出発日 9/7
帰国日 9/16

募集要項	
実施場所	ベトナム ハノイ
滞在形式	ホテルなど
参加費(概算)	38万円(1USD=160円換算)
留学期間	10日間
授業担当者	岡村 昭夫 国際教育・協力センター教授
プログラム概要	開発途上国、特に新興国における人々の生活の在り方についての調査を行います
1. 講義	トウンマイ大学及び現地機関等に講義
2. 調査	ハノイ市内の視察及び市民や学生へのインタビューや議論を通じて、新興国の開発の現状と課題を調査
3. 交流	トウンマイ大学の学生との交流
4. 総括	学びの総括として、トウンマイ大学にて最終プレゼンテーション・グループワークを実施

学生体験談

大北 蒼弥
総合政策学部 ベトナム / トウンマイ大学 (参加時期 2年)

● 留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

自分の意見を主張することの重要性を学びました。日本では何かを議論する際には、主張することよりも、協調性を重んじる傾向が強いと感じていました。ですが、フィールドワークでは現地の学生からは積極的に質問したり自分の考えを主張したりして、より議論を深めようとしていました。それぞれの考えを主張することで、どの部分で認識のズレが生まっているのか、どうすれば折り合いを付けてお互いに満足のいく結果にすることができるのかを突き詰めていました。今後仕事をするうえでも、必要になるスキルだと学びました。

● これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージを!!

プログラムに参加することはゴールではありませんが、今後に影響を及ぼすことは間違いありません。参加する前には考えたこともなかったことや知らなかったこと、すべての新しい出会いがあなたの人生を豊かにします。このプログラムは短期間のため最初の挑戦にはもってこいのプログラムです。ぜひ、1歩踏み出してみてください。

マレーシア Malaysia

プログラム
実施期間

2026
8/2 - 8/11

出発日 8/2
帰国日 8/12

募集要項	
実施場所	マレーシア ペラ州カンパー市
滞在形式	寮など
参加費(概算)	33万円(1USD=160円換算)
留学期間	11日間
授業担当者	未定
プログラム概要	多文化・多民族国家における人々の生活の在り方へ調査を行います
1. 講義	トungk・アブドゥル・ラーマン大学 (以下UTAR) にて講義
2. 調査	農家、日系企業、警察所、学校、孤児院等を訪問し、インタビューを実施
3. 交流	UTARの学生との交流と現地農村ホームステイ体験
4. 総括	学びの総括として、UTARにて最終プレゼンテーション・グループワークを実施

学生体験談

桐山 真緒
国際学部 マレーシア / トungk・アブドゥル・ラーマン大学 (参加時期 1年)

● 留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

最も印象的だったのは、Lotus Hypermarketでの見学です。ハラル食品とノンハラル食品が明確に区別され、宗教的規範を尊重しながら多様な消費者が安心して買い物できる工夫がなされていました。これは単なる制度ではなく、互いを尊重する社会の姿勢そのものだと感じました。また、バンコール島の小学校では、多民族・多宗教の子どもたちが同じ教室で自然に学び合っており、「多文化共生」が理念ではなく日常として存在していることを実感しました。「違い」は対立ではなく、社会を支える力になると学びました。

● これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージを!!

留学や海外フィールドワークは、正解を見つける場ではなく、自分の価値観が揺さぶられる場だと思います。違和感や迷いを感じた瞬間こそが、一番の学びになります。失敗を恐れず、自分から一歩踏み出してください。その積み重ねが、帰国後も自分を支える確かな力になります。

1-3

ニューヨークの国連本部を訪問

国連セミナー

UN Seminar

国連セミナーは、国連、国際機関、政府系機関など国際的な舞台での活躍を希望する学生へのプログラムです。ニューヨークの国連本部を訪問し、現役の国連職員等による講義・ディスカッションを通じて、国際公共政策の分野におけるキャリア展開や、国際課題に対する国家、国際機関、政府機関等の役割などについて理解を深めます。

- こんな人におすすめ**

 - ・将来、国連・国際機関・NGO・外交分野で働きたい方
 - ・大学院「国連システム政策専攻」で学びたいと考えている方

- ・国連ユースボランティア、国際社会貢献活動の参加を検討している方/参加した方
 - ・SDGsを始めとした国際社会における課題及びその取り組みに関心のある方

募集要項 (共通事項)	
実施期間	8月末～9月初旬の10日間程度 ※予定
参加費	60万円程度
奨学金	井谷憲次奨学金等
使用言語	日本語および英語
募集人数	12名程度
選考方法	書類選考(志望動機、英語スコア、成績等)
募集期間	1次募集-2月頃、2次募集-実施する場合は3月初旬～中旬
履修基準年度	本学の全学部生(渡航時本年2年生以上)及び大学院生
科目・単位数	グローバルスタディーズ科目4単位
訪問先(予定)	UNICEF, UNDP, UNDESA, UNWOMEN, Columbia大学, JPOセッション, DOS, OHCHR, 国連日本政府代表部 他(2025年度実績) ※訪問先はセミナー直前の調整により年度ごとに異なります



国連本部ビル



ユニセフハウス前

学生体験談

新山 岳

総合政策研究科 派遣先:アメリカ合衆国 ニューヨーク・国連本部等 (参加時期 3年)

学生体験談

● プログラムに参加した理由

私は国連セミナーへの参加当時、学部副専攻「国連・外交プログラム」生でもなければ海外渡航経験もありませんでした。ただ単に「国連ってかっこいい」というイメージや、「留学にチャレンジしてみたい」という思いだけで参加を決めました。しかし今考えると、本当に参加して良かったと思いますし、確実に学生生活の転機になりました。当初は国連の知識もなく不安がありましたが、事前研修で国連の基礎知識から現在直面している課題などを学び、特に国際的課題について「自分で考えること」に取り組み続けたことで、なんとか最低限必要な知識を培うことができました。参加学生は出身学部も関心分野もバラバラで、そんな人たちと意見を交わしたり一緒に考えたりすることでこれまで自身に無い新たな知見を得ることができるのも新鮮でした。国連セミナーと一緒に参加した仲間とは現地でももちろん、帰国後もつながりが強く、授業と一緒に受けたり関係を広げたりすることに繋がりました。最高の思い出を作ることができました。

休日セントラルパークへ

1日のスケジュール

平日は2つか3つのセッションがあり、計13のセッションと20人以上の方にお話を聞くことができました。具体的なスケジュールは日によりますが、10時頃から17時のセッションがあり、午後にも1つか2つのセッションを実施した後、学生・教職員のみで行うその日の振り返りセッションを18時に終えることが多くありました。そのため、朝の時間や夕方以降は自由時間で、セッションの下調べやまとめなどをするか、観光を楽しむ時間にしていました。タイムスクエアに歩いていける距離だったので、夜はよくご飯を食べに行っていました。少し現地に慣れてきたころには、早朝にブルックリン橋まで地下鉄に乗って行ったり、セントラルパークまで自転車で行ったりしたこともありました。どちらも人気のランニングコースで、朝はたくさんのランナーたちが走っていました。土日は両方お休みだったので、2日間ニューヨークを満喫しました。個人的には、セントラルパークでピクニックをしてからメトロポリタン美術館に行ったことがすごくいい思い出でした。

印象的な出来事

全てが印象的な出来事ですが、訪問機関によって働く人の雰囲気や空気が全く違っていったことに驚きました。国連本部事務局ビルの上階は窓も大きく、職員の方も気さくにお話して下さる人が多く、とても明るい印象でした。一方で、外務省国連日本政府代表部は非常に厳格な雰囲気でした。セキュリティもとても厳しく、講義内容についても圧倒されました。他の各機関でもそれぞれ少しずつ雰囲気が違って興味深かったです。また、中満泉国連事務次長のセッションはとても緊張しました。私は席が真正面だったため、ご講話を聞いていて目があつたり質問をしたりするときには本当に息が詰まりそうでした。その日に取ったメモも見返すと文字が震えているところもたくさんありました。講師をして下さった皆さんは非常にお忙しい中でも私たちのために時間を作ってお話をしてくださり、質問にも本当に丁寧に答えてくださり、それがとても嬉しかったです。

プログラムで得たこと

まずは、少しだけ自信がついたと思います。私は全てのセッションで、必ず質問をすることを心がけていたのですが、その経験が帰国後の学生生活にも活かしています。例えば授業中に手が上がらないときや、誰かが意見を言うのを待っているようなときに、迷わず一歩踏み出すことができるようになりました。これは自分にとってはとても大きなことで、今まで何かを気にしてなにもできずにいたこともありましたが、今では失敗を恐れずにどんな機会も挑戦したいと思うようになりました。また、英語のハードルも低くなりました。初めての海外渡航だったので、英語を話すことに不安があったのですが、自分の言いたいことを表現しようとすれば相手の方が汲み取ってくれることが分かって、自信を持って話せるようになりました。現地のお店で注文する時や、ホテルの人と会話するのが次第に楽しくなってくるのが嬉しかったです。終盤では、ホテルの中で会った人や店員さんに自分から挨拶できるようになりました。そして、たくさんの人とのつながりを作ることができました。一緒に国連セミナーに参加した仲間はもちろん、CIECの職員の方たちや先生方とつながることができ、色々な相談をしたり、それらに対して提案をいただくこともあって本当に感謝しています。

プログラムに関心をもっている方へのアドバイス・メッセージ

まず参加を迷っている方に向けて、私は3年生で参加したのですが、もっと早く経験しておきたかったと思うと同時に、もし来年以降に参加していればもっと多くのことが吸収できたのに、と強く思いました。結果的には本当にたくさんの経験やつながりを得ることができて、そして次年度からは、学部の早期卒業制度を利用して以前より志望していた本学大学院の総合政策研究科国連システム政策専攻に進学します。結果として、自分としては最高のタイミングで国連セミナーに参加することができたと思っているのですが、違う時期に参加していてもその学年に応じた得難い機会になっていたらと思うので、国連の知識や英語力に関しては、事前研修や渡航までの期間で何とかすることができるとは思いますが、必ずどこかで自分に足りない部分を経験すると思いますので、その時点で自分のできる最大限の準備をすることが大事とも思います。そして参加を決めている方に向けて、たくさん挑戦して様々な経験をさせていただきたいなと思います。皆さんの国連セミナーの参加とさらなる活躍を切に願っております!

1-4

海外の日系企業でビジネス現場を体験する



短期海外インターンシップ

Short-term Business Internship Program

詳細はWebで
チェック!

短期海外インターンシップは、夏休み・春休みを利用して、主に海外の日系企業でインターンシップを行う短期プログラムです。

英語を駆使して働くことよりも「海外で働くこと」を経験することに重きを置いたプログラムで、将来の進路やキャリアを考える際、自分に向いている職種・業界など、自分を見つめ直すきっかけにもなります。これから就活を始める方はもちろん、進学を考える方にもキャリア設計を考えていくのに必要な視点を養えるという点でおすすめのプログラムです。事前講義等の日程は、右上の欄からWebで確認可能です。全日程出席の必要がありますので、ご了承ください。

募集要項 (共通事項)

参加資格	学部生(2026年度9月卒業見込者は、本プログラムの単位を卒業に必要な要件に含めることはできません。)	奨学金	井谷憲次奨学金 (アメリカ・オーストラリア:8万円/ベトナム・マレーシア:3万円)
外国語要件	TOEIC®450点以上の英語力があることが望ましい。 (スコア提出は不要)	科目・単位数	グローバルスタディーズ科目「短期海外インターンシップ」4単位 ※単位の取り扱いが学部・学年によって異なる場合がありますので、所属学部の履修心得で確認してください。
選考方法	書類選考(書類選考後に定員を超えている場合は抽選)		

学生体験談

松山 桜子 国際学部 マレーシア(参加時期:1年)



●なぜ留学しようと思いましたか?

中学・高校時代はコロナの影響で留学に行くことができなかったため、「大学生になったら絶対に海外に行きたい」という思いを持っていました。初めて海外に行くということで、まず短期留学をしてみようと思いました。ただ、短期の外国語研修のような「英語を学習するプログラムにはあまり興味がありませんでした。そこで、CIEC主催の留学説明会に参加して、将来海外で働きたいという夢があり、このプログラムに参加することで、実際に海外で働くことがどのようなものなのかを知ることができると考え、参加を決めました。

●留学を実現するまでに、どのような準備をしましたか?

留学前は、主に3つのことを意識して準備しました。まず、語学の勉強です。私の研修先はマレーシアの方とコミュニケーションをとる機会が多い職場だったので、英語の勉強しました。そして、研修先の業種・事業内容を調べあげて、インターンで自分が何を求められているのか、どんな仕事を具体的にするのかを考えました。また、イスラム教についての勉強をしました。特に、ハラール(イスラム教で許されているもの)について学習しました。

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

研修先では、主に和菓子の商品開発をしました。どういった客に何個販売するのかといったゴール設定から、実際に工場で作成し、原価計算や運搬経路を検討するまで、本日から商品を作る体験をさせていただきました。日本の文化を象徴する和菓子を作る一方で、マレーシアの方が食べやすいような味や見た目、さらに価格を低くする必要があったりと、商品開発の難しさを体験することができました。また、日本文化を知らないマレーシアの方に自国の文化を教えたり、お互いの文化の違いについて話すことがとても楽しく、異文化交流の素晴らしさにも気づくことができました。

●1日もしくはプログラム全体のスケジュールを教えてください

1日のスケジュールは研修先によってバラバラです。あくまで私の1日のスケジュールになります。まず6:00に起床し、7:30に出発します。その後16:30に退勤し、17:30にホテルへ帰ってきた後は自由時間です。近くのショッピングモールへ行ったり、スーパーへ買い出しに行ったりしました。私の研修先は朝7:30出勤でしたが、9:00出勤や17:00から出勤の企業もありました。また、在宅勤務がある研修先もありました。休日は、一日中マレーシアを観光しました。ピンクモスク・ブルーモスクやパトゥ洞窟に行くことができました。

●留学での経験は、今後の就職・進路選択にどんな影響を与えていると思いますか?

まず、自分の価値観や軸を考えるきっかけになると思います。自分が今まで生きてきた文化とは違う環境に身を置き、様々な考え方を吸収することで、自分の考え方の幅が広がります。私はこのインターンシップで、実際に現地で働いているビジネスマンの方からお話を聞くことができました。自分は何がしたいのか、どんなキャリアを描きたいのかを知ることができました。また、自分から動かないと何も始まらないことを体感するため、主体性を身につけることができると感じています。

●特に成長したと感じられる点(主体性・タフネス・多様性への理解・チャレンジ精神)のいずれか1つを選択し、その理由を教えてください

このプログラムで最も成長したと思うのは、多様性への理解です。マレーシアはマレー系・中華系・インド系の方がいる多国籍国家です。実際に町を歩いていると、マレー語・英語・中国語と様々な言語が飛び交っています。また、マレー系の方のほとんどがイスラム教徒です。私が当たり付きのお菓子を製作する企画を提案したとき、マレー系の方から「賭け事やギャンブルの一部に当てはまっているから、ダメ」と言われました。おみくじや当たり付きお菓子は日本では人気ですが、イスラム教徒の方にとって不快に感じる物だと知りました。自分の「当たり前」が普遍的なものではないことに気づけた経験でした。

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージ

慣れない環境下で生活すること、さらにインターンをするとなると不安になるかもしれません。ですが、皆さんにはぜひチャレンジして欲しいです!私はこのインターンに参加して、一生ものの経験をすることができました。ぜひ皆さんも参加して、自分自身を成長させてください!心から応援しています。

アメリカ The United States of America

プログラム
実施期間
2026
8/5-8/29
出発日 8/5
帰国日 8/30

アメリカ・ロサンゼルスで実施する約3週間のインターンシッププログラムです。日系企業の進出が中国に次いで世界で2番目に多いアメリカ、その中でも特に日系企業が多いロサンゼルスでインターンシップを行います。

募集要項

実施場所	アメリカ ロサンゼルス
募集人数	20名
滞在形式	ビジネス研修(4日間):ホテル インターンシップ:ホームステイ(GCP)/ホテル(PBL)
参加費(概算)	94万円
留学期間	約3週間
実施機関	Lighthouse eX Corp.



プログラム

1. ビジネス研修(4日間)

インターンシップを行う前に、他大学の学生と合同でビジネス研修に参加します。全国の同世代の学生とキャリアについて話し合う貴重な機会です。

2. インターンシップ(約3週間)

以下の2コースに分かれ、日系企業でインターンシップを行います。(予めどちらかを選択して参加していただきます。)

グローバルキャリアプログラム(GCP)

現地日系企業でのインターンシップです。事務所内での電話応対から、社員同行の元でのお客様訪問まで、ビジネスの前線での幅広い業務が体験できます。

マーケティング型ビジネス体験プログラム(PBL)

ロサンゼルスでの日系企業が抱える課題を、消費者へのアンケートや競合調査などの実践的なマーケティング調査から解決し、現役のビジネスパーソンに対し事業提案をする実践型プログラムです。

オーストラリア Australia

プログラム
実施期間
2026
8/8-8/28
出発日 8/7
帰国日 8/29

オーストラリア・シドニーで実施する約3週間のインターンシッププログラムです。多民族・文化国オーストラリアで働く日本人の姿や、日系企業のあり方を実際に見るために、オーストラリアでのインターンシップを行います。

募集要項

実施場所	オーストラリア シドニー
募集人数	25名
滞在形式	ホームステイ※
参加費(概算)	69万円
留学期間	約3週間
実施機関	ライトハウス・キャリアエンカレッジ(株)
現地プログラム	平日は現地日系企業でインターンシップをおこないます(教育、不動産、旅行、食品、人材、メディア系等)。参加決定後にマッチング面談をおこない、配属企業を決定します。 土日祝日は基本的に休日となりますが、職種により曜日異なる可能性があります。



ベトナム Vietnam

プログラム
実施期間
2026
8/7-9/4
出発日 8/7
帰国日 9/5

ベトナム・ホーチミンで実施する約4週間のインターンシッププログラムです。ベトナムは近年著しい経済成長を遂げ、30代以下の人口が6割という若い力を持つ国であり、日本企業の進出も著しい国です。そんなベトナムで働く日本人の姿や、日系企業のあり方を実際に見るために、ベトナムの日系企業でインターンシップを行います。

募集要項

実施場所	ベトナム ホーチミン
募集人数	12名
滞在形式	ホテル
参加費(概算)	50万円
留学期間	約4週間
実施機関	ライトハウス・キャリアエンカレッジ(株)
現地プログラム	平日は現地日系企業でインターンシップを行います(教育、不動産、旅行、IT、小売り、人材、メディア系等)。参加決定後にマッチング面談を行い、配属企業を決定します。



マレーシア Malaysia

プログラム
実施期間
2026
8/7-9/4
出発日 8/7
帰国日 9/5

マレーシア・クアラルンプールで実施する約4週間のインターンシッププログラムです。多国籍な環境のマレーシアでは、研修先はローカル企業が多く英語を使う機会が比較的多いのが特徴です。また、イスラム教国家のため、日本ではなかなか触れることができない文化を学ぶことができます。

募集要項

実施場所	マレーシア クアラルンプール
募集人数	12名
滞在形式	ホテル
参加費(概算)	57万円
留学期間	約4週間
実施機関	ライトハウス・キャリアエンカレッジ(株)
現地プログラム	平日は現地日系企業でインターンシップを行います(職種例:営業、接客、事務、広報、IT、日本語教師等)。参加決定後にマッチング面談を行い、配属企業を決定します。 土日祝日は基本的に休日となりますが、職種により曜日異なる可能性があります。



プログラム

事前講座(ONLINE 8/1(土))

現地に渡航する前に、自宅からONLINEで参加します。企業でのインターンシップの前に、「働くこと」について見つめ直すことで、現地での研修をより有意義なものにします。

★キャリアフォーラム:世界で活躍する若手日本人から海外での就職や生活について学びます。

企業インターン研修(実地研修約3週間)

★参加決定後に実施する、マッチング面談での希望を基に配属された企業で3週間インターンシップを行います。研修を通じて「海外で働くこと」を体験します。

※ホームステイは、関学生や他大学の日本人と同じホストファミリーとなることがあります。

現地プログラム

事前講座(ONLINE 8/1(土))

現地に渡航する前に、自宅からONLINEで参加します。企業でのインターンシップの前に、「働くこと」について見つめ直すことで、現地での研修をより有意義なものにします。

★キャリアフォーラム:世界で活躍する若手日本人から海外での就職や生活について学びます。

企業インターン研修(実地研修約4週間)

★参加決定後に実施する、マッチング面談での希望を基に配属された企業で4週間インターンシップを行います。研修を通じて「海外で働くこと」を体験します。

1-5

カナダの学生と「協働」で学ぶプログラム



Cross-Cultural College (CCC)

クロス・カルチュラル・カレッジ



詳細はWebをチェック!

概要

Cross-Cultural College(CCC)とは、関西学院大学とカナダの4大学が協働で運営するバーチャル・カレッジです。異文化理解やコミュニケーション力を持ち、多文化を共生させながら、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与できる世界市民リーダーズを育成します。

目的と特徴

- ✓カナダの学生と寝食をともにしながら「協働」で学ぶ
- ✓多国籍な場面で活躍できる実践的な能力を養う
- ✓プログラムの使用言語はすべて「英語」

このような学生にお勧めです

- ・グローバル展開している企業が抱える課題について海外の学生と意見交換してみたい
- ・中期留学や交換留学、国際ボランティアなどから帰国した後英語力を維持、向上させたい
- ・英語を学ぶのではなく、「英語で学ぶ」環境に身を置きたい
- ・早期に修了証書やオープンバッジを手に入れて、就職活動でアピールしたい

8月実施プログラム募集要項

CCC Global Career Seminar in Japan

概要 日加の学生混成のグループを組み、企業・団体等から与えられる国際展開に関する課題について解決策を立案するプログラム。プログラム前半では、企業・団体等の事業に精通し、第一線で活躍している方々に会い直接情報収集を行います。その後、グループ内で解決策を導き出し、最終的にその方々に対してプレゼンを行い講評を得ます。普段なかなか会うことのできない企業・団体等の方々の考えに触れることにより、ビジネスならではの視点を学びつつ、多国籍な場での合意形成を体感します。
※関西学院大学に在籍する外国人留学生とグループを組むこともあります。

実施場所 西宮上ヶ原キャンパス(国内で実施されるプログラムです)

募集人数 20名(予定)

滞在形式 ホステルもしくは大学寮

参加資格 1.学部2年生以上(大学院生を除く)の者
2.事前講義を含むプログラム全日程に参加できる者
3.TOEIC®680点(またはTOEFL ITP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS(アカデミック)5.5点、英検準1級、Duolingo105点)以上のスコアを有する者

選考方法 書類および面接選考

参加費(概算) 6万2000円(宿泊費などを含む)

奨学金 井谷憲次奨学金(2万円)

科目・単位数 グローバルスタディーズ科目
「CCC Global Career Seminar in Japan」3単位

プログラム実施期間
2026
8/1-8/8



CCC Global Internship in Japan

概要 日加の学生がペアとなり、国際的な事業を展開する企業・団体が10営業日間の課題解決型のインターンシップを行うプログラム。異なるバックグラウンドを持つ者同士がペアになることで、それぞれの独自性を尊重しながら一つの目的に向けて協働することを体感することができます。インターンシップのほか、事前講義ではインターンシップに必要なビジネスに関する基礎知識を学び、事後講義ではプレゼンを通して各インターンシップ先での学びを学生全体で共有し、更なる気づきや学びを醸成します。
※関西学院大学に在籍する外国人留学生とペアを組むこともあります。

実施場所 西宮上ヶ原キャンパス及びインターンシップ先、その他(国内で実施されるプログラムです)

募集人数 15名(予定)

滞在形式 ホテルおよびホステル(予定)

参加資格 1.学部2年生以上(大学院生を除く)の者
2.事前講義を含むプログラム全日程に参加できる者
3.TOEIC®680点(またはTOEFL ITP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS(アカデミック)5.5点、英検準1級、Duolingo105点)以上のスコアを有する者

選考方法 書類および面接選考

参加費(概算) 22万5000円(宿泊費、往復新幹線代などを含む)

奨学金 井谷憲次奨学金(2万円)

科目・単位数 グローバルスタディーズ科目「CCC Global Internship in Japan」3単位

プログラム実施期間
2026
8/14-8/30



第7回「学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード」で文部科学大臣賞を受賞しました!



Global Career Seminar in JapanおよびGlobal Internship in Japanのセット参加をオススメしています!

セミナー・インターンシップと異なるアプローチでビジネスを体感できます。「英語+ビジネス」の環境にどっぷりつかってみませんか? Global Career Seminar in JapanおよびGlobal Internship in Japanの両方に続けて参加することが可能です。このプログラムに参加するカナダ側学生も、Global Career Seminar in JapanおよびGlobal Internship in Japanにセットで参加する学生も多いので、同じ仲間と両方のプログラムに参加することで強い絆が得られます。いずれもCP対象科目ですので、早期にCPを修了させたい人にはセット参加がおすすめです。(CPについては下記参照)

各プログラム単独参加: Global Career Seminar in Japan: 6万2000円
Global Internship in Japan: 22万5000円

セット参加の場合の参加費(概算)=28万2000円
井谷憲次留学奨学金(2万円)+井谷憲次留学奨学金(2万円)=4万円を受給
詳細は国際教育・協力センターウェブサイト参照してください。

どちらのプログラムも寝食を共にするので、日本にいても英語の環境に身を置くことができ、**本気の異文化交流**を体験することができます!
奨学金もセットで受給できます!



学生体験談

山田 紘生 総合政策学部(参加当時:4年)



- なぜCCCに参加しようと思いましたか?
進学予定の大学院での課程が英語で提供されるため、進学に向けて、「英語を学ぶ」より、「英語で学ぶ」経験を積みたかったから。
- プログラムに参加するまでに、どのような準備をしましたか?
GCSJ・GIJ共に、参加企業の情報を収集し、自分の行きたい企業について知識を得るように努めました。また、事前課題に丁寧に取り組み、ビジネスの課題解決における一連の流れに親しむようにしました。

- プログラム参加で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください
短期間ながらも、グループやペアと協力し、納得のいく最終発表をすることができて大変嬉しかったです。同じ日本人同士でも大変なことを、異なるバックグラウンドを有する人々と協働でやり遂げることができ、喜びもひとしおでした。さらに、ホステルに滞在し共同生活をする中で、自分のグループはもとより、他のグループのメンバーとも交友を深めることができた点も嬉しかったです。
- プログラム中に苦労したこと・乗り越えたことを教えてください
一番苦労したのは、やはり言語です。自分の意見を上手く言葉にできなかったり、ネイティブの英語が聞き取れなかったりともどかしさを感じたことは多々あります。ここで大事だと感じたことは、コミュニケーションをとろうとする姿勢です。カナダの学生と対峙して、英語が日本人にとって第二言語であることはわかっています。多少時間がかかっても、自分の言葉で伝えようとするれば、必ず耳を傾けてくれますし、質問すれば答えてくれます。自信を持って話しましょう!
- CCCプログラムへの参加を検討する人に向けたアドバイス・メッセージ
事前準備のところで、英語は大前提と書きましたが、参加要件に定められているスコアが取れる皆さんなら大丈夫だと思います。その上で、英語はもちろん異文化理解など何かと不安に思われる方も多いと思いますが、実践の中で磨いていくつもりで是非参加してみてください! 最後に、このプログラムは語学学習プログラムではありません。そのため、参加される皆さんには、語学以上の何かを学び取っていただければと思います。Embrace the challenge!

修了証プログラム(Certificate Program(CP))に挑戦しよう!

「第2回オープンバッジ大賞」でCCCが提供するCertificate Programが、優秀賞(教育機関部門)を受賞しました!

CPはCCCが提供する修了証プログラムで、多文化共生や国際関係など、異文化に関する英語開講科目で構成されています。カナダの学生と寝食を共にしながらビジネス課題に挑戦するCCC Global Career SeminarやCCC Global InternshipもこのCPの必修単位(選択必修3)に含まれており、指定の科目群の中から合計16単位を修得し、所定の英語要件を満たした学生には、修了証書とオープンバッジが授与されます。プログラムに取り組むことで、高い英語運用能力と幅広い国際的視野を身につけることができます。

オープンバッジを手に入れよう!

就活や進学で「他の学生と違う!」と思わせたくないですか?

関学とカナダの4大学が協働で運営するCCC修了証プログラムでは、グローバル社会で活かせる実践力を身につけることができます。修了後、国際標準規格としてのオープンバッジ(デジタル証明)が、即時に発行されます。

オープンバッジを使用すると...

- ・E-mailスタンプ
- ・CV
- ・SNS、メール署名、履歴書で活用できる!
- ・履歴書で活用できる!

活用例

就活・進学等で他の学生と差別化できる!

グローバルな知識・スキル・経験をデジタル上で証明できる!

CCC修了証プログラムに関する詳細はこちら

オープンバッジに関する詳細はこちら

お問い合わせ先: 国際教育・協力センター(CIEC) ccc-office@kwansai.ac.jp



~プログラム参加前の準備~ カナダの学生との協働学習の前に、カナダについて学ぼう! CPの対象科目にもなります!詳細は6ページへ!

CCCの出願要件の英語運用能力試験として、Duolingo English Test(DET)を導入!

CCCの出願やCP登録/修了にDuolingo English Test(DET)のスコアが使えます!

Cross-Cultural College(CCC)では、Certificate Program(CP)の出願・修了、短期プログラムの出願要件の英語運用能力試験として、従来使用していたTOEIC®、TOEFL®、IELTS、英検に加え、DETを導入することになりました!

	TOEIC®	TOEFL ITP®	TOEFL iBT®	IELTS	英検	DET
CP登録/短期プログラム出願要件	680	530	71	5.5	準1級	105
CP修了要件	820	580	92	6.5	1級	120

- オンライン受験 いつでも自宅から受験可能!
- 低コスト 受験料約70 USD 他試験と比べて安価
- スピード 結果は48時間以内に取得可能

今までより参加しやすくなったCCCにぜひチャレンジを!

お問い合わせ先: 国際教育・協力センター(CIEC) ccc-office@kwansai.ac.jp

1-6

語学力アップ+インドネシア文化交流



インドネシア交流セミナー

East Asia Student Encounter



プログラム
実施期間

2026
8/1-8/13

本セミナーは、インドネシアの協定校サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学と本学との間で1977年より毎年行われている国際合同セミナーで、両大学間ではEast Asia Student Encounter (EASE) の名称で親しまれています。本年度は50周年記念セミナーとなり、日本で開催されます。このセミナーの目的は、多文化・多民族国家であるインドネシアの学生と共に学び、多様な交流プログラムなどを通して相互理解を深めつつ、より良い国際社会を創り出す「世界市民」としての資質を身につけることです。両国の学生間の知的・人的交流を重視しており、学生が主体的に企画・運営するプログラムや少人数で言葉の交わす機会が多いことが特色です。英語によるコミュニケーション力を磨きながら、文化・価値観の異なる仲間と友情を築くこのセミナーは生涯忘れられない経験になることでしょう。

募集要項

実施場所	日本(西宮上ヶ原キャンパス)他
募集人数	15名
滞在形式	関西学院大学スポーツセンター他
参加資格	1.学部生(2026年9月卒業見込者は参加不可) 2.事前・事後研修、本セミナーに全日程参加できる者 なし(日常会話程度の英語コミュニケーション能力があることが望ましい)
外国語要件	なし(日常会話程度の英語コミュニケーション能力があることが望ましい)
選考方法	書類選考および面接選考
参加費(概算)	5万5000円
奨学金	井谷寛次奨学金(2万円)
科目・単位数	グローバルスタディーズ科目「インドネシア交流セミナーA」2単位
プログラム期間	13日間
授業担当者	ベネディクト・ティモシー准教授

プログラム

- 1.今年のテーマに関連する講義
- 2.学生の研究発表、グループディスカッション
- 3.文化紹介などによる交流
- 4.テーマや平和に関わるフィールドワーク等
- 5.その他
 - ①5月下旬から7月下旬にかけ、主に土曜日に事前研修を実施します。
 - ②セミナー終了後、事後研修(予定日程 9/19AM)を経て報告書を作成します。



学生体験談

絹巻 湧作 建築学部 インドネシア / サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学(参加時期:1年)



●なぜ留学しようと思いましたか?

大学受験で悔しい思いをした経験から、関西学院の国際系への強みを大いに生かしていきたいと思い留学を決めました。また、将来的に日本にとどまらず、海外をフィールドとして活動していきたいという思いが強かったので、その一歩目として海外での経験を積み、英語の能力、異文化理解能力を成長させたいと考えていました。また、プログラムの内容にも魅了されました。約二週間インドネシアの学生と毎日ベアを作って生活するという、なかなか日本ではできない経験ができること、そして奨学金の制度も充実しており、金銭的にも挑戦しやすかったことがあげられます。これらの条件が重なり、留学を決めました。

●留学を実現するまでに、どのような準備をしましたか?

実際に渡航したときに現地の生徒と打ち解けあえるように、英語の能力を上げることを重点的に行いました。その対策として英語の先生に協力してもらい、毎週1時間、会話する機会を設けてもらいました。先生が大変親切に付き合ってくれたり、毎回、インドネシアの建築について、食べ物について、渡航の際に持っていきたいものについてなど、様々なテーマを与え、そのテーマについて話し合う機会を提供してくれました。結果として、インドネシアに関する知識と、英語の能力の向上につながりました。

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

毎日違うパティと一日を過ごす経験は自分にとって貴重な時間となりました。英語を通じてその人の将来のことであったり、EASEに参加した理由などを聞くと、どの生徒も自分の将来の糧にしようというEASEのためにお金を一生懸命貯め、明確な将来像をもって大学生活を送っていることを知りました。特にUKSWのリーダーの将来、算数のゲームボードを作って教育の発展に寄与したいというビジョンには刺激を受けました。これらによって自身も日本に帰ってから、より目標を明確に、大学生活をより充実したものにしてほしいという活力が生まれました。海外の学生一人一人と向き合える良い機会であったと思っています。

●1日もしくはプログラム全体のスケジュールを教えてください

初めの7日間はUKSWのキャンパス周辺で、ドミトリーを拠点に活動しました。毎朝一緒に食事を食べた後に大学に移動して、キャンパスの見学や、それぞれの文化に関する英語でのプレゼンテーション、文化交流の一環として、インドネシアの生徒は伝統楽器の演奏や、劇などを行い、日本側は渡航前から練習していたソーラン節やオタ芸、マツケンサンバなどを披露しました。夜は共に食事をしたり、大学周辺の街を散策したり、コンビニに立ち寄りたり、インドネシアの生活を堪能しました。そして1日のホームステイを経て、残りの3日間はボルブドゥール遺跡やバリ島などの観光地を巡りながら、異文化理解を深めました。

●留学での経験は、今後の就職・進路選択にどんな影響を与えますか?

自分自身の視野の広さを与えてくれたと思います。実際にインドネシアで過ごすことで、自分の視野の狭さを痛感しました。インドネシアについて知ること、自分が日本のことについて全然知らないことを実感しました。留学となると、自分たちは日本を背負って行くこととなります。当然現地の方からは日本のことについて聞かれます。自分の身の回りだけでなく、日本の文化や、習慣、社会など、海外で活動するには自国のことについてまず学ばなければならないと気づきました。したがって、将来海外、日本のどちらで働くにしても、相手について知る前に、自分のことについて知る必要があると感じました。

●特に成長したと感じられる点(主体性・タフネス・多様性への理解・チャレンジ精神)のいずれか1つを選択し、その理由を教えてください

主体性を成長させることが出来たと思っています。もともと先頭に立って仕切るタイプではありませんでしたが、今回、チームの副リーダーとして、文化交流のソーラン節のリーダーとして主体性をもってチームをまとめることが求められました。初め、週に一回しか合わない日本のメンバーと息を合わせることは難しく、なかなか踊りが完成しませんでした。ここで自分が完璧にしないといけないと思い、必死に練習することで、メンバーもついてきてくれ、無事に成功を取ることが出来ました。これらから、自分が主体的に行動することでチームにいい影響を与えることが出来たので、主体性の成長を感じられました。

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージ

ただ英語を話して、向こうの文化を知ることだけが留学ではないと思います。留学を通して自分は何を感じるのか、他を知り自分について知る機会であると思います。何のために留学するのか、どんな目標をもって行くのか、しっかりと目的をもって留学すれば、有意義なものになると思います!あとは全力で楽しむことを忘れないようにしてください!

1セメスターの海外経験

中期留学プログラム

- 中期留学(英語・スペイン語・フランス語)
- 中期グローバル・キャリアPBL(オーストラリア)



2-1

2027年度中期留学（春学期・秋学期） 出願資格: 留学時学部2年生以上、大学院生は不可

中期留学(英語・スペイン語・フランス語)

Semester Study Abroad Program

グローバル
チャレンジ
留学

プログラム
実施期間
2027
春学期・秋学期

中期留学とは

海外協定校の附属機関が実施する語学の集中学習と外国での実生活を組み合わせた約1学期間のプログラムです。言語運用能力の向上はもちろんのこと、留学先での異文化体験を通じた人間的成長により世界市民としての感覚を身につけることができます。(英語中期留学では留学前後でTOEFL ITP®の点数で30点から50点程度のレベルアップを目標としています。)

学べる言語	行き先	取得できる単位
<ul style="list-style-type: none"> ●英語 ●フランス語 ●スペイン語 	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">●アメリカ <li style="width: 50%;">●カナダ <li style="width: 50%;">●オーストラリア <li style="width: 50%;">●マレーシア <li style="width: 50%;">●イギリス <li style="width: 50%;">●フランス <li style="width: 50%;">●ニュージーランド <li style="width: 50%;">●スペイン 	<p>12単位～21単位取得可能! ※留学期間とプログラムによって異なります。</p> <p>中期留学に参加しても 4年間で卒業できる! ※所属学部・学科・専攻・個人の学修プランによります。</p>

2027年度 実施予定プログラム

国名	大学名	出願時 英語要件	開講学期	日本出発日～日本到着日目安	滞在方式
ニュージーランド	ワイカト大学	A	秋学期	8月中旬～12月中旬	ホームステイ
カナダ	マウント・アリソン大学		春学期 / 秋学期	5月中旬～8月初旬 / 8月下旬～12月上旬	学生寮
アメリカ	ネブラスカ大学オマハ校 ※1	未定	秋学期	8月中旬～12月中旬	学生寮
	ハワイ大学マノア校	A	春学期 / 秋学期	3月上旬～6月下旬 / 8月下旬～12月下旬	ホームステイ
	ハワイ大学マノア校	B	秋学期(7ヶ月)	8月下旬～2028年3月上旬	
カナダ	トロント大学	C	春学期 / 秋学期	3月初旬～7月上旬 / 8月下旬～12月下旬	ホームステイ
	クイーンズ大学		春学期 / 秋学期	4月上旬～8月上旬 / 8月上旬～12月上旬	
	ゲルフ大学		春学期 / 秋学期	4月下旬～8月下旬 / 8月下旬～12月中旬	
イギリス	レスター大学	D	秋学期	8月下旬～12月中旬	学生寮
	オックスフォード大学			10月上旬～2028年3月中旬	
マレーシア	マラヤ大学	D	秋学期	8月下旬～12月下旬	学生寮
オーストラリア	クイーンズランド大学	-	春学期 / 秋学期	3月中旬～7月初旬 / 8月下旬～12月初旬	ホームステイ
スペイン	アリカンテ大学	-	春学期 / 秋学期	5月上旬～8月下旬 / 9月上旬～12月下旬	学生寮
フランス	リヨン第2大学	-	秋学期	8月下旬～12月下旬	学生寮

★英語中期留学の出願時英語要件一次のいずれかを満たすこと
 A: TOEFL ITP®:420～500点、TOEFL iBT®:36～61点、TOEIC®:500点～650点、IELTS 4.0点～5.0点
 B: TOEFL ITP®:420点以上、TOEFL iBT®:36点以上、TOEIC®:500点以上、IELTS 4.0点以上
 C: TOEFL ITP®:450～530点、TOEFL iBT®:45～71点、TOEIC®:550点～750点、IELTS 4.0点～5.5点
 D: TOEFL ITP®:450以上、TOEFL iBT®:45以上、TOEIC®:550点以上、IELTS: 4.0点以上
 ★TOEFL iBT® Special Home Edition、TOEIC® IPオンライン、IELTS Indicatorでの出願も可能です。また、対象スコアを上回っている場合はご相談ください。
 ★留学参加時までに第1学年度必修科目の単位取得等の要件有り。詳細は、各言語中期留学のCIECのホームページで確認してください。
 ★上記の日本出発日～日本到着日目安は2026年度実績をもとに作成しております。
 ※1 ネブラスカ大学オマハ校はカリキュラム改訂中のため、出願時英語要件は未定です。9月発行の募集要項でご確認ください。

募集要項

出願期間(予定) | 2027年度春学期プログラム: 2026年10月～11月 / 2027年度秋学期プログラム: 2026年12月～2027年1月

・募集に関する詳細は、9月下旬発行の募集要項「秋学期出願Ver.」およびCIECのホームページで公開します。
 参加資格等は、ホームページの中期留学(英語・スペイン語・フランス語)で確認してください。

・英語中期留学出願の際は、上記対象英語スコアを満たした証明書の提出が必須です。
 出願に間に合うように英語テストを受験し、結果を保存してください(2027年度の出願に関しては、2025年4月1日以降に受験分のスコアのみ有効)。

中期留学で身につく力

※2023年アンケート結果

語学力の向上

97%が
語学力の向上を実感!

異文化体験

現地学生との交流や、地域のコミュニティ参加機会が多く、様々な文化・考え方・価値観の違いについて学ぶことができる!
※派遣大学毎に異なります。

人間的成長

85%が
行動力の変化を実感!
コミュニケーション能力/
問題解決能力/グローバル
マインドが向上したなど

もらえる奨学金額はどれくらい?

中期留学奨学金

25万円

※国際学部留学奨励金との併用不可。

+

国際学部留学奨励金

40万円

※国際学部生のみ対象。 ※中期留学奨学金との併用不可。

10万円

中長期留学チャレンジ奨励金

※上記中期留学奨学金および国際学部留学奨励金との併給可。

**中期留学について
もっと知ろう!**

中期留学ハンドブック
出願前・出願後・渡航前・渡航後のスケジュールや、留学する上での心構えなど中期留学のすべてがわかる!

説明会のアーカイブ動画・資料
留学先の様子、各大学のプログラムが比較できる!ガイダンス、先行別説明会、帰国報告会の動画や資料をチェックしよう!

学生体験談

大場 敬慈 経済学部 カナダ / クイーンズ大学(参加時期:2年)

- **なぜ留学しようと思いましたか?**
私が留学を決意した理由は、英語運用能力を実践的に高めるためです。これまでリーディングやライティングには一定の自信があった一方で、リスニング、特にスピーキングには強い苦手意識を抱いていました。しかし現代社会において求められるのは、知識としての英語ではなく、他者と意思疎通を図る、つまりコミュニケーションのための英語です。そこで、英語を日常的に使用する環境に身を置くことで弱点を克服し、総合的な英語力を向上させたいと考え、この英語中期留学を選択しました。
- **留学を実現するまでにどのような準備をしましたか?**
留学渡航前、主に英語知識の事前習得に注力しました。具体的には、現地で即座に使用できる実践的な表現やフレーズの学習です。留学先で新たに学ぶ英語は多いですが、限られた4か月という期間の中で、表現を一から記憶し定着させる余裕はありません。なぜなら英語を日常的に用いる環境では、考えながら覚える時間ではなく、瞬時の理解と運用が求められるからです。そこで留学前に基礎的な表現やフレーズを身につけ、現地では実践と応用に集中できるよう準備を行いました。
- **留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください**
留学生活を通じて得た学びの一つは、多文化共生を実体験として理解できたことです。「サラダボウル」と称されるカナダでは、異なる国籍や文化的背景の人々が共存しており、彼らと日常を共にすることで、日本では得難い価値観や他者を尊重する姿勢を学ぶことができました。一方、印象的な出来事として挙げられるのが、カナダの感謝祭、通称「Thanksgiving Day」です。日本では感謝祭とも呼ばれるこの祝日は、カナダ三大ホリデーの一つとしてカナダ国民に重視されており、家族や仲間との時間を大切にすることを文化を強く実感することができました。
- **1日もしくはプログラム全体のスケジュールを教えてください**
本留学プログラムは、4か月間を通して二つの段階的なプログラム、通称CASEとESLAIによって構成されています。前者は約1か月間、英語学習に加えて現地イベントや課外活動などを通じ、海外生活の文化理解を深めることができます。一方後者では、より本格的かつアカデミックな内容となっており、体系的に英語学習に励むことができます。どちらのプログラムもレッスン制であり、個々に合った授業を受けることができるため、元来英語に苦手意識がある方でも問題なく受講できると思われます。
- **留学での経験は、今後の就職・進路選択にどんな影響を与えていると思いますか?**
留学経験は、今後の就職や進路選択において多方面で影響を与えていると考えられます。就職活動においては、TOEIC等の英語スコアが重視される場面も多く、留学を通じて培った英語運用能力は大きな強みとなると思います。また、異文化環境で学んだ経験は、海外の大学・大学院への進学や、国際的な分野への関心を高める契機になるかもしれません。さらに、言語や文化の異なる環境で生活した経験から得た自信や適応力は、進路の選択を問わずメンタル面で大きな支えともなってくれると思います。
- **特に成長したと感じられる点(主体性・タフネス・多様性への理解・チャレンジ精神)のいずれか1つを選択し、その理由を教えてください**
留学を通じて最も成長した点は、主体性であると思います。日本での生活とは異なり、留学先では様々な疑問や価値観の相違、時には現地の人々との対立が日常的に生じます。その際、相手に迎合するのではなく、自らの意見を持って主張することが大切です。もっとも、海外で求められる主体性は、日本でのそれとは異なり、言語という壁を伴います。母語ではない言語で問題解決を図ることは容易ではなく、日々の生活の中で意識的に主体性を発揮し続ける必要があります。しかし、それを継続することで留学前とは明確に異なる姿勢が身につきます。
- **これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージ**
私は留学を強く勧めます。費用や孤独、現地での不満や衝突など、決して楽なことばかりではありません。しかし、その経験は確実に視野を広げ、これまで気づけなかった価値観や自分自身と向き合うきっかけを与えてくれます。大学生活の中で何かに挑戦したいと考えている方、ぜひ留学に行ってみてはいかがでしょうか。必ず皆さんの助けとなり何かしらの原動力になると思います!

2-2

海外の企業・組織で課題解決型学習に取り組む



中期グローバル・キャリアPBL(オーストラリア)

Semester Global Career PBL (クイーンズランド州政府公認プログラム)



プログラム
実施期間
2027
9月上旬 - 11月下旬

プログラムの特徴

ビジネス英語を含む語学研修に加えて、さらに現地企業が抱える課題に取り組む実践的な学びを得る課題解決型プログラムです。海外との対外交渉やビジネス実務に即応できる高いコミュニケーション力に加え、多様な文化や価値観を理解する力の育成を目的としています。現地での学びに加え、充実した事前研修、グローバルに活躍する人々との出会い、将来につながるキャリア体験を通じて、国際社会で求められる能力を総合的に養います。卒業後は世界を舞台に活躍したいという明確なキャリアプランを持つ学生に特におすすめのプログラムです。

※オーストラリアクイーンズランド州政府公認プログラム。派遣先大学:グリフィス大学ゴールドコーストキャンパス

募集人数	授業時間数	PBL実施時間	レベル別クラス	滞在形式	食事	大学情報
15名 (最小催行:10名)	週/27.5時間	9:00~17:00 or 週30時間 ※業種により異なる	あり	ホームステイ (2名で1家庭の場合あり)	平日/朝夕 土日祝/朝昼夕	

Term1:英語研修・ビジネス英語研修(5週間) Term2:英語研修・ビジネス英語研修(5週間) Term3:課題解決型(PBL)プログラム(2週間)

※本学及びグリフィス大学、SKYUS株式会社の共同運営プログラム

こんな人におすすめ!

英語の集中学習に加え、
ビジネス英語を
学びたい!

ダイバーシティが
浸透した国で
多文化理解を
深めたい!

海外の企業や組織の
就労環境のなかで
力を磨きたい!

現地大学でクラブや
アクティビティに参加し、
現地学生と
交流してみたい!

語学研修だけではなく、
将来のキャリアを見据えて
特色あるプログラムに
参加したい!

英語要件:TOEFLITP®510点以上、TOEFLiBT®64点以上、IELTS5.5点(overall)以上、TOEIC®620点以上。

*2025年4月以降受験分が有効



英語・フランス語・スペイン語中期留学、中期グローバル・キャリアPBL
全プログラム共通注意事項

必ず確認してください。

募集要項

- 中期留学科目**
- 各プログラムごとに定められた単位が認定されます。ただし、派遣先大学で実施される授業への出席状況不良、課題未提出等で不合格になったTermがあった場合は、残りのTermの授業科目の履修はできません。この場合、直ちに自費での帰国を求めます。
 - 所定科目の時間数もしくは科目名が変更される場合があります。
 - 国際学部生については、履修する科目や評価方法等が異なる場合があります。国際学部が独自に配布する留学関連資料を必ず確認し、理解しておく必要があります。
- 履修に関する注意点**
- 原則として、中期留学参加者の留学期(春学期もしくは秋学期)の履修科目については、各プログラムの該当科目のみとなります。履修の取り扱いについては学部により異なりますので、所属学部事務室で確認してください。
 - 夏季や春季に開講される集中講義で、参加する中期留学科目の研修期間と授業期間が重ならない科目については、履修を認めています。この場合、履修登録期間中にkwicを通して履修手続きをする必要があります。事務室窓口での申込・履修手続きが必要な授業科目の履修はできません。
- 留学にかかる費用**
- 中期留学参加期間中であっても、本学学費の納入が必要です。
 - 参加決定後、すぐに申込金(20万円)の納入が必要です(オックスフォード大学のみ160万円)。
- 奨学金**
- 中期留学奨学金(25万円)
中長期留学チャレンジ奨励金(10万円)※中期留学奨学金との併給可

現地の学生と机を並べて
学部授業を学ぶ

中長期留学プログラム

- 交換留学
- 長期留学(学部科目履修型)
- 認定留学



3-1

学生交換協定校：約60ヵ国/地域、約200校の協定大学

グローバル
チャレンジ
留学

詳細はWebを
チェック!

交換留学

Exchange Program

概要

交換留学は、本学に在籍しながら、休学することなく協定大学へ1学期間または2学期間(1年間)留学できる制度です。協定大学の授業を受講し、専門知識や興味のある学問に関する知識を深め、海外の学生との交流をとおして異文化理解を深めることを目的としています。

交換留学のメリット

- **授業料免除**：留学先大学の授業料は免除されます(本学への学費納入は必要です)。
- **奨学金制度**：学内・学外の奨学金制度が充実しています。
- **単位認定制度**：留学先で修得した単位を本学の単位に認定することが可能です。
(詳細は、CIECウェブサイトの「単位認定方法・実績」の項目を確認の上、所属学部事務室に問い合わせください)
- **質の高い協定大学**：本学の協定大学は、どの大学も一定の基準を満たしている質の高い大学です。
交換留学では、質の高い協定大学で世界中から集まった優秀な学生と一緒に学びあえる環境があります。

募集要項

募集期間・時期	募集人数・派遣先
<p>◆第1期募集 翌年2月～4月開始の留学 ※一部、1月から交換留学を開始できる協定校があります。</p> <p>◆第2期募集 翌年8月～10月開始の留学 ※一部、翌年7月から交換留学を開始できる協定校があります。</p> <p>第1期・第2期ともに追加募集を予定しています(詳細は出願者に対して改めてお知らせします)。 ※追加募集は、選考通過者のうち派遣先大学が決まらなかった方が対象です。</p>	<p>◆募集人数・派遣先 kwicキャビネットでご公開する「募集人数表」をご確認ください。</p>

出願資格

- ◆**学部生**
 - ①留学時に1年以上在学している者(入学年度に、次年度の第1期募集に出願し、入学年度の2月から交換留学を開始することは可能)
※一部の協定校では入学年度の1月から交換留学を開始することが可能
(1月開始の大学を希望する場合は、秋学期の履修について、必ず出願時に各学部事務室に相談すること)
 - ②2026年度春学期末までに所属学部が定める必要単位数を修得している者、または修得見込みの者(必要単位数については、CIECウェブサイト参照)
 - ③2026年度春学期末までの通算GPAが2.30以上である者、または見込みの者
 - ④学業成績が概ね良好の者(通算GPAの学部内順位が上位65%以内であること)※
 - ⑤留学希望の協定校の出願条件を満たしていること。
(英語要件については、第1期は2025年4月受験以降分、第2期は2025年10月受験以降分が有効)。
 - ⑥留学前後の学習・進路の計画や各種手続き等を自ら主体的に考え、行動できること。
※学部内順位は非公開情報であるため、個別の問い合わせには対応しない。出願締切後、出願資格を満たした面接試験(適正審査)受験者を発表するので各自で確認すること。
- ◆**大学院生**
 - ①留学時に1年以上在学している者
 - ②留学希望の協定校の出願条件を満たしていること。(英語スコアについては、第1期は2025年4月受験以降分、第2期は2025年10月受験以降分が有効)。
 - ③留学前後の学習・進路の計画や各種手続き等を所属研究科や指導教員などと詳細に確認の上、自ら主体的に考え、行動できること。
※学部生の出願資格で定めている成績に関する条件②、③、④は適用しない。

留学に掛かる費用	奨学金・単位認定
<p>・留学する大学の授業料が免除されます。 (本学への学費納入は必要です)</p> <p>・ビザ取得費用、往復旅費、生活費、保険料、教科書代等、その他留学に係る全ての費用は本人負担となります。</p>	<p>◆奨学金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井谷憲次奨学金 ・笹森四郎奨学金 ・交換留学奨学金 ・日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣) ・その他、学外奨学金 ※詳細はCIECウェブサイトの「海外留学を考えている方」を確認してください。 <p>◆単位認定 留学先で取得した単位を所属学部にて本学の単位に認定することが可能です。</p>

⚠️ 出願に関する注意(出願前に必ず読んでください。)

- 選考試験当日に出席できない場合は、出願することができません(選考試験日の振り替えはできません)。
- 交換留学は、各海外協定校との協定に基づき募集を行っていますが、稀に協定校への派遣人数、派遣期間、派遣条件の変更により、一旦交換留学への推薦が決定した場合でも予定通り派遣できなくなることがありますので、予めご了承ください。
- 交換留学選考試験で選考された候補者を協定校に推薦しますが、協定校が最終的にその候補者を受け入れるかについての決定をします。したがって、選考試験に合格しても自動的に交換留学が決定するわけではありません。また、推薦決定後に学業成績(GPA)を下げてしまう等、交換留學生として不適切と判断される場合、協定校に推薦できなくなることがあります。
- 出願後、原則辞退や留学期間の変更をすることはできませんので、よく情報収集したうえで出願してください。自己都合により辞退した場合、次回以降の交換留学には原則出願できません。
- 交換留学に参加する場合、留学出発の前学期は原則として1学期間以上の留学プログラムに参加することはできません。
- 推薦者として決定後は、入学手続き、ビザ取得、滞在先の確保などすべての手続きをご自身で主体的に行う必要があります。
- 交換留学に参加できる期間は、在学期間中に合計1年間(2学期間)までです。
- 出願時に3、4年生の場合(4年生で留学する場合)、卒業に向けての履修や成績取得については自身でよく計画し、不明な点は早急に所属学部事務室に確認してください。
また、卒業延期制度を利用する場合は必ず制度について確認の上で所属学部事務室に相談してください。卒業延期は最大2学期(1年間)まで可能です。
- 事前研修および事後研修への参加が必須です。
- 本学にて何らかの配慮を受けている場合、同等の配慮が留学決定先の大学で提供されるかどうかは保証できません。配慮の内容によっては、留学先大学で同等の支援が受けられない場合や、留学先に派遣できない場合があります。

選考方法

選考試験の受験言語(英語/英語以外の言語)は出願の際に選択します(言語の併願可)。

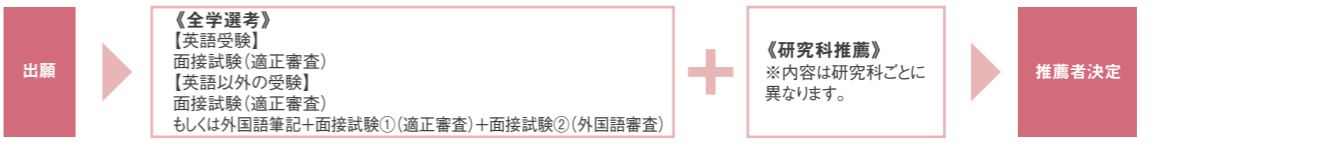
[学部生]



学部推薦を受け、各大学の受入条件を満たしている者については、下記合計点を基準に選考する。
【合計点算出方法】 英語による受験:英語運用能力試験100点満点*1+面接試験(適正審査)50点満点*2+学業成績99.9点満点*4=合計249.9点満点
 英語以外の言語による受験:英語以外の外国語運用能力試験100点満点*3+面接試験(適正審査)50点満点*2+学業成績99.9点満点*4=合計249.9点満点

- *1. 英語運用能力試験換算表により算出。 *2. 面接試験(適正審査)における評価項目により審査。
- *3. 英語以外の外国語運用能力試験換算表により算出。外国語運用能力試験のスコアを提出できない場合のみ、学内試験を受験することが可能であり、筆記試験・面接試験は各50点満点。
外部試験と学内試験の換算表は、「外部試験と学内試験の換算表」を使用する。
- *4. 春学期末までの通算GPAを学部ごとに99.9点満点で算出。

[大学院生]



研究科推薦を受け、各大学の受入条件を満たしている者については、下記合計点を基準に選考する。
【合計点算出方法】 英語による受験:英語運用能力試験100点満点*1+面接試験(適正審査)50点満点*2=合計150点満点
 英語以外の言語による受験:英語以外の外国語運用能力試験100点満点*3+面接試験(適正審査)50点満点*2=合計150点満点

- *1. 英語運用能力試験換算表により算出。 *2. 面接試験(適正審査)における評価項目により審査。
- *3. 英語以外の外国語運用能力試験換算表により算出。外国語運用能力試験のスコアを提出できない場合のみ、学内試験を受験することが可能であり、筆記試験・面接試験は各50点満点。
外部試験と学内試験の換算表は、「外部試験と学内試験の換算表」を使用する。

(*1)【英語運用能力試験換算表】

TOEFL IBT*	IELTS	TOEFL ITP*	英語運用能力試験の換算
119～120	9.0	670～677	100点
113～118	8.0、8.5	647～669	95点
106～112	7.5	623～646	90点
100～105	7.0	600～622	85点
88～99	6.5	570～599	80点
79～87	6.0	550～569	75点
68～78	5.5	520～549	70点
61～67	5.0	500～519	65点
54～60	4.5	480～499	60点

(*3)【英語以外の外国語運用能力試験換算表】

※HPより確認できます。



(*2)【面接試験(適正審査)における評価項目】

- (1) 出願動機・志望理由
- (2) 留学目的・学修計画の明確性
- (3) 留学への準備状況
(希望の留学先大学や国・地域に関する予備知識、情報収集状況等)
- (4) 留学をふまえたキャリア・進路への意識
- (5) 留学生活への適応力
(コミュニケーション能力、自立心、柔軟性等)

学生体験談

三浦 ゆう 国際学部 アメリカ / ノース・キャロライナ大学チャペルヒル校(参加時期:2年)



- **なぜ留学しようと思いましたか?**
 大学入学まで海外経験はありませんでしたが、中高で帰国子女の友人が多く、海外経験があることで視野の広さや問題意識の高さが異なると感じ、漠然と海外生活に憧れを抱きました。折角なら未知の世界に挑戦したいと考え、現地の生活に長期間没入できる交換留学を選択しました。初の海外生活に対する不安は尽きませんでしたが、交換留学で得られる成長、視野、スキル、経験、人脈は一生ものだろうと考え、応募を決意しました。大学で出会った友人も交換留学を目指しており、GPAや英語試験(IELTS)のスコア獲得に向けて切磋琢磨できたことも良い刺激となりました。
- **留学を実現するまでに、どのような準備をされましたか?**
 1年次の4月に留学フェアに参加し、情報収集を行いました。いきなりの長期留学には不安があり夏季の語学研修参加を検討しましたが、IELTSを後悔なく勉強したいと考え、スコア向上に専念。夏休み中はCIEC主催のIELTS講座と交換留学準備講座に参加し、同志に鼓舞されました。交換留学は成績も選考基準のため、勉学にも励みました。選考通過後も渡航準備に気が抜けず、奨学金やVISA、渡航先大学の寮、授業の申請など、余裕を持ち着実に行動しました。CIEC・先輩・教授の方々や両親、友人など、沢山の方々にもお世話になり、とても感謝しています。

● 留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

継続的に根気よく取り組むことの大切さを再認識しました。留学初期は授業、課題、交友関係等、その日の出来事や満足度が気分が浮き沈みする毎日でした。しかし限られた時間を有意義にしたいと、日記を書いて感情を言語化することや「必ず予習文献は精読していく」「今日はこの言い回しを使ってみる」など、日々の目標を決め達成感を得るようにしました。継続するうちにいつの間にか出来るが増え、成長を実感する度に喜びを噛みしめていました。時間は要しましたが忍耐強く取り組んだことで、一生ものの経験が得られたと感じています。

● これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージ

体験談を読んで、想像していた留学生活とは違う…と思われた方もいるかもしれませんが、留学の目的・成果は千差万別のため、参加の前に自分なりの目的を明確にしておくとうれしいと思います。辛い時の心の支え・理想の留学生活の実現に繋がります。留学を通じて、実は心配事の多くは「案ずるより産むが易し」だと感じました。この経験から、自分の可能性を見定めず、とりあえず一步を踏み出してみる勇気が大事だと学びました。もしも一步を踏み出せずにいる方がいたら、まずは興味の赴くままに挑戦してみる思い切りがあっても良いのかもしれないと思います。思いがけぬご縁や気付きを得られる機会もあるはずです! とはいえ、円安を受けて想像以上にお金がかかることも事実です。様々な奨学金制度があるので、検討をお勧めします。ご精読ありがとうございました!

学生体験談

中井 幸恵 総合政策学部 オーストラリア/クイーンズランド大学(参加時期:4年)



●なぜ留学しようと思いましたか？

自身の専攻である環境問題について、自然豊かなオーストラリアならではの授業を受けるとともに、日常生活から体感して日本とは違った視点から学びたいと思いました。また、海外の大学で課される課題量に自分を慣らしたり、異文化が共存していることが当たり前な生活を経験することで、国際社会で普遍的に通用する力を身につけることも目的でした。さらに、挑戦的な環境に身を置くことで、同じように高い志を持つ仲間と出会い、お互いに励まし合いながら成長できると期待して留学を決意しました。

●留学を実現するまでに、どのような準備をしましたか？

日常でできる限り英語に触れていられるよう、ネイティブ英語が聞けるPodcastを通学中に聞いたり、英語開講の授業を毎学期受講したりしました。特に留学して苦労することの一つに大学のエッセイ課題があると聞いていたので、Academic Writingの授業を意識して受講しました。言語教育センター開講の授業には、留学を目指す学生にぴったりの授業が沢山あるので、ぜひ活用してみてください！さらにTOEFLのスコアも上げる必要があったので、TOEFLで頻出する学術的な単語を勉強しました。

●留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

物事は、良い悪いではなく、合う合わないの問題などがほとんどだと気が付きました。同じ国出身同士でさえ考えが違う人はいるので、文化が違うと考えやユーモアが合わないのは当たり前です。もし合わない場合でも、合わないことを受け入れて、違うことが面白いと感じられるようになりました。また、この文化だから、と押し付けるのではなく、個人としてみることの大切さを実感しました。沢山の考え方に触れたことで、結局は考え方や志向は個人によるということがわかりました。

●これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージ

留学するか悩む要因は色々あると思いますし、自分がどうしたいのかすらわからないこともよくあると思います。自分が何をしたいのか、何をしなければいけないのか、何が挑戦への障壁になっているのか、時間がかかってもいいので、ひとつずつ明確にして、自分にとってベストな方法を吟味してみてください！応援しています。

3-2

協定大学で学部科目を履修



長期留学(学部科目履修型)



詳細はWebをチェック!



概要

本学の協定大学等で、1学期間または2学期間(1年)留学できる制度です。英語力に応じて、英語集中科目と学部の専門科目を履修することが可能です。本学における学籍上の取り扱い、単位認定、履修上の特例等については原則として交換留学と同様です。

プログラムの特徴

- 1 外国語の授業を履修しながら、専門分野の勉強にも打ち込むことができる。
- 2 交換留学推薦者の結果発表後に出願できる。
- 3 春学期にアメリカに留学が可能。 ※今後募集大学が決定すれば、kwicでお知らせします。



大学ごとの出願要件、授業料は2026年5月下旬頃にkwicキャビネットの「長期留学」で公開予定です

募集要項

留学期間	1学期間または2学期間(1年)
募集時期	第1期募集:翌年2月~4月開始の留学 第2期募集:翌年8月~9月開始の留学
募集人数	各大学の募集上限まで
滞形式	主に派遣先大学が紹介する学生寮またはホームステイでの滞在。
参加資格	①学部2年生以上(入学年度に、次年度の第1期募集に出願し、入学年度の2月から留学を開始することは可能。大学院生は申込み不可) ②2026年度春学期までに本学の交換留学で定めている所定の単位数を修得している者、または修得見込みの者。 ※ ③出願時に留学先大学が定めるGPA及び英語スコアの基準を満たしている者。 ※ ※必要単位数及び各大学の出願資格はCIECウェブサイトの長期留学(学部科目履修型)詳細ページおよびkwicキャビネットを参照
留学にかかる費用	●本学の学費納入と共に留学先大学への授業料納入が必要です。 ●留学査証取得費用、往復旅費、生活費、海外旅行保険、現地大学が指定する保険、教科書代等、その他留学に係る全ての費用は本人負担となります。
奨学金	長期留学奨学金(2学期間:50万円、1学期間:25万円)
単位認定	留学先で修得した単位を所属学部にて本学の単位に認定することが可能です。

⚠ 出願に関する注意(出願前に必ず読んでください。)

- 出願時に3、4年生の場合(4年生で留学する場合)、卒業に向けての履修や成績取得については自身でよく計画し、不明な点は早めに所属学部事務室に確認してください。また、卒業延期制度を利用する場合は必ず制度について確認の上で所属学部事務室に相談してください。卒業延期は最大2学期(1年間)まで可能です。
- 事前研修および事後研修への参加が必須です。
- 本学にて何らかの配慮を受けている場合、同等の配慮が留学決定先の大学で提供されるかどうかは保証できません。配慮の内容によっては、留学先大学で同等の支援が受けられない場合や、留学先に派遣できない場合があります。

3-3

自分で留学先を決定



認定留学



詳細はWebをチェック!



認定留学とは、本学が募集・実施するプログラムではなく、学生自らが留学する大学を選択・出願(個人手配)をして、海外の大学に留学する制度です。専門分野等の留学計画を立て、本学を通さず自身で留学先(国・大学)を決定し手続きを進めていく必要があります。学籍上の取り扱い、単位認定、履修上の特例等については、交換留学と同じですが学費は留学先と本学の両方に納入する必要があります。詳しくは国際教育・協力センター(CIEC)までお問い合わせください。

また、出発時期によっては、定められた履修方法により必修科目の履修を終えていなければならない学部もあります。必ず検討時点で学部事務室に履修の相談を行うようにしてください。

開発途上国で
ボランティアをする

国際ボランティアプログラム

- 国際社会貢献活動
- 国連ユースボランティア



3-4

開発途上国で活動



国際ボランティア

International Volunteer Program



詳細はWebを
チェック!



国際ボランティアは、「国連ユースボランティア」と「国際社会貢献活動」との2つのプログラムからなります。両プログラムは、関西学院大学のスクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育てることを狙いとした、多様な派遣先と活動内容が魅力のプログラムです。

本プログラムは開発途上国に単独で長期間派遣されるため、学内選考においては開発途上国での活動実績や国際ボランティア関連科目などを通じた学習歴が強く求められます。本プログラムへの応募を検討する場合は、事前に国際ボランティア指導教員に学習計画などを相談するようにしてください。

なお、国際ボランティアは、5ヵ月間の「実習」と、帰国後の「課題研究」から構成されます。

国連ユースボランティアと国際社会貢献活動との違い

	国連ユースボランティア	国際社会貢献活動
参加校	関西学院大学+連携校(明治大学・明治学院大学・立教大学)*1	関西学院大学
派遣先	国連ボランティア計画(UNV)をはじめとする国連諸機関 ※UNVを通じて提供されるプログラムです。	国際機関、NGO、教育機関など ※本学が独自に開発したプログラムです。
活動内容	SDGs推進に関する広報活動、プロジェクト運営支援など	学校教育補佐、日本文化紹介、広報活動、フィールド調査、エコツアー開発・実施など
派遣時期	秋学期(5ヵ月間) ※春学期の派遣はありません。	春学期・秋学期(各5ヵ月間)
選考	●学内選考(書類および面接選考) ●UNVによる選考(書類、オンライン面接、レポートなど) ※本学の他に連携校の学生が選考対象です。	●学内選考(書類および面接選考) ●派遣先による選考(書類、エッセイ、オンライン面接など)
奨学金・経費	UNVから渡航費・滞在費等の手当支給あり 学費納入要・参加準備に必要な実費は自己負担 *1:2026年3月現在	国際社会貢献活動奨学金(30万円) 学費納入要・派遣に必要な実費は自己負担

国際ボランティア指導教員によるサポート

国際ボランティアがどのようなプログラムが知りたい方、参加したいが何から準備したらよいか分からない方、国際協力の世界を学んでみたい方を対象に、教員や先輩学生から直接、相談や指導を受けられる場所や機会を設けています。少しでもプログラムに興味をお持ちの方は是非お越しください。



- 国際協力事業室
(西宮上ヶ原キャンパス G号館1階)
- コース学習ルーム
(西宮上ヶ原キャンパス G号館1階)
- 相談会
(神戸三田キャンパス アカデミックコモンズ1Fグローバルコーナーほか)
※実施時間が限られていますので、スケジュールなどの最新情報は
CIECのWEBサイトのニュースまたはCIEC掲示板にてご確認ください。

指導教員

- ◎関谷 武司 国際学部 教授
- ◎長 英一郎 国際教育・協力センター 教授

※紙面の都合により、指導教員の一部のみを掲載しています。
全教員の情報については、右記CIECのWebサイト(QRコード)をご参照ください。



問い合わせ

※国際協力事業室・コース学習ルームに来室を希望される方は、まずadmin-iv@kwansei.ac.jpにメールで来室可能日時をご連絡いただくか、QRコードからフォームを送信してください。
なお、メールを送る際、必ず本文に「学生番号(8桁)」「学部」「名前」を明記してください。
※面談はオンラインまたはメールでの対応となる場合があります。



国際ボランティアプログラムの派遣準備

国際ボランティアへの参加を目指すためには、「国際ボランティア関連科目」の履修と、開発途上国の現場で調査手法について学ぶ「海外フィールドワーク(FW)」への参加が強く推奨されています。計画的な履修と開発途上国での活動経験が必要となることから、出願に向けて早い段階から計画的に準備することが大切です。また、派遣候補生として決定後、派遣準備科目である国際ボランティアゼミI及びIIを履修する必要があります。(両科目の単位が取得できない場合は、プログラムに参加することができません)

国際ボランティア関連科目(履修が強く望まれる科目)

以下の科目・プログラムの履修・参加が、国際ボランティアプログラムへの参加を志す学生に対して強く推奨されています。事前申込が必要な科目については、受付期間内に所定の手続きを完了してください。

派遣前					派遣中・派遣後
導入	論理思考	国際共通課題	模擬体験	準備	実践・総括
・SDGsスタディーズ入門 ・グローバル社会の課題と持続可能な未来	・国際情報分析 ・プロジェクトマネジメント	・教育開発論 ・国際平和構築論 ・国際環境論	・海外フィールドワーク ・国連セミナー ・インドネシア交流セミナーなど	・国際ボランティアゼミI* ・国際ボランティアゼミII*	・国連ユースボランティア ・国際社会貢献活動実習、課題研究

派遣前～派遣後の総括まで、指導教員の下、細やかな指導を受けながら体系的に学ぶことができるのが魅力です!

POINT
派遣先での活動について発表する帰国報告会もあります。

開発途上国で実施される留学プログラム

- ・インドネシア交流セミナー(インドネシア、日本)
- ・外国語研修(サティア・ワチャナ・キリスト教大学、マラヤ大学)
- ・英語中期留学(マラヤ大学)
- ・短期海外インターンシップ(ベトナム、マレーシア)
- ・国連・外交フィールドワーク(ネパール)
- ・グローバルPBL(タイ)
- ・アジア多文化共修セミナー(日本、台湾、マレーシア)

* 国際ボランティアゼミI・IIは、国際社会貢献活動または国連ユースボランティアの派遣候補生のみ履修できる科目です。

履修モデル

大学入学～卒業までの履修モデルは人によって様々です。計画的に履修することで、以下で紹介しているモデルケース(A・B・C)以外にも、様々な複数プログラムと掛け合わせて挑戦することが可能です。

教職との両立を目指す方は
こちらでもCHECK!



A. 国際社会貢献活動または国連ユースボランティアへ参加したい方

◆国際社会貢献活動に3年春に参加の場合

学年	1年		2年		3年		4年	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
参加プログラム		海外FW(春休み)			国際社会貢献活動			
準備・履修	SDGsスタディーズ入門	出願 グローバル社会の課題と持続可能な未来	出願 国際ボランティアゼミI	国際情報分析 国際ボランティアゼミII	国際社会貢献実習 国際社会貢献課題研究			

◆国連ユースボランティアに3年秋に参加の場合

学年	1年		2年		3年		4年	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
参加プログラム	海外FW(夏休み)					国連ユースボランティア		
準備・履修	出願		教育開発論 グローバル社会の課題と持続可能な未来	出願 国際ボランティアゼミI	プロジェクトマネジメント 国際ボランティアゼミII	国連ユースボランティア実習 国連ユースボランティア課題研究		

B. 国際社会貢献活動も国連ユースボランティアにも参加したい方

学年	1年		2年		3年		4年	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
参加プログラム	海外FW(夏休み)			国際社会貢献活動				国連ユースボランティア
準備・履修	出願 教育開発論 SDGsスタディーズ入門	出願 国際ボランティアゼミI	国際ボランティアゼミII	国際社会貢献実習 国際社会貢献課題研究	国際情報分析	出願		国連ユースボランティア実習 国連ユースボランティア課題研究

C. 交換留学と国際社会貢献活動または国連ユースボランティアに参加したい方

学年	1年		2年		3年		4年	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋
参加プログラム	海外FW(夏休み)		交換留学			国連ユースボランティア または 国際社会貢献活動		
準備・履修	出願	出願 グローバル社会の課題と持続可能な未来		出願 国際ボランティアゼミI	国際ボランティアゼミII	国連ユースボランティア実習 国連ユースボランティア課題研究 または 国際社会貢献実習 国際社会貢献課題研究		

[備考] ●…出願手続き ●…留学プログラム ●…関連科目履修

国連ユースボランティア 2026年度派遣

2026年度派遣の募集は終了しています。
2027年度派遣については、2026年度秋学期に募集予定です。

「国連ユースボランティア」は、関西学院大学がアジアの大学として初めて国連ボランティア計画(UNV)との協定に基づき、学生を開発途上国にボランティアとして派遣するプログラムです。本学が2004年に開発途上国への学生ボランティア派遣を開始して以来、これまでに100名以上の学生が開発途上国で活動を行ってきました。現在は、プログラム実施の基幹校である関西学院大学以外に、明治大学、明治学院大学、立教大学が連携校として参加しています(2026年3月現在)。

派遣学生は、UNVのコーディネートにより、約5ヵ月間、主に開発途上国の国連諸機関に派遣されます。派遣先国はアジア、アフリカ、欧州、大洋州の各国です。SDGs推進に関する広報活動やプロジェクト運営支援などを通して、教育・保健衛生・環境・ジェンダー・貧困削減などの活動に携わります。

参加資格	科目・単位数
<ol style="list-style-type: none"> 派遣年の9月1日時点で18歳以上26歳以下かつ学部2年生以上であること(大学院生不可)。 学業成績が良好であること。 派遣者選考時にTOEFL ITP®500点以上(TOEFL iBT®61点もしくはIELTS5.0点、TOEIC®630点以上)の英語力を有することが望ましい。 開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。 派遣前の「国際ボランティアゼミI」及び「国際ボランティアゼミII」を修得すること。 派遣後の「国連ユースボランティア課題研究」を履修すること。 ※事前研修などの講義及び派遣手続きは日本語で実施されるため、日本語での意思疎通が十分にできることが必須。	(派遣前) グローバルスタディーズ科目「国際ボランティアゼミI」(2単位)(素点評価) グローバルスタディーズ科目「国際ボランティアゼミII」(2単位)(素点評価) 計4単位 (派遣中・派遣後) グローバルスタディーズ科目「国連ユースボランティア実習」12単位(認定評価) グローバルスタディーズ科目「国連ユースボランティア課題研究」4単位(素点評価) 計16単位 ※国際学部生については科目取扱が異なります。詳細は「国際学部留学ガイド」を参照してください。
奨学金	
UNVから渡航費・滞在費等の手当支給あり	
派遣先	
各国のUNVをはじめとする国連諸機関。 派遣国・派遣機関は派遣される年の3月下旬頃に公開予定です。	



国際社会貢献活動 2027年度春学期派遣

「国際社会貢献活動」は、開発途上国でボランティア活動を行う本学独自のプログラムであり、国際協力機構(JICA)の協力先機関、海外の教育機関、NGOなど、さまざまな派遣先があります。

派遣先ごとに活動内容が異なり、その種類は多岐にわたります。派遣学生は教育支援、環境保全、観光開発、平和構築などの幅広い分野で広報活動、フィールド調査、エコツアー開発・実施、学校教育補助など、派遣先のスタッフや現地の人々と共に約5ヵ月間活動します。

参加資格	科目・単位数
【学部生】 <ol style="list-style-type: none"> 学部2年生の秋学期以降の参加であること。※応募は1年生秋学期から可。大学院生は以下の「大学院生出願資格」を確認すること。 学業成績が良好であること。 開発途上国の厳しい生活環境や異文化環境においても心身の健康を維持し、困難な状況に対応できること。 国際協力や開発に関する基礎的知識を持ち、各活動分野において実践的応用力を発揮できること。 現地のスタッフと業務、活動を共にするための英語力を所持していること。(出願時にTOEFL®, TOEIC®などの英語能力を証明する書類の提出が求められます) ICRCおよび日越大学については派遣者選考時にTOEFL ITP®500点以上(TOEFL iBT®61点もしくはIELTS5.0点、TOEIC®630点以上)の英語力を有することが望ましい。 派遣前の「国際ボランティアゼミI」及び「国際ボランティアゼミII」を修得すること。 派遣後の「国際社会貢献課題研究」を履修すること。 ※事前研修などの講義及び派遣手続きは日本語で実施されるため、日本語での意思疎通が十分にできることが必須です。	(派遣前) グローバルスタディーズ科目「国際ボランティアゼミI」(2単位)(素点評価) グローバルスタディーズ科目「国際ボランティアゼミII」(2単位)(素点評価) 計4単位 (派遣中・派遣後) グローバルスタディーズ科目「国際社会貢献実習」12単位(認定評価) グローバルスタディーズ科目「国際社会貢献課題研究」4単位(素点評価) 計16単位 ※国際学部生については科目取扱が異なります。詳細は「国際学部留学ガイド」を参照してください。
奨学金・奨励金	
国際社会貢献活動奨学金(30万円)、中長期留学チャレンジ奨励金(5万円) ※国際学部生には国際社会貢献活動奨学金に代わり、国際学部留学奨励金の適用が可能です。 ※時期によってはヒタビタ留学JAPANに出願できる可能性があります。	
派遣先	
開発途上国を中心に本学と協定を結ぶ機関。募集時期により派遣先が異なります。派遣先についての情報は国際教育・協力センター(CIEC)までお問い合わせください。 ※派遣先によって求められる語学力の種類・程度が異なります。	



国際ボランティア よくある質問(FAQ)

Q1 英語力はどの程度必要ですか?

A1 派遣先での業務遂行が可能レベルの英語力が求められます。派遣先によって求められる英語能力及びその他の外国語能力は異なりますので、詳細について知りたい方は、国際教育・協力センターまでお問い合わせください。なお、国連ユースボランティアと国際社会貢献活動(赤十字国際委員会(ICRC)、日越大学)については、TOEFL ITP®500点以上の英語力が求められます。

Q2 事前に「国際ボランティア関連科目」を履修していませんが、応募できますか?

A2 事前の「国際ボランティア関連科目」の履修は、出願にあたっての必須条件ではありませんが、派遣先で活動するにあたって有益です。計画的に履修のうえ、出願することを強くお勧めします。



Q3 開発途上国滞在経験が全くないのですが、参加は可能ですか?

A3 本プログラムでは、約5ヵ月間海外へ個人派遣されるため、派遣までに少なくとも2週間程度の開発途上国渡航経験があることが望まれます。開発途上国渡航経験がない方は、「海外フィールドワーク(P.25参照)」「国連・外交フィールドワーク」「外国語研修(サティヤ・ワチャナ・キリスト教大学、マラヤ大学)」「英語中期留学(マラヤ大学)」「短期海外インターンシップ(ベトナム・マレーシア)」「グローバルPBL(タイ)」などの参加をお勧めします。

Q4 大学院生は国際ボランティアプログラムに参加できますか?

A4 「国連ユースボランティア」は対象を学部生に限定しています。「国際社会貢献活動」に参加を希望する場合は、必ず事前に国際教育・協力センターにご相談ください。P.43記載の参加資格も確認してください。

Q5 国連ユースボランティアと国際社会貢献活動の併願は可能ですか?

A5 可能です。出願時にどちらを第一希望、第二希望とするか入力してください。両方に興味をお持ちの場合は、P.41記載の教員へ出願前に相談を行うことを推奨します。

学生体験談

常本 晴大 総合政策学部 カンボジア / カンボジア日本人材開発センター(CJCC) (参加時期 3年)

● 留学を実現するまでに、どのような準備をしましたか?

このプログラムの選考フローは書類提出と英語での面接だったため、なぜ自分がこのプログラムに参加したいのか、自分には何ができるかなど論理的に説明できるようにしていました。面接のプレゼンでは面接官の方が「スツと」内容が頭に入るようにスライドを見やすく整え単語を並べ説明は口頭でするようにしていました。



● 留学生活で得た学びや経験、印象的な出来事を教えてください

カンボジアでは、日本文化を紹介するイベントの企画・運営ディレクターのような役割を担当していました。派遣期間が4月から9月だったため、こどもの日や母の日・父の日、七夕など、日本の季節文化をテーマに、現地の小学校や日本センターでイベントを開催しました。企画ではまず、「カンボジアの方たちにどうすれば日本文化を“楽しく、印象的に”感じてもらえるか」というターゲット理解から始めました。その上で、0からアクティビティ内容を考え、上司やチームに提案・改善を重ねながら、ニーズに合ったプログラム設計を行いました。また、当日の運営に必要な人材を確保するため、自らボランティアを募集し、トレーニングマニュアルを作成して教育も行いました。この経験を通じて、相手の立場に立つて考え、「何を・どんな形で伝えれば心が動くか」を設計する力を身につけました。

● これから留学する人に向けたアドバイス・メッセージ

正直めちゃくちゃ大変だし、しんどいプログラムです。本当に折れそうになったことは何回もあるし、現地の職員とうまくいかないことだってあります。ご飯も正直あまり美味しくなく、日本のほうが100倍良いです。でも派遣前、派遣後だと全く見える視野が違います。自分は元々ちゃらんぼらん性格ですが、今では自分のしたいことも見つかってそれに向かって頑張っている最中です。しんどいこともたくさんありますが、現地で楽しいこと、やりがいはいそれ以上にあります。本当に参加してよかったし人生で誇りを持って話せる5ヶ月間です!

⚠️ 出願に関する注意(出願前に必ず読んでください。)

- 学部科目の履修(通年科目など)に影響が出る可能性がありますので、**出願前に卒業までの履修計画を所属学部事務室などに必ず相談してください。**卒業する学期に派遣される場合、卒業する学期に履修する集中科目(帰国後に履修必須の課題研究など)は卒業に必要な単位に含めることができませんので、注意してください。
- 本プログラムは5ヵ月間海外で活動をする必要があることを十分理解し、就職活動への影響なども十分に考慮したうえで応募してください。原則として、応募してから辞退は認められません。
- 次の場合は派遣が中止(取消)あるいは派遣中でも早期帰国の対象となります。
 - 生命の危険を生じさせるおそれのある疾病(既往症を含む)がある場合や、派遣中の活動または日常生活に耐えうる健康状態ではないと、医師の診断書等をもとに、本学あるいは受入先機関が判断した場合(受診費用は自己負担)
 - 派遣開始からプログラム期間完了まで、健康な状態を維持できるか否か不安が払しょくできないと本学が判断した場合
 - 派遣に向けての事前学習及び事前研修への取り組み(参加状況・習熟度)等から、関西学院大学を代表する一人として派遣することが難しいと判断された場合
 - 受入機関の要請と派遣候補者の適性が不適合であると判断された場合
 - 派遣先の治安悪化などにより派遣に危険が伴う可能性があるとして判断された場合
 - その他の事情で派遣が困難であると判断された場合
- 派遣候補者となった後は、査証取得などの渡航準備、オリエンテーションや派遣前の事前研修が予定されています**(参加必須)**。渡航前は渡航準備への専念が必要であることを承知のうえ、応募してください。**原則、出発2ヵ月前の海外渡航は避けてください。**
- 休養及び健康状態の観察のため、**帰国後2週間の海外渡航は避けてください。**また、帰国後速やかに健康診断を受け、受診結果を報告してください。
- 選考時及び本プログラムで派遣される期間の直前・直後に他の留学プログラムへの参加を検討している場合は、出願前に必ず国際教育・協力センターへ相談してください。事前準備や事前事後研修への影響や受入機関によっては手続き上、派遣ができなくなる可能性もあります。
- 事前研修などの講義及び派遣手続きは日本語で実施されるため、日本語での意思疎通が十分にできることが必須です。
 - **派遣前の「国際ボランティアゼミI」及び「国際ボランティアゼミII」が修得できない場合、本プログラムへの参加は認められません。**
 - **原則同じプログラムに2回参加することはできません。**
 - 査証は自己責任で最新情報を確認し、派遣までに余裕をもって準備・対応すること。

3-5

複数分野専攻制 (MS)



国連・外交プログラム

UN and Foreign Affairs Studies Program

詳細はWebを
チェック!



将来、国際機関や外交・国際協力等、世界の公共の場で活躍するリーダーを目指す学生のためのプログラムです。学部での学びと並行し、国連・外交に関する科目や国際ボランティア等の海外派遣プログラムの履修を通じて、グローバル社会で貢献する力を養うカリキュラム構成です。

複数分野専攻制→MS (Multidisciplinary Studies)
所属学部以外の学部やセンター等から提供されたプログラムのもと、学部の枠を越えた学問領域を学ぶことによって、幅広い知見と深い専門性を養う制度。

プログラムのポイント

- 全学部の学生がチャレンジできるプログラム**
「国連・外交プログラム」への応募は全学部、どのキャンパスに所属する学生でも可能です。
- ゼミ形式の科目「国連・外交入門」**
国連・外交プログラム履修生のみが履修できる入門2科目を通して、国連・外交に関する基礎知識をしっかりと身につけます。
- 少人数で密度の高いプログラム**
学生と教員の距離も近く、意識の高い学生同士、切磋琢磨できる環境作りを目指しています。
- 教員によるメンター制度**
プログラム開始時から教員が各学生のメンターとなり、個別にコーチング。関心分野の学びやキャリア設計等についてアドバイスします。
- 国連・外交の分野で活躍してきた教員陣**
国連職員やJICA職員等国際公共の第一線でキャリアを重ねた実務家教員が中心となり、プログラムを構成しています。
- 海外派遣プログラムと結びついたカリキュラム**
学内の国際ボランティアや国連セミナー等のプログラムと有機的に連携し、実践力も養えるカリキュラムです。

キャリアサポート

関西学院大学では、学部プログラムから国連職員等になるまでのキャリア支援を一貫して提供しています。



カリキュラム



32単位 修得

- 派遣前導入科目
- 実践科目
- 派遣後応用科目

※詳細は次ページに記載

募集内容

履修申込は学部1学年次秋学期と学部2学年次春学期の2回のみ。学部2学年次秋学期以降は申込みできません。

申込時期	第1次 (学部1学年次11月)	第2次 (学部2学年次5月)
許可者発表	例年1月	例年7月
プログラム開始	学部2学年次春学期	学部2学年次秋学期
定員	30名	
申込方法	オンライン [kwic]キャビネット>教務機構>複数分野専攻制(MS)	
選考形態	書類選考 (「複数分野専攻願」、成績、英語能力を証明する書類)	

※詳細は入学時に配布される冊子「複数分野専攻制への扉」を参照ください。
※募集内容は変更されることがあります。
※募集説明会を各学期に実施します。日程等は、kwicのお知らせを確認ください。



国連や外交分野、国際協力分野で活躍するリーダーを目指す!

国連・外交プログラム



国連・外交プログラムについて

カリキュラム 派遣前導入科目、実践科目、派遣後履修科目、学部関連科目、自由選択科目から32単位を修得することで修了証が授与されます。

<p>派遣前導入科目</p> <p>国際ボランティアなどの海外派遣プログラムに向けた準備科目</p> <p>科目の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 国連・外交入門(開発) 国連・外交入門(平和・人権・人道) 国際情報分析 	<p>実践科目</p> <p>海外での現場実践経験を積み、国際社会で貢献するために必要な力を養う</p> <p>科目の例</p> <ul style="list-style-type: none"> 国連・外交フィールドワーク 国連ユースボランティア 国際社会貢献活動 国連セミナー 	<p>派遣後応用科目</p> <p>実践経験をベースに、国際公共分野で働くために必要な能力、キャリアパス、準備方法を学ぶ</p> <p>科目の例</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGs実践特別演習 グローバルキャリア開発演習 国連・外交リサーチプロジェクト 	<p>32単位 修得</p> <p>+</p> <p>学部関連科目 自由選択科目</p>
---	---	---	--

※カリキュラムの内容は変更されることがあります

学部の専門領域を学ぶことができる

学部提供プログラム

●学部・センター等で実施する留学プログラム

Check!

国連・外交入門

国連・外交に特化したゼミ形式の導入科目。開発および平和・人権・人道に関する知識をディスカッションやプレゼンテーションを通じて学びます。「国連・外交プログラム」のコアとなる重要な科目です。

・春学期:「国連・外交入門(開発)」
・秋学期:「国連・外交入門(平和・人権・人道)」

国連・外交フィールドワーク

ネパール等開発途上国の国際機関や二国間援助機関、農村部などを訪問し、仮設検証型のフィールド・リサーチを行います。国際協力や開発援助の現場における各機関の役割や連携について理解を深める科目です。



国連セミナー

ニューヨークの国連本部を訪問し、現役国連職員や外交官等による講義・ディスカッションを通じて、国際社会の諸問題に対する国連や国連加盟国、NGOの取組みや役割について、また当該分野のキャリア構築について理解を深めます。



国際機関で働くために必要なことは?

<p>学位</p> <p>大学院の修士課程を修了して、応募するポストと関連する修士号以上の学歴を有すること</p>	<p>語学力</p> <p>英語または仏語で職務遂行が可能であること</p>	<p>職務経験</p> <p>応募するポストと関連する一定期間の職務経験を有すること</p>
--	---	---

履修学生の声

亀井 万里羽 法学部

関西学院大学ならではの国際関係のカリキュラムが凝縮された本プログラムを通じ、学部・学年を超えて志ある仲間に出会いました。高校時代に参加した関西学院明石塾から現在まで一貫して教授陣や事務室の温かなサポートを受けて学びを深めています。国連・外交の基礎を学ぶ「国連・外交入門」や国際機関等でのキャリア展望について考える「グローバルキャリア開発演習」を履修後には、国連ユースボランティア生として、国連ボランティア計画ラオス事務所にて広報担当補佐を経験しました。授業での学びを生かし、ボランティアリズムを通じた国連の平和と開発への貢献を現場で経験できた5カ月間は生涯の財産です。

履修学生の声

安達 侑希 総合政策学部

本プログラムの主要科目はプログラム生限定の少人数構成となっており、授業は履修生と国連機関等で実務経験を積まれた教員との距離が近く活発な議論が行われ、多くの学びを得ることができます。また、同期の仲間たちも積極的に国際ボランティアプログラム等に挑戦しており、国際協力の現場について議論を交わす機会が多く、これが更に視野を広げる刺激となりました。本プログラムでは、学部の講義では得られない貴重な経験を体系的に積み重ねることができるだけでなく、同じ志を持つ仲間たちとの刺激的な学び合いを通じて、さらなる成長を目指すことができたと感じました。

主な教員の紹介

<p>西野 桂子 元国連児童基金(UNICEF) 人事部担当官 関西学院大学 特別任期制教授 国連・外交統括センター副長、国際機関人事センター長</p>	<p>村田 俊一 元アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)事務局次長 元国連開発計画(UNDP)駐日代表 関西学院大学 特別任期制教授、国連・外交統括センター長</p>	<p>三輪 敦子 元国連女性開発基金(現UNWomen) アジア太平洋地域バンコク事務所プログラム担当官 関西学院大学 総合政策学部教授</p>
<p>清水 康子 元国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)インド・モルジブ事務所代表 関西学院大学 総合政策学部教授</p>	<p>道券 康克 元国連開発計画(UNDP) アフガニスタン事務所プログラムデザインチームリーダー 関西学院大学 総合政策学部教授</p>	<p>国際ボランティア担当教員 関谷 武司 関西学院大学 国際学部教授</p>

MESSAGE 国際的に活躍するには、国際的に通用する知識とセンスが必要です。国連・外交プログラムを通じて、国際機関や外交分野で働くための基礎知識だけでなく、グローバルなキャリアに必要なトランスファラブル・スキルや考え方が自然に身に着くように私たちが指導していきます。プログラム生だけが履修できる授業やメンター制度などを最大限に活用して、学部に関わらず世界に通用する未来にチャレンジしてください。



4-1



学部・センター等で実施する留学プログラム

各学部・センターでも様々な留学プログラムを提供しています!各学部の学びの特色を活かしたプログラムとなっているため、専門的な内容も含んだ一味違う留学プログラムに興味がある学生には大変おすすめです。自分の学部の学びを深めたいという学生はもちろんのこと、中には全学部生を対象としたプログラムもありますので、他学部の学びに興味がある学生も、ぜひ積極的に参加を検討してください。

※最新の情報は、国際教育・協力センター(CIEC)のウェブサイト等から確認してください。



CIEC HP

■ 全学部生対象プログラム

人文学総合43 / トルコ・スタディツアー

文学部提供

トルコ・イスタンブールとアンカラ(カマン・カレホック)に1週間程度滞在して学びを深めます。参加者は古代からビザンツ時代の遺跡・教会、オスマン帝国からトルコ共和国時代における博物館と学術の発展について主体的に学習した上で、現地での見学・調査を通じて理解を深めます。滞在中にはカマン・カレホック遺跡や博物館、美術館での見学を設けることを予定しています。



実施場所	トルコ(イスタンブール、アンカラ、カマン)
募集人数	15名~25名程度
参加資格	2学年以上
選考方法	書類選考
参加費(概算)	約40万円
奨学金	井谷憲次奨学金(8万円)
留学期間	8/24(月)~8/31(月)
科目/単位	人文学総合43 2単位
難易度	初中級者向け

人文学総合63 / イギリス・スタディツアー

文学部提供

英米文学作品を手がかりに、イギリスの歴史・文学等のテーマについて主体的に準備を行い、現場の調査を通じて、それぞれのテーマについて理解を深めます。滞在中にはロンドンに加え、名門オックスフォード大学、ストラットフォード・オン・エイヴォン、ケニルワース城へのフィールドトリップも予定しています。



実施場所	イギリス(ロンドン、ストラットフォード)
募集人数	15名~25名程度
参加資格	2学年以上
選考方法	書類選考
参加費(概算)	約40万円
奨学金	井谷憲次奨学金(8万円)
留学期間	7/28(火)~8/4(火)
科目/単位	人文学総合63 2単位
難易度	初中級者向け

人文学総合64 / スイス・スタディツアー

文学部提供

ドイツ語圏の言語や文化の多様性を知ることをテーマとして、事前授業での調査や発表、スイス・チューリヒとその周辺地域での見学や調査を通じて、スイスの言語、文化、社会、歴史等についての理解を深めます。滞在中には、チューリヒ大学との交流や、高等教育機関や企業、博物館等の見学・調査を予定しています。



実施場所	スイス(チューリヒ)
募集人数	15名~25名程度
参加資格	2学年以上
選考方法	書類選考
参加費(概算)	約40万円
奨学金	井谷憲次奨学金(8万円)
留学期間	9/1(火)~9/9(水)
科目/単位	人文学総合64 2単位
難易度	初中級者向け

ドイツ語中期留学

文学部提供

ドイツ語中期留学は、レーゲンスブルク大学での約4か月半のドイツ語学習プログラムです。レーゲンスブルク大学で提供されている語学プログラムに入り、他の留学生とともに言語を学ぶことが中心となります。語学だけでなく、現地の文化や生活、社会の状況など、様々なことを吸収できるプログラムです。



実施場所	ドイツ(レーゲンスブルク)
募集人数	10名
滞在形式	現地大学が提供する寮
参加資格	1.原則として1年生で、ドイツ語を履修している学生* 2.滞在先で自立した生活を送ることができる者 3.すべてのオリエンテーションに必ず参加できる者 ※(文学部の学生で、ドイツ文学ドイツ語専修生以外の場合) 第1学年度春学期必修のドイツ語AI、ドイツ語BIを修得済かつ、秋学期必修のドイツ語AII、ドイツ語BIIを修得見込みの者、もしくは、ドイツ語インテンシブ初級Iを修得見込みの者(文学部ドイツ文学ドイツ語専修生の場合) 第1学年度春学期必修のドイツ語AI、ドイツ語BIを習得済かつ、秋学期必修のドイツ語AII、ドイツ語BIIを習得見込みの者 ※文学部以外の学生は出願前に所属学部事務室に履修単位等について事前に確認を行ってください。
外国語要件	上記参加資格を満たすもの
選考方法	筆記・面接資格による選考
参加費(概算)	約118万円
奨学金	中期留学奨学金(25万円)または、 日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派遣)奨学金(月額11万円)
留学期間	3月上旬~7月下旬
実施機関	レーゲンスブルク大学
科目/単位	10単位認定(派遣先大学での修得状況により異なる)
難易度	初中級者向け

海外社会学実習(オーストラリア) - 地方創生と国際ビジネスの現場を知り、実践力を高める - 社会学部提供

地方農業都市カウラでは、ホームステイや高校生交流、農業・酪農・ワイナリーなどの地域産業の訪問を通して、異文化への理解を深める機会を設ける予定です。さらに、ロータリークラブとの対話を通じて、世界平和を発信する象徴都市としての歩みについて学ぶプログラムも検討しています。また、商業都市シドニーでは、大学交流や現地ビジネスパーソンとの対話を通して、国際的な視点やキャリアのヒントを得られる機会を提供する予定です。世界-日本語学習者が多い国で、「グローバル資本主義×地方創生」を体感することを目指します。



実施場所	オーストラリア(シドニー・キャンベラ・カウラ)
募集人数	20名(最小催行人数12名)
滞在形式	カウラ:ホームステイ、シドニー・キャンベラ:ホテル(予定)
参加資格	全学部生(1年生から参加可)
外国語要件	なし
選考方法	書類審査等
参加費(概算)	約35万~45万円(参加人数により変動します)※燃油サーチャージ別
奨学金	井谷憲次奨学金(8万円)
留学期間	9月上旬~中旬の間に10日間程度
実施機関	西シドニー大学等
科目/単位	「海外社会学実習(フィールドワーク)」2単位
難易度	初級

海外社会学実習(香港) - 国際協働を通じて発信力を磨き、グローバルな視野を育む - 社会学部提供

香港を舞台に、世界経済・金融・貿易のダイナミズムに触れ、多文化共生社会での適応力を磨く機会を設ける予定です。また、現地学生との英語ディスカッションや共同プレゼンを通じて、国際協働力や発信力を実践的に育む場の提供も検討しています。さらに、比較文化理解(香港×日本×東南アジア)を深め、さまざまな価値観や現地の常識を受け入れる姿勢を養うプログラムを目指しています。



実施場所	香港
募集人数	10名程度
滞在形式	ホテル
参加資格	全学部生(1年生から参加可)
外国語要件	なし
選考方法	書類審査等
参加費(概算)	約32万円~40万円(参加人数により変動します)※燃油サーチャージ別
奨学金	短期留学奨学金(3万円)
留学期間	8月~9月上旬の間に1週間から10日程度
実施機関	香港大学、香港中文大学等
科目/単位	「海外社会学実習(フィールドワーク)」2単位
難易度	初級

海外社会学実習(台湾) —海外で観光を学び、企画力と実践力を磨く—

社会学部提供

関西学院大学と神戸大学が協働し、「観光を考える」をテーマに地域経済活性化のアイデアを探索する1週間程度のプログラムです。観光人材の育成を目指し、企業訪問や大学講義の聴講、現地学生との協働などを通じて、観光が持つ力を理解する機会の提供を予定しています。また、台湾政府機関や現地大学の訪問、観光地でのフィールドワークなど、文化と産業を体感する機会も設ける予定です。神戸と台湾が抱える観光課題には共通点も多いとされ、両地域の比較を通じて、地域と世界をつなぐ視点を育むプログラムを目指しています。



実施場所	台湾(桃園、台北など)
募集人数	10名程度
滞在形式	ホテル
参加資格	全学部生(1年生から参加可)
外国語要件	なし
選考方法	書類審査等
参加費(概算)	約25万円
奨学金	井谷憲次奨学金(3万円)
留学期間	8月下旬～9月上旬頃に1週間程度
実施機関	国立政治大学等
科目/単位	「海外社会学実習(フィールドワーク)」2単位
難易度	初級

欧州のスポーツビジネス

経済学部提供

フランクフルトの日系企業(日本人)が受け入れ先であるため、海外が初めての方や語学に自信がない方も「海外で就業体験ができる」プログラムです。語学学校(ドイツ語orビジネス英語)に通いながら、サッカーチームの試合帯同やチーム・会社運営、子どもたちへのサッカー指導などの業務を担います。ブンデスリーガの試合観戦、ベルギー・ブリュッセルへの出張、ショート・トリップもあります。



実施場所	ドイツ
募集人数	10名程度
滞在形式	アパートメントハウス
参加資格	全学部生
外国語要件	なし
選考方法	1次:書類審査、2次:面接審査(オンラインで実施)
参加費(概算)	約50万円(航空運賃除く)
奨学金	井谷憲次奨学金(8万円)
留学期間	2026年8月～9月の間の3週間
実施機関	KM Sports GmbH (ドイツ・フランクフルトに拠点を置くスポーツ・観光事業を行う企業)
科目/単位	「海外学習活動(欧州のスポーツビジネス)」4単位
難易度	初級



プログラムの様子はコチラ!

欧州の観光ビジネス

経済学部提供

フランクフルトの日系企業(日本人)が受け入れ先であるため、海外が初めての方や語学に自信がない方も「海外で就業体験ができる」プログラムです。地中海クルーズや北海クルーズをはじめとする観光商材のプロモーション企画、添乗によるガイドング、旅程管理、動画作成、HP更新などをおこない、実際に豪華クルーズ船に1週間乗船します。クルーズ船で周回する国々は、毎回、異なります。



実施場所	ドイツ
募集人数	10名程度
滞在形式	ホテル+クルーズ船内
参加資格	全学部生
外国語要件	なし
選考方法	1次:書類審査、2次:面接審査(オンラインで実施)
参加費(概算)	約50万円(航空運賃除く)
奨学金	井谷憲次奨学金(8万円)
留学期間	2026年8月～9月の間の3週間
実施機関	KM Sports GmbH (ドイツ・フランクフルトに拠点を置くスポーツ・観光事業を行う企業)
科目/単位	「海外学習活動(欧州の観光ビジネス)」4単位
難易度	初級



プログラムの様子はコチラ!

アジア地域の観光開発

経済学部提供

インドネシアのバリ島にて、主に観光業関連の職場にてインターンシップを実施します。



実施場所	タイ、インドネシア
募集人数	25名
滞在形式	ホテル
参加資格	TOEIC®650点程度
外国語要件	TOEIC®650点程度、インドネシア語初級の履修が望ましい
選考方法	これまでの成績と面接による
参加費(概算)	約40万円
奨学金	井谷憲次奨学金(3万円)
留学期間	2026年9月～10月
実施機関	チュラロンコーン大学、ウダヤナ大学、バリ島ホテル
科目/単位	「海外学習活動(アジア地域の観光開発)」4単位
難易度	上級者向け

アフリカ研究

経済学部提供

アフリカの国々において、社会経済調査を行い、そのデータを用いた論文執筆を行います。



実施場所	マダガスカル、モロッコ、南アフリカ、ケニアなど
募集人数	25名
滞在形式	ホテルなど
参加資格	高度な統計処理能力と英語の運用能力が必要となる。 また農村調査は体力が必要なため、心身ともに健康であることが望ましい。
外国語要件	TOEIC®650点程度 実用英語技能検定試験2級以上、TOEIC550点以上、 またはCEFR B1レベル以上のいずれかを有すること
選考方法	書類審査と面接
参加費(概算)	約40万円
奨学金	井谷憲次奨学金(8万円)
留学期間	2026年8月
実施機関	アンタナナリボ大学
科目/単位	「海外学習活動(アフリカ研究)」4単位
難易度	上級者向け

キリスト教と福祉

人間福祉学部提供

ソウル特別市に滞在し、様々な団体・施設・教会の訪問・見学・交流をすることで、韓国におけるキリスト教やキリスト教社会福祉の現状や課題を理解するとともに韓国の社会福祉教育や現場についても学びます。また、研修期間中は、ソウルにある崇実大学(Soongsil University)の社会福祉学科の学生とのディスカッションや交流を予定しています。相互の学びを深め、国際的な視野を広げるとともに、学生同士の親交を育むことも本プログラムの重要な目標です。



実施場所	韓国
募集人数	7名
滞在形式	ホテル
参加資格	①説明会(2026年4月7日(火)開催)へ出席すること。 ②事前・事後学習の全日程及び韓国でのプログラムに参加できること。 ③9月卒業見込みの学生は出願できません。 ④韓国のキリスト教の歴史等に興味があり、社会福祉に関する科目を1科目以上履修した学生が望ましい。 ⑤申込者が定員を超えた場合、人間福祉学部生、「社会福祉の思想と哲学」の単位修得者を優先して選考します。
外国語要件	不問。ただし、現地での交流のため最低限の韓国語習得を推奨。
選考方法	書類選考および面接選考
参加費(概算)	15万円程度 (公益財団法人 愛恵福祉支援財団から寄付を受ける予定のため)
奨学金	井谷憲次奨学金(3万円)
留学期間	2026年8月～9月の間の約1週間
実施機関	予定:ディアコニアセンター(道林教会)、with教会、泰和キリスト教社会福祉館、グッドウィルストア ミラル松坡店、崇実大学、総合社会福祉館、景福宮、光化門など
科目/単位	「キリスト教と福祉」2単位
難易度	初中級者向け

Introduction to Business in Asia: Innovation, Leadership and Strategy

国際学部提供

「人の価値の探究」「ビジネス戦略の策定」「イノベーションのための技術基盤の開発」における昨今のトレンドに焦点を置き、ビジネスについて英語で学ぶ1週間の短期渡航プログラムです。学内での事前講義を踏まえ、台湾現地での国立台湾大学の教員による講義に加え、台湾のシリコンバレーと呼ばれる新竹地区などでのフィールドワークを行います。



実施場所	台湾
募集人数	10名程度
滞在形式	ホテル
参加資格	全学部生
外国語要件	英語で行われる渡航プログラムの内容を理解できる英語能力を有していること
選考方法	書類選考(応募者多数の場合、必要に応じて面接選考を実施)
参加費(概算)	約25万円
奨学金	短期留学奨学金(3万円)または 国際学部留学奨励金(15万円・受給実績のない国際学部生のみ)
留学期間	8月の約1週間
実施機関	国立台湾大学
科目/単位	「Introduction to Business in Asia: Innovation, Leadership and Strategy」3単位
難易度	中級者向け



EUフィールド・スタディー

国際学部提供

ドイツ・オランダ・ベルギーなどEU内の国々をめぐる、地域産業と経済発展をテーマに企業や施設の視察などのフィールド・ワークを行います。現地企業やブリュッセルの欧州連合(EU)の主要機関への訪問に加え、各国での観光も含む、盛りだくさんのプログラムです。



実施場所	ヨーロッパ(数か国)
募集人数	15名程度
滞在形式	ホテル
参加資格	全学部1~4年生(大学院生は除く)
外国語要件	英語で行われる渡航プログラムの内容を理解できる英語能力を有していること
選考方法	書類選考および面接選考
参加費(概算)	約70万円
奨学金	井谷憲次奨学金(8万円) または国際学部留学奨励金(15万円・受給実績のない国際学部生のみ)
留学期間	8月~9月の約1週間
実施機関	EU議会ほか
科目/単位	「EUフィールド・スタディー」2単位
難易度	初中級者向け



建築学国際プログラム

建築学部提供

マレーシアの最高学府、クアラルンプールのマラヤ大学で実践的な英語と現地の建築・都市文化を学びます。様々な建築物や世界遺産都市などを歩き、アジアとヨーロッパの文化が融合した建築と都市の魅力が体感できるプログラムです。



実施場所	マラヤ大学(マレーシア)
募集人数	15名
滞在形式	寮またはホテル
参加資格	全学部生
外国語要件	なし
選考方法	書類選考
参加費(概算)	約50万円
奨学金	短期留学奨学金(3万円)
留学期間	夏休み(8月~9月)の授業実施期間外のうち2週間
実施機関	マラヤ大学(マレーシア)
科目/単位	「建築学国際プログラム」2単位
難易度	初中級者向け

融合(フュージョン)プログラム

提供学部	プログラム名	実施国・地域	協定大学名 または実施機関名	開催時期・期間	参加費	募集定員	プログラム概要	単位	募集時期	対象
神学部	Mission in Dialogue B	西宮上ヶ原キャンパス及び大阪市内、神戸市内	監理教神学大学校	8月(春学期集中)	なし(交通費・昼食代など実費)	約10名	韓国の学生とともにフィールドワーク等を通じてキリスト教の歴史や教会関係史を学ぶ。	2	春学期	所属学部
経済学部	日中共同学術フォーラム	上ヶ原キャンパス	吉林大学	9月(春学期集中)	約2万円	20名程度	吉林大学経済学院の学生が来学する。グループで共同テーマを設定し、英語で討論・調査を行い、研究成果を発表する。目的は、現代中国の理解、中国の若者との相互理解、日本の現状を伝えることである。来年度訪中希望者は優先考慮する。	2	春学期	全学部
商学部	オンライン・インターナショナル・ラーニングA(会計001) 【英語で学ぶLEGO戦略会計】	上ヶ原キャンパス	バルマ大学	春学期	なし	15名	LEGO(LEGO)を使った自動車製造会社を経営するシミュレーションゲームを教材として用いる。この過程を通して学習を深めるアクティブ・ラーニング及び経験学習の形式を採用する。バルマ大学との共同授業となる。オンラインでイタリア及びヨーロッパ諸国の学生とチーム学習を通して、グローバルな環境の中でのビジネスや会計のスキル・能力を鍛錬する。	2	申込科目申請期間	全学部
	オンライン・インターナショナル・ラーニングA(国際ビジネス001) 【グローバル・ビジネス・リーダーシップ】	上ヶ原キャンパス	ハーグ応用科学大学	春学期	なし	40名	本授業はオランダのハーグ応用科学大学(授業担当教員:Eline Duine, Tom van Daalen)と合同で実施する。オンラインでオランダの大学生とグループワークを行うことにより、異文化マネジメントにおけるリーダーシップスタイルについて理解を深める。本学の履修生は対面形式で、ハーグ応用科学大学の学生はオンライン上で参加する。	2	申込科目申請期間	全学部
人間福祉学部	グローバル・アウトリーチ・ジョイント・プロジェクト	上ヶ原キャンパス及び企業等	University of Technology Sydney (UTS) 及び University of Parma	6月6日・7日(別途事前学習等あり)	1~3万円	20名(商学部・IBA合計)	日本を訪問・滞するUTS及びUniversity of Parmaの大学院生が、関西学院大学商学部および経営戦略研究科の学部・大学院生と共に、日本の企業が抱える課題の解決策を考案し、報告を実施することになる。すべて英語で授業は進められる。2026年度の訪問先は調整中。	1	春学期	所属学部・IBA
	Human Welfare and International Development	上ヶ原キャンパス(対面授業で現地学生とオンラインにて交流)	-	春学期集中	なし	15名	ネパールの社会問題や社会的企業の取り組みについて理解を深め、現地大学生とグループで社会起業アイデアを考える。 ※詳細はシラバスを確認してください。	2	春学期	全学部

オンラインプログラム

所属学部生対象

提供学部	プログラム名	実施国・地域	協定大学名 または実施機関名	開催時期・期間	参加費	募集定員	プログラム概要	単位	募集時期
生命環境学部	海外生命環境学プログラムB ~SDGs Workshop~	オンライン併用	ウダヤナ大学他	4月~8月	なし	10名	生物観察、維持活動への参加を基に、海外の大学とSDGs討論会を行う。	2	春学期

■ 所属学部生対象プログラム

提供学部	プログラム名	実施国・地域	協定大学名または実施機関名	開催時期・期間	参加費	募集定員	プログラム概要	単位	募集時期
法学部	中国人民大学法学院 交換留学プログラム	中国	中国人民大学法学院	①9月～1月	留学する大学の 授業料以外で留 学に係る全ての 費用	2名～4名	半年～1年間の交換留学プログラム、世界各国からの留学生と共に法制度や政治を学ぶ。英語で受講可能。	単位 認定	春学期
				②2月～6月				秋学期	
	エディンバラ春季 法律英語研修	イギリス	エディンバラ大学	2月～3月 (約3週間)	約85万円	6～8名	イギリス・スコットランドの法制度、刑事法、民法を学ぶ。裁判所や議会の見学も予定。	2～4 単位	春学期
	法学・政治学 グローバル演習C	台湾	長栄大学	3月(7日間)	約8万円	20名	長栄大学の学生と協力しながら、台南の街でフィールドワークを行う。台湾・台南の歴史や文化を学ぶと共に企画・調査・プレゼンテーション能力を高める。	2単位	春学期
法学・政治学 グローバル演習D	アメリカ	ベセル大学	2月～3月 (約4週間)	約85万円	約30名	英語研修+体験型学習(移民センター訪問、博物館や裁判所での体験学習)	4単位	春学期	
人間福祉学部	社会起業アドバンス・ インターンシップ	オーストラリア他	社会的企業、NPO、NGO、 国際機関他	受入機関 による	受入機関による	特になし	社会起業学科の研究演習指導教員のもと、インターンシップ先を選定し、活動計画をたて、インターンシップ先機関と連絡をとったうえでインターンシップを行う。	2単位	春学期
	人間福祉 グローバル演習A1	韓国	延世大学	9月 (約1週間)	未定(20万円程 度を予定)	20名	韓国の歴史・文化、在日コリアンの歴史と現状について学ぶ。さらに、日韓両社会における多様なテーマを人間福祉学の視点から考察し、フィールド学習やディスカッションを通じて理解を深める。	2単位	春学期
国際学部	中国語中期留学	台湾	台湾師範大学	8月下旬～ 2月	約90万円	15名	台湾で集中的に中国語の4技能を学ぶ6か月のプログラム。	12単位	春学期
	朝鮮語中期留学	韓国	延世大学		約100万円	15名	韓国・ソウルで集中的に朝鮮語の4技能を学ぶ6か月のプログラム。	14単位	春学期
商学部	EUビジネス・ ケーススタディ	ベルギー、 ルクセンブルク (予定)	ゲント大学、 ルクセンブルク大学、 ルクセンブルク日本大使館	8月下旬～ 9月上旬	約50万円	20名	ベルギー、ルクセンブルク両国の学生と共に学び、現地企業から受けた課題の解決策を策定。そのほか、現地日系企業の訪問や、関西学院ベネルクス支部の先輩たちと交流する機会を設ける予定。	4単位	春学期
	東南アジアの新興国 (ベトナム・インドネシア) における人材マネジメント を現地で学ぶ	ベトナム・ インドネシア	現地日系進出企業	8月下旬	約25万円	20名	東南アジアの中でも日本企業の注目度が高いベトナムとインドネシアに展開する日系進出企業を訪問。日本人駐在員・現地社員・現地採用日本人社員へのヒアリング調査、現地学生・同窓会幹部との懇談会、工場見学を予定。	3単位	春学期
	海外で働く 会計プロフェッションに 学ぶ	台湾	EY新日本有限責任 監査法人	9月上旬	約20万円	20名	EY監査法人(台湾法人)のオフィス(台北&高雄)見学、公認会計士へのインタビュー、web雑誌(会計人コース)向け記事の執筆、執筆とインタビューに向けた講師による講義、現地工場見学を予定。	2単位	春学期
神学部	Mission in Dialogue A	韓国	監理教神学大学校	8月初旬	約10万円	10名	現地学生との交流を通じ、日本と他国のキリスト教の歴史・現状を学ぶ。	2単位	春学期
建築学部	建築学国際プログラム (建国大学)	韓国	建国大学	8月および2月 (予定)	約15万円	約10名	現地建築学部生との協働や実地調査を通じて建築設計課題に取り組むプログラム。両大学を会場とし、8月は韓国、2月は日本(KSC)で実施予定。	2単位	春学期
総合政策学部	海外インターンシップ	アジアの新興国、 南米、 アフリカなど	ベンチャー企業やNPO・ NGO、他	8月～9月 または 2月～3月	35万円～	なし	新興国の多様な企業や団体が課題解決に挑み、実践的なスキルと国際経験を身につけるプログラム。	最大 8単位	春・秋 学期
	海外フィールドワーク	フィリピンなど アジアの国、 南米・アフリカ、 ヨーロッパなど	フィリピンNGO施設や シンガポールの ベンチャー企業等	8月～9月 または 2月～3月	35万円～	なし	他の学生と協働し英語で議論しながら調査・分析を行い、企業への提案発表を通して、実践的スキルと異文化理解を養うPBL型プログラム。	最大 8単位	春・秋 学期
	カンボジア フィールドワーク	カンボジア	現地NGO、国連機関、 JICA他	夏休み (8月～9月) の 授業実施期間 外のうち1週間	約24万円	若干名	カンボジアの現地NGOと連携して開発・人権・人道支援等の関連性を分析し、政策理念に関する課題について関連する諸問題に自らアプローチできる力を養うことを目指すプログラム。	2単位	春学期
工学部	海外工学プログラムB ～シリコンバレー Innovationプログラム～	アメリカ	シリコンバレーの企業等	9月	約60万円	10名	シリコンバレーにて、イノベーションをおこす起業家精神・風土を体感できるプログラム。	2単位	春学期
	海外工学プログラムB ～Python Program～	台湾	国立陽明交通大学	8月	約40万円	12名	台湾トップクラスの国立陽明交通大学にて、英語とプログラミング言語(Python)を習得する。	2単位	春学期
生命環境学部	海外生命環境学 プログラムB ～Introduction to Scientific Diving～	インドネシア	ディボネゴロ大学	8月	約35万円	10名	南方海域のサンゴ・海洋生物を学び、ダイビング免許も取得。	2単位	春学期
	海外生命環境学 プログラムB ～発酵醸造学(日本と イタリアの醸造文化)～	イタリア	マルケ工科大学	5、6月 (3日間)、 9月(9日間)	約43万円	5、6名	日本酒・ワインの醸造文化に関する研修・演習を経て、日欧の食文化比較とその背景について学ぶ。	2単位	通年

留学準備のための
英語と奨学金

英語講座 / 奨学金・奨励金

- 英語無料講座・英語能力試験日程
- 奨学金・奨励金(支給型)



4-2



語学力アップ! 英語無料講座・英語能力試験日程

詳細はWebを
チェック!

①はじめてのIELTS

この講座では、新入生やIELTSを受験したことがない方を対象に、テスト構成の説明に加え、スコアアップのためのより効果的な学習方法について、練習問題を使いながら解説します。4月は対面、5月は同内容をオンラインで実施します。

- 講座時間：9時15分から12時15分まで(3時間)
- 募集人数：30名程度

※日程、時間、実施形態などが変更される場合がありますので、国際教育・協力センターのHPやkwic等で確認するようにしてください。

※受講決定者にはのみkwicその他のお知らせで発表します。

	4月	5月(オンライン)
募集期間	4月1日(水)～4月7日(火)	4月22日(水)～5月5日(火)
受講者発表	4月9日(木)	5月14日(木)
講座日	4月18日(土)	5月23日(土)

②IELTS Speaking & Writing 対策講座

この講座は、とくに独学が難しいとされるSpeakingとWritingの対策クラスです。練習問題を使いながら出題傾向と解き方のポイントを解説します。

- 講座時間：9時15分から12時15分まで(3時間)
- 募集人数：30名程度

※日程、時間、実施形態などが変更される場合がありますので、国際教育・協力センターのHPやkwic等で確認するようにしてください。

※受講決定者にはのみkwicその他のお知らせで発表します。

	6月
募集期間	5月20日(水)～5月27日(水)
受講者発表	5月28日(木)
講座日	6月6日(土)



③IELTS 2日間集中講座

この講座では、Listening、Reading、Writing、Speaking各セクションの問題演習とその解説を行い、2日間で4技能を伸ばせるように取り組みます。講座後には添削付きの課題もあり大変人気の講座です。

交換留学や長期留学等の留学プログラムへの出願を目指している方はもちろん、夏休み・春休みに改めて英語学習に向きおうと考えている方は、是非活用してください。

■ 8月(基礎クラス6.0目標)

- 講座時間：9時30分～16時30分(6時間)
- 募集人数：30名程度

■ 9月(基礎プラスクラス6.0～6.5目標)

- 講座時間：9時30分～16時30分(6時間)
- 募集人数：30名程度

■ 2月(基礎クラス6.0目標)

- 講座時間：9時30分～16時30分(6時間)
- 募集人数：30名程度

■ 3月(基礎プラスクラス6.0～6.5目標)

- 講座時間：9時30分～16時30分(6時間)
- 募集人数：30名程度

	8月	9月	2月	3月
募集期間	7月1日(水)～7日(火)	7月28日(火)～8月4日(火)	1月19日(火)～1月26日(火)	2月9日(火)～16日(火)
受講者発表	7月9日(木)	8月6日(木)	1月28日(木)	2月18日(木)
講座日	8月5日(水)・6日(木)	9月8日(火)・9日(水)	2月9日(火)・10日(水)	3月10日(水)・11日(木)

※日程、時間、実施形態などが変更される場合がありますので、国際教育・協力センターのHPやkwic等で確認するようにしてください。

※受講決定者にはのみkwicその他のお知らせで発表します。

受講者体験談

IELTS 2日間集中講座 総合政策学部 2年(受講時) 江上 大知さん

IELTS2日間集中講座の授業は、IELTSの問題構成について説明して頂ける他、出題される問題がどのようなものか、それらの問題の解法について講師の方がサンプル問題を使い、説明していただき、その後演習、解説という流れで進められます。IELTSはWritingの問題以外は多肢選択式の試験なので、サンプル問題を解いた後の解説の際に、なぜその答えが成立するのか、他の選択肢のどこが間違いなのかについても説明して下さることに加え、事後課題として出されるライティングの問題の添削もしていただけます。私は、交換留学プログラムに出願する際に一定以上のIELTSのスコアが必要だったため、受講しました。その結果、IELTSについて全く無知の状態であったにも関わらずIELTSの対策方法が分かり、その後の受験で基準スコアに到達し、無事交換留学に行くことができました。

④学内で実施される英語能力試験日程

■2026年度IELTS 主催:関西学院大学

2026年度学内団体受験のスケジュールは、決定次kwicキャビネットに更新いたします。

交換留学への挑戦を応援!本学では、次の3つの要件を全て満たした学生に対して、IELTS受験費用の一部補助として10,000円を還元いたします。

- ①Slackチャンネルでの「交換留学準備コミュニティ」に参加している ※詳細はQRをご確認ください!
- ②IELTS学内団体受験を受験した
- ③②のスコアを利用して交換留学に出願した



<https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/area/detail?areald=6787&directLink=1>

■2026年TOEFL ITP®

実施日	実施キャンパス	対象	受講料	定員	申込期間	申し込み方法	結果返却予定	詳細確認方法
6月20日(土)	西宮上ヶ原	正規学部生 ※今まで実施された無料TOEFL ITPを無断で欠席した方は申込不可	無料	120名	5月11日(月)～6月1日(月)	kwicのCIECキャビネットに掲載の申込フォームより申込み	7月9日(木)	kwicのCIECお知らせまたはキャビネット

4-3



返済不要の奨学金がこんなに充実! 奨学金・奨励金(支給型)

詳細はWebを
チェック!

プログラムへの参加決定後、以下の奨学金に申請することができます。詳細は、派遣留学決定後または派遣留学推薦決定後に案内します。

【学内奨学金】対象:全学部、取扱窓口:国際教育・協力センター、またはプログラム提供学部・センター

〈短期留学・融合プログラム〉

プログラム名	奨学金	形態
海外異文化体験セミナー、外国語研修、CCC(カナダ開催)、海外フィールドワーク、インドネシア交流セミナー(インドネシア開催)、アジア多文化共修セミナー(台湾またはマレーシア開催) 学部・センター主催短期プログラム	短期留学奨学金(アジア3万円、アジア以外8万円)	参加者全員
短期留学奨学金対象外プログラムのうち 特別に指定されたプログラム	井谷憲次奨学金(アジア3万円、アジア以外8万円)	
融合プログラムのうち 特別に指定されたプログラム	井谷憲次奨学金 2万円	

〈中長期留学〉

プログラム名	奨学金・中長期留学チャレンジ奨励金	形態
交換留学(1年)	〈アジア〉 45万円(内訳:交換留学奨学金35万円、中長期留学チャレンジ奨励金10万円)	参加者全員
	〈アジア以外〉 55万円(内訳:交換留学奨学金35万円、中長期留学チャレンジ奨励金20万円)	
交換留学(1学期)	〈アジア〉 110万円(内訳:井谷憲次奨学金 または 笹森四郎奨学金 100万円、中長期留学チャレンジ奨励金10万円)	選考型
	〈アジア以外〉 120万円(内訳:井谷憲次奨学金 または 笹森四郎奨学金 100万円、中長期留学チャレンジ奨励金20万円)	
長期留学(学部科目履修型)	〈アジア〉 22.5万円(内訳:交換留学奨学金17.5万円、中長期留学チャレンジ奨励金5万円)	参加者全員
	〈アジア以外〉 27.5万円(内訳:交換留学奨学金17.5万円、中長期留学チャレンジ奨励金10万円)	
	〈アジア〉 55万円(内訳:井谷憲次奨学金 または 笹森四郎奨学金 50万円、中長期留学チャレンジ奨励金5万円)	選考型
長期留学(学部科目履修型(1学期))	60万円(内訳:井谷憲次奨学金 または 笹森四郎奨学金 50万円、中長期留学チャレンジ奨励金10万円)	
ダブルディグリー留学	月額10万円、ただし留学先大学と本学の学費が相殺される場合月額3万円(大学院は月額7万円)、中長期留学チャレンジ奨励金15万円(※本奨励金はプログラム開始時に1回のみ交付)	選考型
中期留学、中期グローバルキャリアPBL	35万円(内訳:中期留学奨学金25万円、中長期留学チャレンジ奨励金10万円)	
国際社会貢献活動	35万円(内訳:国際社会貢献活動奨励金30万円、中長期留学チャレンジ奨励金5万円)	
国連ユースボランティア	国連ボランティア計画(UNV)の規定により渡航費・滞在費等の手当が支給される	参加者全員
認定留学(1年)	アジア:10万円、アジア以外:20万円(いずれも、中長期留学チャレンジ奨励金)	
認定留学(1学期)	アジア:5万円、アジア以外:10万円(いずれも、中長期留学チャレンジ奨励金)	

※中長期留学チャレンジ奨励金は、2026年度以降プログラムの参加者が給付対象となり、所定の手続きを経て支給されます。複数の中長期留学プログラムに参加する場合、各プログラムごとに本奨励金を受給することができます。P.10中長期留学チャレンジ奨励金も併せてご参照ください。

※短期留学奨学金、交換留学奨学金、中期留学奨学金、井谷憲次奨学金(交換留学除く)について、金額改定を行います。上記改定後の該当奨学金額は、短期留学においては2026年度参加者から対象、交換留学および中期留学については2027年度参加者から対象となります。

※中長期留学チャレンジ奨励金は、各種学内留学奨学金との併給が可能です(外部奨学金との併給については、当該奨学金規定による)。

※短期留学奨学金、中期留学奨学金は、井谷憲次奨学金として支給される場合があります。

【学内奨学金】対象:所属学部生、取扱窓口:奨学金を所轄する各学部事務室

対象学部	プログラム名	奨学金	取扱窓口
神学部生対象	Theology in Dialogue, Mission in Dialogue A-B	神学部国際交流奨学金	神学部事務室
社会学部生対象	交換留学	社会学部杉山貞夫交換留学奨学金(2学期間:40万円、1学期間:20万円)	社会学部事務室
人間福祉学部社会起業学科生対象	社会起業英語中期留学	人間福祉学部海外語学研修奨学金(20万円)	人間福祉学部事務室

対象学部	プログラム名	国際学部留学奨励金(全員支給型)	国際学部留学奨励金(全員支給型・オンライン)	留学奨学金(選考型)	取扱窓口
国際学部生対象	外国語研修、インドネシア交流セミナー(インドネシア開催)、アジア多文化共修セミナー(台湾またはマレーシア開催)、CCC(カナダ開催)、短期海外インターンシップ、海外フィールドワーク、グローバルPBL(海外開催時のみ、かつ国際学部で承認されたプログラムに限る)、海外研修、国連セミナー、国連・外交フィールドワーク、EUフィールドスタディ、Introduction to Business in Asia: Innovation, Leadership and Strategy, Global Seminar in South Asia、ハワイ大学マア校英語研修&フィールドワーク	15万円	10万円		国際学部事務室
	中期留学(英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語)	40万円	—		
	中期グローバルキャリア PBL	—	—		
	国際学部生対象中期留学(中国語・朝鮮語) 国際社会貢献活動	—	—		
	国際学部生対象中期留学プラス(現在休止中)	60万円	—		
	交換留学、認定留学、長期留学(学部科目履修型)(2学期間) ※	60万円	10万円	40万円	
	交換留学、認定留学、長期留学(学部科目履修型)(1学期間) ※	30万円	5万円	20万円	

※中長期留学チャレンジ奨励金の対象プログラム参加時には、上記奨学金との併給が可能です。P.10中長期留学チャレンジ奨励金も併せてご参照ください。

※オンラインプログラム参加時の奨励金の取り扱いについては、国際学部発行の留学の手引きを参照してください。

【学外奨学金(選考型)】対象:全学部、取扱窓口:国際教育・協力センター

交換留学を対象に以下の奨学金があります(一部抜粋)。詳細はウェブサイト、kwicキャビネットを参照してください。

日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派遣)奨学金(月額8～12万円(派遣国・地域による)、上限12ヵ月)
寺浦さよ子記念奨学金(月額10万円、支度一時金60万円×留学月数/12)
フクシマグローバル人材支援奨学金(月額15万円、渡航準備金20万円 ※秋学期派遣のみ)
業務スーパージャパンドリーム財団派遣留学奨学金(月額15万円または20万円、留学一時金15万円または25万円 ※派遣先国・地域による ※秋学期派遣のみ)
阪和育英会(月額7万円、留学渡航準備金35万円)
公益財団法人大林財団海外留学奨学金(月額20万円)